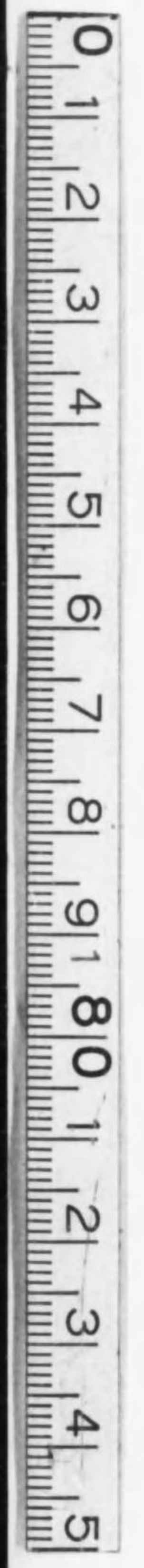


敬言友戰塵錄

特258
456



始



箱 255
456



戰塵錄

靜岡縣警防義會



序

支那事變發生以來多數の警友諸君が勇躍出征せられ國家のため奮闘して居られる、兵馬倥傯の間、戦塵の巷より寄せられたる通信を輯録して茲に一卷をなし、題して警友戦塵録といふ、身命を鴻毛の軽きに比し奮戦を続けつゝも、閑を得れば銃後の家族の上を想ひ仕事の上まで案ずる諸君の眞情は行間に流露し強く我等の心を打つ、自ら頭が下る。

昭和十四年三月

静岡縣警察部長 西 廣 忠 雄

忠烈輝

忠烈輝
青史

靜園監知事山竹巖



上陸 不取 岸
岸に際し 皆様の御

事 師 御 申 上 さま

九月二日

江 伊

故 巡 査 江 里 口 喜 三 君 並 筆 跡

| | | | |
|-------|-----------|---|----|
| 昌德 | 爾 | 同 | 高 |
| 波邊新一 | 同 | 同 | 六六 |
| 石塚多作 | 同 | 同 | 六七 |
| 山崎喜久治 | 同 | 同 | 六八 |
| 小杉良平 | 同 | 同 | 六九 |
| 牧田健次 | 同 | 同 | 七〇 |
| 川崎銀次 | 同 | 同 | 七一 |
| 平口千代治 | 同 | 同 | 七二 |
| 金原清次郎 | 同 | 同 | 七三 |
| 高柳澄男 | 同 | 同 | 七四 |
| 佐野泉 | 同 | 同 | 七五 |
| 柴田義雄 | 同 | 同 | 七六 |
| 齋藤千太郎 | 吉原警察署巡查部長 | 同 | 七七 |
| 山田傳作 | 吉原警察署巡查 | 同 | 七八 |
| 森下賢太郎 | 同 | 同 | 七九 |
| 中田蕃 | 同 | 同 | 八〇 |
| 青木矯一 | 同 | 同 | 八一 |
| 笠原哲司 | 大宮警察署巡查 | 同 | 八二 |
| 茂木辰夫 | 同 | 同 | 八三 |
| 前田實 | 同 | 同 | 八四 |

| | | | |
|-------|-------------|---|-----|
| 植田茂 | 同 | 同 | 八八 |
| 加茂敏治 | 清水警察署巡查部長 | 同 | 八九 |
| 椎名清 | 清水警察署巡查 | 同 | 九〇 |
| 平野正次郎 | 同 | 同 | 九一 |
| 横山彌一郎 | 同 | 同 | 九二 |
| 天野和作 | 同 | 同 | 九三 |
| 小倉録郎 | 清水水上警察署長警部補 | 同 | 九四 |
| 石津谷茂 | 清水水上警察署巡查部長 | 同 | 九五 |
| 繁田金八 | 清水水上警察署巡查 | 同 | 九六 |
| 鈴木寅藏 | 同 | 同 | 九七 |
| 池永邦典 | 同 | 同 | 九八 |
| 渡邊善次 | 静岡警察署巡查 | 同 | 九九 |
| 深見健吉 | 同 | 同 | 一〇〇 |
| 鈴木吉藏 | 同 | 同 | 一〇一 |
| 河野一 | 同 | 同 | 一〇二 |
| 白鳥昔一 | 同 | 同 | 一〇三 |
| 小泉三吉 | 同 | 同 | 一〇四 |
| 大場松吉 | 同 | 同 | 一〇五 |
| 今井濱三郎 | 同 | 同 | 一〇六 |
| 三城保 | 同 | 同 | 一〇七 |

| | | | |
|-------|-----------|---|----|
| 佐藤要 | 同 | 同 | 三三 |
| 杉山常太郎 | 同 | 同 | 三四 |
| 青木讓 | 同 | 同 | 三五 |
| 藤田武雄 | 同 | 同 | 三六 |
| 宮本正 | 同 | 同 | 三七 |
| 關塚恭平 | 同 | 同 | 三八 |
| 佐野年夫 | 同 | 同 | 三九 |
| 齋藤和作 | 同 | 同 | 四〇 |
| 堀内利平 | 下田警察署巡查 | 同 | 四一 |
| 深澤儀太郎 | 同 | 同 | 四二 |
| 高杉弘 | 同 | 同 | 四三 |
| 川野龜次郎 | 下田警察署衛生技手 | 同 | 四四 |
| 柴田十七三 | 松崎警察署巡查 | 同 | 四五 |
| 竹下多喜雄 | 同 | 同 | 四六 |
| 福井久雄 | 大仁警察署巡查 | 同 | 四七 |
| 蒔山兼雄 | 同 | 同 | 四八 |
| 岩崎次郎 | 同 | 同 | 四九 |
| 山本良衛 | 伊東警察署巡查 | 同 | 五〇 |
| 稻葉順雄 | 同 | 同 | 五一 |
| 田村喜三 | 熱海警察署巡查 | 同 | 五二 |

| | | | |
|-------|-----------|---|----|
| 鈴木小一郎 | 同 | 同 | 四四 |
| 田口勅治 | 同 | 同 | 四五 |
| 土屋茂 | 同 | 同 | 四六 |
| 谷武雄 | 同 | 同 | 四七 |
| 龍光堅二 | 同 | 同 | 四八 |
| 佐野清 | 御殿場警察署巡查 | 同 | 四九 |
| 鈴木菊太郎 | 同 | 同 | 五〇 |
| 水島辰美 | 同 | 同 | 五一 |
| 八木長一 | 三島警察署警部補 | 同 | 五二 |
| 川村謙治 | 三島警察署巡查 | 同 | 五三 |
| 影島榮作 | 同 | 同 | 五四 |
| 村松猪太郎 | 同 | 同 | 五五 |
| 大桑貢 | 同 | 同 | 五六 |
| 矢崎秀吉 | 同 | 同 | 五七 |
| 安藤明 | 同 | 同 | 五八 |
| 小澤福次 | 同 | 同 | 五九 |
| 牧野金吾 | 沼津警察署巡查部長 | 同 | 六〇 |
| 佐野重雄 | 沼津警察署巡查 | 同 | 六一 |
| 小田兼藏 | 同 | 同 | 六二 |
| 鈴木伊之吉 | 同 | 同 | 六三 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|
| 西島吉雄 | 潮田實 | 鈴木克郎 | 增井恒夫 | 上池正久 | 武井德次 | 柴田正三 | 山内良平 | 後藤一馬 | 佐野忠雄 | 清水初平 | 柳川弘司 | 野島倍雄 | 伊澤吉郎 | 高田博武 | 平田博政 | 市川三郎 | 山崎龜雄 | 本目徹 | 大橋茂男 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 二九 | 二七 | 二七 | 二六 | 二六 | 二四 | 二三 | 二三 | 二九 | 二七 | 二六 | 二五 | 二四 | 二三 | 二二 | 二一 | 二〇 | 一九 | 一八 | 一八 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------|-------|------|------|------|------|-----|-------|------|------|------|-----|------|-------|-----|-----|-------|-------|------|
| 數原武 | 井上辰三 | 前田伊太郎 | 高林真一 | 大石靜明 | 鈴木康淑 | 高橋幸一 | 松浦馨 | 荒木新一郎 | 永田四郎 | 興石四郎 | 植松武治 | 望月隆 | 澤田七郎 | 大石清次郎 | 山下馨 | 白井隆 | 見城勝次郎 | 高橋彌三郎 | 田中咨次 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 五五 | 五四 | 五三 | 五三 | 五〇 | 四九 | 四八 | 四六 | 四五 | 四三 | 四二 | 四一 | 四〇 | 三六 | 三六 | 三五 | 三四 | 三三 | 三三 | 三三 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|-----|-------|------|------|------|-----|------|-----|----|
| 時田安太郎 | 立川文雄 | 瀧月猪一 | 萩原護 | 杉山長治 | 熊切敏郎 | 千羽新八 | 富安善昭 | 松下增一 | 淺羽勇 | 村井慶一 | 堤熊虎 | 遠藤保一郎 | 山下勝次 | 村松正一 | 清水謙三 | 秋山茂 | 勝山善樹 | 太田康 | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 七三 | 七三 | 七一 | 七〇 | 六九 | 六七 | 六六 | 六六 | 六五 | 六三 | 六三 | 六二 | 六一 | 六〇 | 五九 | 五八 | 五七 | 五五 | 五五 | 五五 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|------|------|------|-----|-----|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 安本源吉 | 鈴木小一郎 | 長島德一 | 平野求馬 | 石川求馬 | 川村猛 | 原村敬 | 法月忠五郎 | 中林伊一 | 大岩愛造 | 吉田三男 | 山崎一郎 | 漆畑良平 | 村松真一 | 齋藤一雄 | 松永林作 | 安本正吾 | 鶴見富士男 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 九五 | 九二 | 九一 | 八九 | 八八 | 八七 | 八六 | 八五 | 八二 | 八一 | 八一 | 八〇 | 七九 | 七六 | 七五 | 七五 | 七五 | 七五 |

家族書簡

警友戦塵録

| | | |
|-----------|----------|-----|
| 高杉まつ子 | (高杉弘妻) | 二一六 |
| 田口次郎右衛門 | (田口勲治父) | 二一六 |
| 佐野とみ子 | (佐野清妻) | 二一七 |
| 八木ちよ | (八木長一妻) | 二一九 |
| 中田菊子 | (中田蕃妻) | 二一九 |
| 茂木さく子 | (茂木辰夫妻) | 二二〇 |
| 植田小作 | (植田茂父) | 二二〇 |
| 小泉まつ | (小泉三次妻) | 二二〇 |
| 大場とし子 | (大場松吉妻) | 二二〇 |
| 野島ふさ | (野島倍雄妻) | 二二四 |
| 潮田よし子 | (潮田實妻) | 二二六 |
| 西島お津子 | (西島吉雄妹) | 二二六 |
| 植松喜三郎 | (植松武治父) | 二二七 |
| 遠藤要太郎 | (遠藤保一郎父) | 二二八 |
| 浅羽元 | (浅羽勇妻) | 二二九 |
| 安本角兵衛 | (安本正吾父) | 二二〇 |
| 松永とみ | (松永林作母) | 二二一 |
| 齋藤貞一 | (齋藤一雄父) | 二二二 |
| 村松惣平 | (村松眞一父) | 二二三 |
| 江里口巡査に感謝す | | 二二五 |

| | |
|----------------|-----|
| 福井巡査を憶ふ | 二二六 |
| 故静岡縣巡査八木蕃君を追憶す | 二二七 |
| 故松村武雄君を追憶して | 二二九 |
| 噫大澤時治君 | 二三〇 |
| 噫鈴木巖君 | 二三二 |

故 江里口喜三 (元警察練習所練習生)

合掌 ○○(○○)より出發、上陸第一步を前に控へ 皇國の意氣 天をつくの勢です。私も頗る元氣です御安心下さい。

ただ○○船の中のせまき壽司詰、折詰と言ひますか、實に慘たるものです。裸でゐても皮膚から汗の玉が吹き出る位です、殊に食事の時は見事なものです、時々○○へ深呼吸をやり、浩然の氣を養ひに出て○○をかみ殺してゐます。

先づは不取敢上陸第一步に際し皆様の御健康あらん事を御祈り申上げます。 敬具
追伸 これから當分文信は絶たれる事と存じます、呉々も皆々様に宜敷く御傳言下さい。

九月 二日

田上 部隊

江里 口 喜 三

富士郡原田村鑑石園内
江里 口 岩 松 様

故福井榮吉 (元下田警察署巡查)

出征以來以外なる御無沙汰に打過ぎ誠に申譯も有りません。署長殿始め署員各位様には御變りもなく御消光の事と遠察致します。私事御蔭様にて元氣旺盛にて第一線戦闘に参加致して居ります。銃後の御後援の爲頑強なる陣地も撃破され連戦連勝日章旗は大空高く翻つて居ります。御承知の通り支那軍は後方に督戦隊なる者が控へて居る爲案外頑強に抵抗致す爲我軍も相當の犠牲者を出して居ります。我軍の歩兵の突撃には敵も驚き入つて居る次第です。敵手榴弾等を利用して陣地に突撃致して居ります。敵兵は全部廿歳前後の若き學生軍です。敵の死體は山をなして居ります。話に依りますと〇〇、〇〇〇〇に依り當署員の方も應召されたとの事、伊東署の山本様より聞きました次第です。何分雨天続きで閉口して居ります。今後共陛下の御爲一死報國の覺悟あるのみ宜しく御後援の程御願ひ申し上げます。

十月 九日

上海派遣田上部隊

福 井 榮 吉

下田警察署長殿
署員各位 殿

故八木 蕃 (元大仁警察署巡查)

前略 御變り御座いませんか蕃も元氣で暮して居ります。去る二十二日〇〇後送の豫定だったのが向ふの病院が満員とかで何時行かれるのか亦當分の間現在のまゝで居らなければならぬでしょう。九月二十二日、同二十七日、十月十六日と之れで四回目の便りですが戦地からの事果して全部着いて居ないか其れは解りませんが、自分が負傷した事は新聞紙上にも出た事故假令手紙が全部着かなくとも御承知下さつた事と思ひます。そして若し着かないとしたらなせ負傷したと云ふ知らせ位よこさないのかと御怒りになるかも知れませんが、前述の如き理由に付御許し下さいませませ自分か此んな事を書くかと申せば第三信を出してから今日半ヶ月普通内地への往復も二週間で充分なのに未だに一通の返事も届かない處を見ると自分の出した便りもおそらく着いて居ないだらうと考へられます。で今日茲に更めて始めから第一回の便りとして書きます。此前の便りが着いて居りましたらあゝそうかと云ふて目をつむつて御讀み下さいませ九月十一日〇〇の戦闘に於て負傷してから一ヶ月半餘り右頬部左上膊部貫通銃創右大腿部擦過傷の三ヶ所それに一番最後迄瘡りに手間取つた右大腿部貫通銃創も今はもう完全に良くなり、負傷の方に付ては別に書く程の事も御座いませんから御安心下さいませ。只貫通銃創の方がまだ弾が入つて居りますから之れはレントゲンの診察の結果、弾の摘出不摘出が決定するのですが其時はまた詳しく御知らせします。隣りに本家、忍さんの三軒へは二回程出して置きましたが此れも若し着かない様だつたら是んな理由だと宜敷云つて置いて下さい。次に入院して居りますと中隊の事や友達の事など全然分りませんから村で誰れが戦死したとか負傷したとか出來たらお知らせ下さい。次に負傷の時襦袢一枚にて其他の物全部を失つてしまひ

四
ましたから今一度餞別を戴いた人名を便箋へでも書いて送つて下さい。修善寺町の方も人名のみ合せて願
います。勳と弘叔父様の住所をも書いて下さい。では此手紙が届きましたら成るべく早く返事を下さいお
願ひしますでは長くなりますから此れ位で失禮します。

十月三十日

上海派遣〇〇部隊氣付

兄 上 様

八 木 蕃

故松村武雄 (元沼津警察署巡查)

拜啓 時下酷暑の候署長殿には益々御健在にて御精勵の御事と存じ奉賀候 近頃當方日中は酷暑甚だしく
御座候得共愚生心身共に健全にて御奉公致居候間他事乍御休心被下度候 日頃は遠思ひ乍御無沙汰に打過
申譯無之候 平に御宥恕なし下され度事變勃發以來早くも一ケ年餘其間皇軍の戦果は有利に進展し武威は
各所に奮ひ支那全土に漲り國民が提灯行列に全幅の歡喜を表し神社への戦勝奉告祭に萬腔の感謝を捧げ得
たるは一に我等をして遺憾なく戦はしめ下される銃後の完璧の期する所にして衷心感謝致し居り候 愚生
〇月〇日召集となり十月初旬に當地に上陸してより大場鎮及蘇州河其後年内に南京攻略となり本年に入り
て各所の殘敵掃蕩又は討伐に出で五月初旬徐州の攻撃に参加したるも僥倖にも微傷だに負はず今日尙御奉
公出來得るは皆様の全くの武運長久御祈願の外なく只感謝の他御座なく候 先般は全國各所に相當の水害

有之御地も被害は相當甚大なるもの、如く紙上にて拜見致し驚愕仕候

知事閣下も石井部隊將兵に對し懇なる電報にて被害有之たるも縣民一致協力復舊に力めたりとの電報を
下され各方面に警察官も職務御多忙の折柄一入御勤務も繁雜なりし事と御察し申上候

御承知の通り漢口も遠からず陥落する事と存じ御同慶の至りにて私達も之の攻撃に参加の爲本月末に當
地を出發の筈に御座候 何れ拜眉の節當帶地の模様御話し申すべく署長殿の御健康を御祈申上候

昭和十三年八月十一日

中支派遣石井部隊〇〇隊杉田隊

松 村 武 雄

沼津警察署長

松 浦 政 藏 殿

故大澤時治 (元静岡警察署巡查)

前略 愈々本日〇〇より鹿島立つので御座います。もう元氣旺盛、武勳赫々として凱旋するのを楽しみ
にして居りますれば御安心下さい。就ては出發の際水野作平君には態々濱松驛迄御見送り下されましたの
に彼の住所不明の爲め御禮申上げる事も出来ませんので家の方より御禮申上げて下さる様御願致します。
不取敢出發の御通知迄

大 澤 時 治

静岡縣榛原郡御前崎村女岩

大澤 半平 殿

六

故鈴木 巖 (元島田警察署巡查)

拜復 寒氣厳しき昨今に御座候へ共部長殿には益々御勇健の由奉賀候 降つて自分お蔭を以つて丈夫で御國の爲頑張りつゝ有之候

昨年〇〇出征以來多大なる御厚志に預り乍ら今日迄の御無音にて面目もなき次第と存じ居候 部隊長の訓示慰問新聞其他に依り銃後の赤誠状況見聞の都度何とも云ひ得ぬ感激に浸り居り候 本日も部長殿より慰問状を頂き唯々感泣いたし候 警察官たる自己を無上の幸福と痛感いたし候 部長殿 巖は全能力で軍務に服し任務遂行に努力いたす決心を更に強く亦警察官としての軍人として恥ぢざる様頑張る心持を胸中堅く抱き候

在縣警察官の方々も銃後治安の十全に一層勤務多忙の事と存じ候 部長殿には益々寧日なき御事と存じ候 終りに彌々部長殿の御健康を野戰より祈り居り候 草々

二月 十日

北支派遣岸上部隊

鈴木 木 巖

静岡縣警察部長 殿

村松 三郎 (警察部警務課巡查部長)

拜啓 初秋の砌り益々御清穆の段奉賀候 小生儀出征の際は御多用中にも不拘御見送りを辱し有難く御禮申上候 御蔭を以て無事現地に到着し以來各地に移動し去る本月五日豊臺出發〇〇に前進し目下滯在中に有之候 後方兵站勤務とは云ひ乍ら第一線部隊の前進と共に兵站線は著しく延長し〇〇の兵力を以て之が警保に任ずる吾人の任務も亦相當困難を極めつゝ有之候 本月三日豊臺出發前幸ひ機會を得て北平を視察する事を得申候 御承知の如く北平は清朝の都にて元帝室の跡は一部は博物館に使用せられ居るも大部分は其儘保存せられありて在りし日の清朝の偉を偲ぶに充分なるもの有之候

平清地方は今や徐々に治安回復し民衆は何れも吾軍の方針を體し治安維持會の活動と相俟つて各々業務に精勵し裏面は兎も角我軍に好意を表しつゝ有之候 次に支那の重要都市は何れも一定地域に城壁を設け〇〇の如きは周圍は高豪なる城壁を築き而も城壁の内部は自由に交通し且壁上に昇り得る極めて便利なる装置にして更に城外には三重の塹壕を設け第一塹壕は幅二間深さ一丈餘にして戦車を防ぐに充分なるものにして而も延長一里以上如何に支那軍が〇〇の防禦に力を致したるかを窺ひ知るもの有之候 御存じの通り當地は〇〇省政權の中樞地にして事變前は人口十二萬抗日意識の最も甚しき所にして此地の鞏固に於ける支那軍の死者は二萬二千八百名、以て如何に彼我の戦の激しかりしかを御想像被下度我軍占領當時は支那民衆は一人も居らざりしも只今は續々と歸還し支那人約四萬を數ふるも占領當時當地に遺棄しありたる支那の軍衣、兵器、彈藥は著しき多數に上り是等の點々するも歸還者中には敗殘兵あり抗日分子あるものと豫想せられ之に加に交通不便にして之等の状態の下に後方を守る少數部隊の任務誠に大なるもの有之と存

七

ぜられ候。然し乍ら出征將兵一同は銃後皆様の熱誠なる御後援に感激し相携へて御奉公に専念致し居り候に付御安心被下度時節柄寒に向ふの候折角御自愛の程祈上げ候

尙留守中は種々と御厄介に相成る事と存じ候へ共何分宜敷御願申上候 敬具

昭和十二年十二月十五日

北支派遣憲兵本部

村 松 三 郎

静岡縣警察部長殿

大橋 四郎 (警察部警務課調査部長)

拜啓 大變御無沙汰致しました皆様其後御變りありませんか。年末年始を控へさぞ御忙しい事と存じます。陳者私事去〇〇月〇日大命を拜して晴れの征途に就き一路恙なく任地に到着致しました。第一線を遠く離れた後方守備で華々しく勇ましい便りを書く事が少ないのが残念です。支那へ来て直ぐ目に付くのは道路、街、人總てが想像以上汚い事です。吾々の残飯を争つて食べに来る支那の子供達を見る時、日本に生れ日本に育てられた有難さをしみくと感じました。此處は〇〇省の一小部落で氣候は支那で一番良い處だそうです。日本より少し寒い感じがします。

追々面白い事珍しい事をお知らせ致します末筆ながら嚴寒の候何卒御身體を大切に幸多き昭和十四年を御迎へ遊ばされます様遠き北支の空より御祈り致します。 敬具

昭和十三年十二月二十日

北支派遣軍〇〇部隊

大 橋 四 郎

静岡縣警務課長殿

外 課員御一同様

松 井 厚 (警察部警務課巡查)

謹んで新年を祝します。昨年十二月一日附御通信は昨日戴きました有難う御座いました。ほんとうに何時も公私御多忙で御活動の片時さへ、留守宅の御配慮から小生の身迄御案じ下され絶えず機會ある毎に激勵やら御慰問の御言葉を賜り感激の外御座いません。それに引換え小生南京、徐州、武漢三鎮と夫々の攻略戦に轉戦を重ねたとは言へ遂ひ心ならずの御無禮には甚だ心苦しい次第で何卒御赦しを願ひます。然し案外敵弾に見離された形で愉快に永の戦闘を爲し力一杯の御奉公が出来まして體も愈々頑健に只今斯うして生を保ち得ますのも、偏へに先輩皆様の御熱心なる御祈願に外ならぬものと今日此頃の明月を通じては遙かに静岡の空を眺めて感謝しともすれば弛み勝なる心にむち打つて己を勵まし、皆様の御心に違はざる様誓つて居ります。當地は周圍山又山と云ふ山間僻地で氣候溫暖と申し乍ら本日邊り降雪ありて夜半零度以下に降つて割合凌ぎ難く、且交通不便にて通信の自由全からず、唯戦塵に禍された支那土民の右往左往するを散見するのみにて他は有名なる野犬と鳥雀の類、殊に文字通りの田舎で警備中の吾々第一線陣地に

伊井國雄 (警察部特別高等課警部補)

拜啓 彌々御清適の御事と御欣び申上げます。陳者此度私儀出發に際しましては御懇篤なる御厚情を蒙り有難く御禮申上げます。過ぐる日萬歳の聲、打ち振る日章旗に感激しつゝ、盡忠報國を誓ひ出發致しましてより、御蔭様にて海陸恙なく本日任地に安着致しました。戎衣は軽くとも、任務は愈々重く警察官として恥じざるやう一層奮闘する覺悟であります。時局重大の折柄御自愛の程御祈り致します。 敬具

十二月二十九日

北支派遣〇〇部隊本部

特 高 課

伊 井 國 雄

草間喜代美 殿

山口 薫 (警察部特別高等課巡查)

謹啓 其の後は御無沙汰致しました。時局下御多忙の中に耀かしき昭和十四年を迎へたこと、存じます。不肖等も恙なく北滿の一角に新しく生れるでありましよう世紀の光を浴び皇運の無窮なるを祈りつゝ新春を迎へました。北滿の國境線に赤き〇〇に抗しつゝ零下四十度の空に頑張つて居ります。今度の事變を契機として生れるであらう東亞の新秩序、歐亞の凡ゆる桎梏を脱し 皇國を盟主と致しまする平和な東洋の

天地創造の爲百年戦争否永久戦争の爲個人を犠牲として國民總力此の時局を戦ひ取らなければならぬと思ひます。將兵一同元氣旺盛、困難なる自然の情況を克服、祖國に血を受くる子孫の爲「礎石たらん」と期して居ります。嚴寒の折柄益々御自愛御精勤の程祈ります。皆様によりしくお傳へ願ひます。 草々

一月十八日

滿洲國〇〇(〇)部隊

山 口 薫

警 務 課

黒田警部補 殿

小澤利司 (警察部刑事課巡查)

謹啓 過日は御多忙中にも不拘御心にかけれ御慰問の御言葉頂き難有伏して御禮申上ます。日頃は存じ乍ら御無沙汰のみ重ねて居りますが、尊堂には益々御清勝の御趣何よりと御嬉び申上ます。降つて私事御蔭様にて相變らず元氣に去月下旬山東省の駐軍地を後に海陸併せて二十餘日の行動も何の滞りもなく〇〇省某重要地に入り軍務に専念致して居ります故他事乍ら御放念の程願上げます。當地方の氣候は日中は内地の五月初旬頃の氣温にてシャツ一枚にて作業に従事致して居ります。従つて夜間の冷氣も北支方面よりは暖かく今以つて夏服ですが少しの寒さも感じません。昨年の今頃は丁度山西の山奥で雪を踏みしめ乍ら行軍致して居つたものですが、同一國內であり乍ら随分變つて居る事と思ひます。又北支方面に於ては見

る事の出来なかつた水田があり、戦で主は居なくても稻は黄金の波を立てて主の一日も早く歸らん事を待つてゐるかの様に見えます。聞けば當地方は蔣介石の直屬軍が居つた關係上、土民に至る迄抗日意識が極めて強く、従つて歸順土民の數も少い様に見受けられます。本年の正月は山西の雪陣中で迎へたのですが來年は現在地で夏の正月を迎へる事が出来るではないかと想像して居ります。御地は日増しに秋も深まり朝夕一入冷氣も加はる事と存じます故、尙一層御養生の上益々御清勝の程乍蔭御祈り致して居ります。亂筆にて御返事少々近況御報知迄

十一月二十八日

南支派遣住吉〇〇部隊

敬具

小澤利司

警務課長殿
情報課長殿

稻穂清市（警察部衛生課警部補）

出發以來打絶へて御無沙汰致しました。扱て當方の氣候は大體内地と大同小異で寧ろ少し暖い様な氣が致します。從而疲労と生活様式の變化は激甚なものがありますが、至極健康で毎日の激戦に参加して居ります。

激戦！ 全く激戦の連続です。内地出征當時は支那を相手では面白い位に考へて居りました。然し永い

間培はれた抗日思想に依て以前より構築された「クワーカー」に沿つた陣地は實に堅固でした。此の堅固の陣地は見渡す限り目標らしいものもない一平原中近きは三十間遠きは一丁置き位に皇軍の攻撃正面に横たはつて居ります。従つて友軍の前進には一クワーカーを占領し又一クワーカーと言ふ工合で到底北支の如く戦果は進展しません。然も敵は小銃よりも機關銃と手榴弾及大砲を主とした戦法の如く考へられます。然も機關銃、手榴弾は可成優秀のものを持つて居ります。其の數も敵が退却に際し遺棄した數より想像して相當澤山なもの、如くです。（中略）私共砲兵は高地戦なればかなり遠くに居て攻撃出来るのですが、平坦地の戦闘ですからどうしても射撃に際し敵に近迫しなければなりません。此の様な譯で砲兵も此の度の上海戦争では觀測所員は歩兵の最前線に出て居ります。敵弾はビュー／＼全く彈丸飛雨の如くです。否な彈丸飛雨の音はビュー／＼でなくビーの連続です。そして此の合の手の様には砲弾は觀測所附近迄に落下炸裂します。（中略）只今より陣地偵察に前進する事になりました。

簡単に申し上げます。上陸以來江灣、揚行鎮、林家宅、劉家行及大場鎮の各戦闘に参加し、只今は上海を貫流する蘇州河北帯に陣地を占領し南岸の敵に對して居ります。私は至極丈夫です。何卒不在中宜敷御願申し上げます。

十月三十日

西田部隊

稻穂清市

衛生課長殿
外課員各位殿

松浦峯作 (警察部衛生課防疫監吏)

久しく御無沙汰致して居りました。其後益々御健勝にて銃後の衛生行政に御盡瘁遊ばさるゝ由承り慶賀の至りに存じます。扱て小生上陸と同時に〇〇部隊に配屬せられ〇〇作戦に参加致して居りましたが、銃後皆様の御蔭で無事任務を終へ數日前〇〇附近〇〇に到着原所屬〇〇部隊の隸下に復歸致し目下同地附近の警備勤務に服して居りますから御安心下さい。此間戦功も苦心談も何もありません。只支那へ來たと云ふに過ぎません。當方面は上陸以來雨といふ雨は降らず最近も小雪が二回程降りましたが、附近の山にも積雪なく殆んど快晴續きにて時折強風が起り蒙塵に惱まされます。氣温も大陸的で十月中、下旬頃は内地の仲秋と殆んど大差ありませんでしたが、十一月に入り急に低下し十一月一日以降最低零下十七度、最高零下二度にて衛生方面は支那と聞くと不潔と云ふことが直感的に豫想されますが、都會地は兎に角地方では全く豫想以上です。最も重大なことは飲料水の僅少なことで上陸以來通過せる約百二十里ばかりの間に湧水池ありて飲料水に適するは僅かに一ヶ所、相當人家の多い部落にても井戸は二、三ヶ所(深さ十米位貧弱な堀井戸)位にて全く井戸なく、河水(何れも少量)溜水等を使用し居る部落多き状態にて時に水筒一本で一日の洗面、飲料一切に當てねばならぬ様な場合もありました。傳染病は中南支に比し少ない様ですが、内地の如く赤痢、腸チブスが多く最近赤痢は減少しましたが、腸チブスは今尙相當にある模様にて非常に悪性で、死亡率も五〇%にて當地の流行菌による豫防注射を必要視せられて居ります。ベストとか痘瘡は今の處ない様です。此の外〇〇病、呼吸器病等も相當ある様です。〇〇病は一説によると其昔蒙古の或る宗教(ラマ教)により〇〇病に罹らない者は一人前に取扱はれなかつたとか云ふ時代が

あつたとかにて今尙多き理由の一つと云ひ傳へられて居ります。軍隊では内地歸還前嚴重な検査を行ひ罹病者は完全に治癒する迄歸還を延期、入院せしめる様になつて居りますので各個人的にも此の様な不名譽に陥らぬ様相當罹病の原因を避けて居らるゝ様で内地に於ける戦時防疫上良結果を得らるゝ事と考へられます。其他用兵作戦、行政方面の事に關しては省略致します。目下私共の住居は元支那兵營で相當防衛設備もあり、飲料水其他の物資等に於ても生活上何不自由なく暮して居ります。亂筆にて失禮致しました末尾ながら課員御一同様によりしく御傳言下さい。

十一月十六日

北支派遣軍榎本部隊

松浦峯作

静岡縣警察部衛生課長殿

石川徳市 (警察部衛生課防疫監吏)

拜啓 秋冷の候警察部長殿には益々御健康奉賀候 降而私儀出征以來無事に付御安心下され度候 去る八月二十三日には留守宅へ御慰問狀に預り厚く御禮申上候 當部隊は〇〇に於て病院を開設患者收容中に御座候

敬具

九月十三日

中支派遣軍栗田部隊

石川徳市

静岡縣警察部長殿

川本敏雄 (警察練習所巡査部長)

前略 課長殿始め皆々様御健勝の事と存じます。中支の空にも漸く冬が訪れて大分寒さを感じて参りました。併し内地に比べてまだ、暖かい様に思ひます。防寒被服の充分でない一線にとつては暖かい事が何より幸ひです。目下我々の目標であつた〇〇に居ります占據後一ヶ月にならないのに大體治安は確保され日本の力が全市に浸み渡つて外國租界以外は到る處日章旗がへんぼんと翻つて居る風景は實に力強い限りです。大別山中の山猿が始めて都會へ出て來たかの様に立並ぶビル街を眺めて物珍らしげに眺めた事でした。電燈と水道とが久し振りに人間らしい生活をさして呉れて居ります。想像以上立派な市街です大きな建物の多い事、又その豪壯さに驚きました。流石に〇〇〇〇の名に叛かぬものがあります。住民も大分歸つて居ります。日本人も大分ふへつゝあります。正月頃迄にはスツカリ立直る事でせう。埠頭から日本租界にかけて復興に治安工作に活躍する軍部の努力は物凄いものがあります。交通巡査に代つて兵隊が赤白の旗を振つて十字路に毎日整理して居りますが、仲々堂に入つたもので一糸亂れず織る様な交通の流れも整理され、軍用トラック、部隊、苦力の團體が西に東に交流してあわたたしい空氣の中に大〇〇を日本色化すべく躍動が續けられて居ります。併し十字路毎にある交通整理の兵の立つて居る處は五尺位の高さ直徑も五尺位の丸いベトン造りの臺ですが、其下部には四方八方の射撃の出來る銃眼です。地下から道路上が掃射出來る恐るべきトーチカになつて居ります。江岸の岸壁は皆銃眼を穿ち、江上を上下する船舶は残らず射撃が出來、然かも上空は遮廠し外部からは絶対に見えない様な設備になつて居ります。徹底した此の防禦設備には一驚すると共に是れが全能力を發揮した場合を想像すると戦慄を覺へます。外國租界は實

に嚴重に保護せられ、其の境界には何れも歩哨が配置せられ、物凄い警戒外國權益を尊重する帝國の方針を如實に物語つて居ります。此の土地に來られたるを無上の喜びとし何れ後便にて御通知申上ます。御身御自愛を祈ります。

十一月二十四日

北支派遣軍毛利部隊

川 本 敏 雄

静岡縣警察部警務課長殿

外 課 員 御 一 同 様

米澤幸藏 (警察練習所巡査部長)

拜啓 向暑の候御尊堂益々御清穆の段奉賀候 長期野下の時局内に外に益々繁激を加へ殊に警察部界に於かれましては寧日なきの昨今に有之やに拜承仕り候 生徐に省みますれば昨年七月蘆溝橋事件に端を發したる日支事變に當り望めぞ叶はぬ人の多き中に召されて國の護りに付くの無上の光榮を擔ふ、加ふるに警察部長殿よりは懇篤なる激勵の御言葉を忝うし盛大なる歡送裡に出征致し候より思出深き數々を残して今や一星霜を加へんと致し居候

此の間御多忙の御身を以て克く又恒に小生等の上に御厚志を垂れさせ給ひ日夜御激勵を賜り且又家族に對しましては慰安の道を講ぜられ、銃後の施設を完備し後顧の憂ひを除去せられ安じて銃を執るの機を與

へ陣中如何なる場所に於ても常に皇國警察官たるの信念を把持して行動得せしめたるは一に御厚志の然らしむるものと今更感謝感激に不堪候

今や陣中に第一線たると後方たるを不問徹底的蔣政權撲滅と東洋民族眞の平和招來の目的を有して行動致し居候 生亦此の時に當り未だ生命を全うし以て帝國軍人として將又皇國警察官として此の鴻業に携るの幸福と光榮を感じ愈々忠勤を擢するの覺悟に有之候へば乍憚御放念被下度候

先は右御厚志を深謝すると共に平素の御無音を謝し併せて所信の一端を披瀝申上度如斯御座候 敬具

六月二十九日

田 上 部 隊

米 澤 幸 藏

静岡縣警察部長殿

安本孝平 (警察練習所練習生)

謹啓 秋空高く清々しき氣候と相成候處所長殿愈々御勇健に亘らせられ我が警察界のため御教鞭に御專念の段奉賀候 本職召集の際は絶大なる御懇情を賜り感謝感激の外無之候 短時日であれど日頃所長殿初め教官各先生方より御教示に預りし警察精神を膽に銘じ皇軍の一員として此精神を戰場に發揮すべき重大なる任務ある本職は上陸日淺くして敵の一弾に倒れ銃後の國民の熱誠なる御期待に副ひ奉る程の勳功も樹て得ず、戦線を去るの已むなきに至り實に残念至極に存じ候 其後傷の経過も良好にて今暫くの治療を受く

れば再び戦線に向へる様相成候 此も一重に銃後國民の熱烈なる武運長久、平癒祈願等の御後援の賜と感涙に咽び居り候 今度こそは戰場の花と散り護國の鬼と化する覺悟に御座候 早速御報告申上くべき處肉體の不自由を楯に失禮致し居り候 何卒御赦願上候 末筆乍所長殿益々御健康ならん事を遙かに祈申候 先は右御禮旁々御報告まで申上候 頓首

十一月三日

中支 大場 部隊

安 本 孝 平

静岡縣警察練習所長殿

松下秀吉 (警察練習所練習生)

拜啓 時下酷暑の候所長殿初め皆々様益々御壯健にて静岡縣警察界の爲御活躍の由奉慶賀候 過日は御丁寧なる御芳書並に協會雜誌を賜り皆々様の御厚志の程厚く御禮申上候 光陰矢の如しとか出征茲に一ヶ年各地に轉戦する事數十回、身に一弾も受けず病魔にも罹らず元氣旺盛に御奉公の出來得候は之一重に所長殿初め皆々様の賜と厚く感謝致す次第に御座候

目下我部隊は〇〇警備の任に就き百三十度の猛暑にも屈せず緊張致し軍務に服し居り候 入場當時の影すら止めず五色旗の下新政府擁立の聲高く治安全く回復の槌音も快く響き商店は軒を並べ立ち非常な賑ひを極め居り候 其の平和回復の早きに驚嘆致し居り候 又近日中〇〇攻略の爲め〇〇に向け出發の豫定目

下準備に多忙を極め居り候へば簡單ながら一筆御禮申上候

時下尙酷暑之候所長殿及皆々様の御健勝を遙か遠き南京の地より御祈り申上候

敬具

昭和十三年八月十日

中支派遣軍石井部隊

松 下 秀 吉

警察練習所長殿

佐藤 要 (警察練習所練習生)

拜啓 時下初秋の候所長殿初め皆々様には御無音に打過ぎ平に御容赦被下度 小生も皆様に萬歳の聲に送られ日浅くして傷つき此處内地に歸り誠に申譯無之なんと申詫て良いか不知死して護國の鬼と覺悟せしも意の如くならず警察界の名を汚して申譯有りません。中隊長殿は全員を集めて此度の總攻撃には全部覺悟をしてくれと言はれた。戦ふ小生も幹部方に上るだけの頸は取また傷は浅き故御心配被下ぬ様面會の上細々と御詫び致します。

九月十九日

〇〇病院

佐 藤 要

静岡縣警察練習所長殿

杉山常太郎 (警察練習所練習生)

拜復 御便り有難拜見仕りました。歳末警察陣を指揮して御奮闘の體を拜し心嬉しく存じて居ります。本職儀長期間に亘る行動或は連絡不便にかこつけいつも乍ら疎音になり勝ちにて誠に申譯け有りません。悪しからず御寛容下さる様願ひ上げます。當地も敗殘兵と寒氣の襲來に備へ大童に防戦の準備をして居ります。ストーブの製造もあちこち持寄りの乏しい材料により今日完成しました、炭焼もやつて居ります。來るべき正月に備へて近々と餅をつくるとか、課長殿にも歳末に際して銃後警察事務益々多端の折柄御苦勞一入の御事と遙に拜察致して居ります。本職等益々奮勵以つて及ばず乍ら縣下千三百の先輩諸賢の代表としてはずかしからぬ働をする覺悟です。何卒今後共御指導鞭撻の程願ひ上げます。では御禮旁々近況御報告まで、終りに遙かに御健闘を祈り上げます。

十二月十五日

中支派遣軍鈴木貞部隊

杉 山 常 太 郎

警務課長殿

青木 讓 (警察練習所練習生)

前略 其の後御無音に打過ぎ申譯無之深く御詫申上ます。課長殿以下御職員には御健全にて御職務に御多

忙の御事と存じ御喜び申上ます。私も相變らず元氣にて軍務に勵み居ります故御安心下さい、近頃は朝七時半より午後九時の消燈に至る迄日課に依り教練或は馬の運動にて日を過して居ります。今日は目出度き紀元節を迎へ皇國日本の國威益々高からん事を祈る次第です。未だ寒き折課長殿以下御職員には呉々も御體を大切に先は御詫旁々近況報告まで。

敬具

昭和十三年二月十一日

〇〇軍司令部氣付淺田部隊

青木讓

静岡縣警務課長殿

藤田武雄 (警察練習所練習生)

暑中御伺ひ申上げます。

極東永遠の平和を確立すべき聖戦火を交へしより支那全土の大半は我が掌中に歸し先に北中支に明朗なる春を迎へて只管友邦新興支那の建設にと邁進して居ります。此れも一に

上 陛下 の御稜威と銃後皆様の赤誠に依るものと深く信じます。顧みますれば炎熱焼くが如き中に上海に敵前上陸を敢行してより一星霜を迎へんとするが早や江蘇の天地にも酷暑が訪れて参りました。然し乍事變は刻々と進行を加へ長期に渡らんとするに際し益々盡忠報國の堅意を固め銃後の完璧に添ふべく奮闘努力する覺悟です。先は平素の御無音を御詫旁々暑中御伺ひ迄

昭和十三年夏

石井部隊

藤田武雄

警察練習所長殿

宮本 正 (警察練習所練習生)

拜啓 大分寒さを増してまいりました。皆々様益々御清榮の御事と拜察仕ります。小生も元氣旺盛軍務に精勵致して居ります故乍他事御休心下され度、本日は御手紙難有拜見仕りました。小生も今度九月十四日付命令を以て上等兵に進級致しました、及ばず乍ら今後も益々奮勵致す考へに御座います。本日米澤部長殿の處へ御手紙を書きました。小生等の部隊も四方八方に分れて居りますので、面會するのも六ヶ敷いと思ひます。石田巡查に御面會の際がありましたら宜敷御願申上ます。先は亂筆にて失禮します。 敬具

昭和十三年九月二十七日

中支派遣高品部隊

宮本 正

警察練習所

渡邊 教 官 殿

關塚恭平 (警察練習所練習生)

拜啓 久しく御無沙汰致しました、當地へ來てから二ヶ月餘の軍隊生活も無事過ぎ先日より〇〇にて毎日
上番下番で愉快に面白く勤務に付いて居ります。勤務地は山の頂上で鈴蘭芍薬が一面に咲き内地では見ら
れない様な良い景色の所です。「非常呼集」それつとばかりに初年兵の急ぐ事／＼直に任地へ一目散、又
「オイ」變な音がするぞ——〇〇方面だー望遠鏡を出せ「ハイ」だが容易に見へずやがて自動車のエンヂ
ンの音だと解る、其の時の緊張さは一寸常ではありません。勿論日曜祭日等はありません。

同期生諸君は如何でせうか、さぞ警察界第一線で御活躍の事と思ひ慶賀の至りに存じます。種石君は自
分と同様當方面に來られたでせうか、勤務の合間／＼には練習所生活の朝のラヂオ體操等思ひ浮べて懐し
く感ぜられます。どうか同期生警察官諸君によりしく。職員御一同様の御健康を祈ります。さようなら。

昭和十三年六月三日

滿洲國江島部隊

關 塚 恭 平

警察練習所長殿

佐野年夫 (警察練習所練習生)

拜啓 嚴寒の候 職員御一同様御變りも御座いませんか、出發の時の感激は一生忘れられません。〇〇に

上陸、以後汽車輸送にて〇〇日無事任地に着きました故他事乍ら御放念下さい。支那は見るもの聞くもの
皆珍らしく全くなぞの國です。詳しい事は又後便にて

北支〇〇にて

北支派遣軍桂部隊

佐 野 年 夫

白 瀧 善 吉 殿

齋藤和作 (警察練習所練習生)

前略 長い船中生活に別れを告げて愈々目指す大陸へ第一步を印しました。船中で池田繁、池谷政夫、小
笠原諸君と會ひ久し振りに郷里の話に花を咲かせました。當分當地で英氣を養ふ積りで然るべき命令を待
つて居ります。三君も同じ所に待期中で毎日會ひます。

詳しい事は本隊へ着いてから、先は上陸の御知らせのみ山口さんにもよろしく。

十二月二十七日

〇〇にて

齋 藤 和 作

静岡縣特別高等課内

齋 藤 宜 男 様

堀内利平 (下田警察署巡查)

拜啓前略署長殿初め署員皆様には時節柄御多忙な御事と存じます。小生も引續き〇〇地目指して雨の日も風の日も何のそのこの取秋の秋日和は好期逸すなかれと意氣旺盛です。蔣介石は難攻不落を誇る大別山脈も今正に突破して目的の〇〇へと迫らんとして居ります。ニュースに依れば廣東も占領するし如何に長期抗戦を主張する蔣も今に自分の糞のたれ場がなくなりはせぬかといらぬ心配して居ります。此頃は随分天氣も良くて何處も同じ秋の夕暮れで内地の秋日和と同じです。元氣で居りますから御安心下さい。又〇〇地へ行けば高杉、林兩君にも出会ひます。

十月廿三日午後十時

中支派遣軍富田部隊

堀内利平

阿形署長殿

深澤儀太郎 (下田警察署巡查)

謹啓 時下嚴寒の候警察部長殿には益々御健勝の段奉賀上候 陳者私儀出征以來一方ならざる御後援御鞭撻被下され誠に有難厚く御禮申上候 御蔭を以て相變らず無事軍務に精勵致し居り候條憚りながら御休心下され度候 戦況も愈々長期抗戦の準備にて着々之が編成を見

つゝある情況に有之我れ〳〵の行動も今後如何なる方面に進むべきか推測し難きも各々其任務に邁進今後の戦況に應ずる準備と覺悟を有するものに有之候 先は御禮旁々近況御一報迄如斯御座候 拜具

中支派遣〇〇部隊本部

深澤儀太郎

警察部長殿

高杉弘 (下田警察署巡查)

拜啓 寒氣日に増す折柄貴官益々御清榮の段奉賀候 陳者小職儀出征以來何等事故なく無事戦務に精勵致し居り候間御放念被下度候 先般は御殿場署長殿をして態々小生留守宅を御慰問被下たる事留守宅より通報有之候 私共出征後は缺員に缺員にて非常なる御多忙中にも不拘斯く御丁寧なる御慰問を賜りたる事厚く御禮申上候

私共は只今〇〇より約〇〇〇里位離れたる揚子江畔の一都市に滞在中に有之候 本都市は戦闘の跡殆どなく支那商店すら開店しつゝある状態にて至極平靜の状態に御座候 同じ警察界に身を奉じつゝある吾戦友にありましても多數名譽ある御戦死遊されたる旨新聞紙其他にて遅れながらも見聞致し只御悔み申上候 小職不日無事凱旋の節は貴官の膝下に奉すべき者に御座候間今後共宜敷御願申上候 草々

一月十六日

中支派遣軍淺田部隊

静岡縣警察部長殿

高杉弘

三〇

川野龜治郎 (下田警察署衛生技手)

拜復 御意の如く嚴寒の候貴官並に揮下各位益々御健勝にて御精勵の段奉賀候 生等出征以來は殊更御繁務甚だしきにも不拘遺族の慰問に迄御配慮を賜はり候段誠に難有存候 今回亦御丁重なる詞を給り唯々感激の他無之候 遺家族の様子を承り加ふるに健在なる姿を迄御撮影御送付に預り一層感激を新たに致し候 日夜自ら省み亦兵に諭告致し居候處の送られて征途に上る時の覺悟を寸時も忘却せず以て本務に専念精勵致し銃後各位の誠意に報ゆる覺悟に候間何卒御休心被下度候 尙揮下左記諸氏も當部隊に於て心身共に頗る元氣精勵致居候間是亦御休心被下度願上候

記

沼津署勤務巡查 佐野重雄
下田署同 高杉弘
同 電話工手 林十四雄

右御禮迄如斯御座候
二月三日

中支派遣淺田部隊

敬具

静岡縣警察部長殿

川野龜治郎

柴田十七三 (松崎警察署巡查)

拜復 時下嚴寒の折柄益々御健勝の段奉賀候 陳者私儀應召以來御無沙汰に打過ぎ候も種々御配慮を頂き居り候儀厚く御禮申上候 且は今回は態々御見舞の辭相賜り恐懼感激の至りに御座候 御蔭を以て戦闘參加中は微傷だに受くることなく任務を完ふし長驅南京に向ひたるも途中より〇〇〇隊配屬となり江北「楊州」に前進客月十五日以來〇〇と相成り古都に迎春仕り候 目下戦火遠く避難せる土民も漸次街に復歸し舊曆正月を迎え爆竹等を揚げ和やかなる風景を描出し居り候も第二次作戦に添ふべく殊に英氣を養ひ居り申候間他事乍ら御安心相成度候
先は右到着御禮まで

敬具

一月三十一日

中支派遣軍武田部隊

柴田十七三

生悦住求馬殿机下

竹下多喜雄 (松崎警察署巡查)

拜復 本日は御書面に接し難有拜見致しました。思ひ乍らも御無音に打過ぎ誠に申譯けない次第で御座います。悪しからず御寛容下さい。貴官には益々御勇健に亘らせられ御精勵の御由慶賀の至りに存じます。降つて不肖事炎熱を克服しつつ、〇〇を後にしてより江北の幾山越えつゝ進撃にも武運強く元氣一杯奮闘致す事が出来まして只今〇〇にて冬晴の彼方に大別山系を眺め水枯れた山麓の清流に白砂の限りなく續く大陸の自然美を味ひ初冬の冷氣を胸一杯吸ひつゝあらゆる困苦も今は战友との談笑となり益々軍務に精勵致し居りますれば乍他事御放念下さい。之一重に貴官始め各位の御祈願の賜と深く膽に銘じ感謝致し居る次第であります。

武漢陥落の國民の歡喜緊張を新聞紙上にて拜見仕り只々感激の熱涙にむせび尙且任務の重大なるを痛感致し日頃の御教導に依る警察精神即日本精神を昂揚し一層奮起致す覺悟で御座います。貴官始め各位に於かせられましたは事變下の治安に經濟警察の徹底に其他あらゆる警察機能の強化に不眠の御精勵を拜聞致しましては御心勞に對し只々感謝に堪へない次第で御座います。目下次第に嚴寒に向ふ折柄貴官益々御自愛專一に御健康の程祈上げます。末筆乍ら職員各位に宜敷御鳳聲下さい。先は略儀乍ら御無音を謝し御返事まで申上げます。

十二月六日

中支派遣鈴木貞部隊

竹下多喜雄

静岡縣警務課長殿

福井久雄 (大仁警察署巡查)

謹啓 時下嚴寒の候御貴官益々御清榮の段奉賀候。小職客年〇日應召せられ候に就ては家族に至るまで特別の御高配を辱ふし誠に有難く厚く御禮申上候。目下北支に於て〇〇部副官部に勤務いたし候が應召以來の經路の大要を添付仕り候間御覽を賜り度候。幸に至極健全にて御奉公いたし居候間御休心下され度候。内地も只今が一番寒さの厳しい時季と存じます。皆様方には事變が長期に渉るに従ひ愈々緊陣晝夜の隔なく守りの完璧を期せられつゝあると聽いております。身を戰陣に置くものといまして誠に有難い幸と存じます。私事客年〇月に應召せられましてより至極健全にて元氣一ぱい御奉公いたしております。これも郷土皆様方の日頃御祈願下さる神佛の御加護の賜と存じ、朝夕東方に向ひ感謝の祈りを捧げております。今般兵站監部副官部の勤務を命ぜられまして客月二十三日より〇〇に勤務いたしております。業務は功績調査助手で仕事は事務のみであります。二月に入りまして軍は全面的に活動を始めラヂオ、ニュースで報導せられました様に總攻撃が開始せられ各地に戰鬪が行はれておりますが、最早主なきに等しい支那軍は吾が皇軍の比でなく吾が軍は文字通り破竹の勢を以て敵の主要地を占據いたしてあります。この情況でありますと北支五省の掃蕩を期するのも程遠くない事と存じます。こゝに只今までの經路のあらましを參考までに申上げて見たいと存じます。

豐臺→北京→蘆溝橋→良郷→松林店→北河店→徐州→保定→七里堡→八角樓→保家莊→正定→石家莊→東長壽→漢家庄→南十里舖→欒城→元氏(駐軍)(一一、二〇發)→高邑→柏郷

↓内邱↓順徳(駐軍)↑南和↑平郷……部隊

三四

以上の経路であります。小生母隊の新○部隊は○○編成の車輛部隊でありまして其の○は滿洲から運ばれたもので汽車や自動車を全然見た事がないと見えて飛び上る様に驚いて駈け出しまして車輛を轉覆するもの壕へはまり込むもの○装具を滅茶にするもの等ありまして特務兵氏は自動車や汽車が来ると○を馭すのに死にもの狂ひでした。保定近くの行軍では支那兵や馬の倒れたものが路上に點々として其の悪臭は甚しいもので又同地は砂塵厚く寸刻の行軍で誰の顔やら判らぬ位に眞黒くなつたものでした。最初保定まで来た當時には飯盒炊爨も下手で支那の土地にもなれない井戸水の様子も判らないので泥水で随分と出來の悪い飯を炊いて食べたのでした。宿營地も敵情を顧慮しますと大部隊の事と思ふようになく殆んど甘薯畑に天幕一枚で寝たものでした。

當時第一線は前進／＼で吾々部隊が辛苦の難行軍を重ねて目的地に到着する頃には給與する部隊は居らず寸刻の憩ふ豫猶もなく行軍を続けなければなりません様な状況でありました。こんな時特務兵さんの氣持は悲惨なもので馬の手綱に引きずられて大きな靴傷の出來た足をズル様にして行軍する様は見るに忍びず班長が下馬して其の馬に乗せると云ふ陣中美談も數々ありました。渡渉に當つては河中の凹地に陥り馬も車輛も潜らしてしまつて寒いのに裸體で引上げをなした事もあります。最もつらいのは馬に病氣される車でありまして痲痺等で轉倒する馬でも死ぬまでは行軍を共にしますのでこんな場合部隊より數時間も後から日暮の途を行軍する事になります。が附近に死屍累々たる場合等出會ひますと餘り氣持のよいものではありません。こんな目に會ひますと馬を大切にする様になりました。自分より先に水を飲ませる様になりました。兵站の任務は申すまでもなく糧秣彈藥の完全なる輸送にありますが、時に○○○を○○○いたしました。

戰闘を行ふ場合もあります。十二月九日順徳に駐軍して南和平郷間の糧秣輸送中東三召と云ふ處で晝食中第三十二軍の敗殘兵に襲撃され直ちに○○○を○○○し交戦二時間之を撃退し敵に與へた損害は遺棄死體二三、捕虜一七、輕機一、小銃二三、小銃彈五〇〇發、青龍刀五、馬五頭の鹵獲でありました。

部隊の猛者は家傳の寶刀の切れ味を又自慢の腕試しをするの機會の與えられたのを喜んだものでした。最後に上海戦におきましては各勇士が花々しく活躍いたしました。武勳を立てられておりますに拘らず吾々部隊は其の性能を異にするとは申せ慙愧に耐へざるものがあります。ざり乍ら將來其の本分を守り奉公の誠をいたし銃後の皆様の御鴻恩の萬分の一にも酬いたい覺悟であります。

昭和十三年二月十五日

北支派遣○○部隊

福 井 久 雄

警務課長

神 谷 秀 夫 殿

蒔山兼雄 (大仁警察署巡查)

謹啓 時下初冬の候署長殿には益々御清榮奉賀候 陳者小生其後御無沙汰のみ仕り何共申譯無之平に御容赦被下度候 御蔭様にて其後至極順調にて體重も十六貫七百と相成退院も左程遠からずと存じ候 尙小生本月二十一日濱松陸軍病院より表記の處へ轉送され引續き加療中に有之候 毎日御懇切なる御取扱を受け

聖恩に感泣致し居り候 思ひを遠く戦地の友の上に又署員の皆々様の上にはせ居候 一等症とは申せ疾病にておはづかし署員各位にも御挨拶を遠慮致し居り候次第に有之何卒御許し下され度候 次に留守中は格別の御世話様に相成り居り誠に難有厚く御禮申上候 今後共宜敷御指導御鞭撻願上候 先は不取敢御無沙汰の御詫旁々御挨拶申上度如斯御座候 敬具

昭和十三年十一月二十六日

名古屋陸軍病院

蒔 山 兼 雄

大仁警察署長殿

岩崎次郎 (大仁警察署巡查)

謹啓 朝夕大變冷氣を感じる様に相成りました、署長殿を始め署員皆々様には益々御健勝の御事と存じます。私は相變らず元氣で軍務に精勵致して居ります故何卒御安心下さい。本日は過分なる御慰問品澤山に御送付下さいまして厚く御禮申上ります。もう當地はすっかり秋に成りました四圍の丘も草枯れて羊や牛の牧畜者が遠くの果てに移り行きます。ロシアとの國境も近頃大部平穩で御座います。乗馬したり土煙を立て、走る自動車等良く見へます。ロシアのトーチカの周圍も草枯れて一際近頃良く見へます。天氣の良いい日等は向ふで煙草を吸ふ煙まで見へます。先は御慰問品を戴きまして厚く御禮申上ります。北滿の地より遙かに皆々様の御健康を御祈申し上げます。謹白

昭和十三年十月一日

滿洲木越部隊

岩 崎 次 郎

大仁警察署長殿

外署員各位殿

山本良衛 (伊東警察署巡查)

謹啓 新春をお迎致し部長殿始め皆々様御健康の由御嬉申上ります。寒氣日に増折り毎日御精務の程お察申上ります。又本日は私の處御慰問下され私の身にあまる光榮と唯々感涙に堪へません。上海の戦闘に又南京の戦闘に参加致し無事生存皆々様の御厚志深事とお禮申上ります。目下〇〇と言ふ處に警備第二の戦闘準備中であり、第二の戦闘にはもつと奮闘努力身命を賭し國家のため御奉公申上る考です。何分今後共宜しく御指導の程お願申上ります。先は御禮旁々警察部長殿始め縣下警察官の御健康をお祈申上ります。

中支派遣軍淺田部隊

山 本 良 衛

静岡縣警察部長殿

稻葉願雉（伊東警察署巡查）

拜呈 随分永らく御無沙汰致しました御許し願ひます。御家内様御健勝の御事と遠察致します。小生も御蔭様にて毎日面白く働いて居ります。三州山系の大討伐戦も無事終了し〇〇附近の小討伐や警備にと多忙の日を過して居ります。大討伐戦の詳報を致し度いのですが軍機上出来ませんので凱旋の際に申し上げたいと思ひます。尙鳥田署に勤務して居りました白井君も當〇隊の一員として實に勇敢に戦はれ我等同僚警察官として大いに意を強うするものであります。それから御願であります。御佛前にと思ひますが誰れやら又住所等も不明故御貴殿より分與して戴き度いのです。臨時賞與として頂きましたが他縣にも少し知り合があつたりしたので其の方にも送りしたので甚だ軽少ですが御手数でも御願ひ致します。金は手紙より少し日が続れる事と思ひますが、御承知下さい。事務多忙の事と思ひますが各警察官も贈る事と思はれますので其の時でも結構ですから御願申上げます。では亂筆で失禮致します。草々不一

中支派遣軍田上部隊

稻葉願雉

土屋範吾殿

田村喜三（熱海警察署巡查）

謹啓 暑氣厳しき折柄署長殿始め署員御一同様には如何御暮しなされて居りますか、降つて私も出征以來の元氣にて張切つて居りますから乍他事御休心下さい。私共家族に付きましても皆々様より慰問並に激励の御言葉を賜り且つ行届きたる御世話に與り誠に有難く遠く戦線より厚く御禮申上げます。

徐州攻撃以來御無音に打過ぎて居りまして申譯なく其の後の状況を御知らせ致します。悪筆ながら何卒御判讀願います。徐州攻撃を終了した我が部隊は途中の残敵を掃蕩しつゝ、〇月〇日渠陽に到着致しました。此處にて隊伍を整へ同月十二日再び新しき任務を帯びて出發金壇に至り機關銃〇〇小隊歩兵砲〇門と我〇〇部隊と合し水路クレークを船に分乗し夜陰に乗じて敵の虚を突くべく前進致しました。十四日丹陽に至り拂曉を期し共産匪二、三〇〇人と遭遇交戦致しました。チエツコ銃の音砲聲、重機關銃、硝煙に埋れて行く中を日章旗はぐんぐんと押して行きました。正午敵は總退却戦利品並に敵數名を捕へ次の行軍に移り翌朝は次の重要地點を攻撃し、戦果を収めつつ前進敵は早くも姿を消しました。今迄惡戦苦闘を繼續して来た我々には物足りなさの感じがしました。十九日〇〇に到着致しました。當分此處にて守備をするのではないかと思はれました。〇〇は舊前に復し交通機關其の他發達し戦争を知らぬ如く各城門には友軍の歩哨が嚴然として通行人を看視して居ります。在京支那軍の顔には憂色去り日本軍の規律の嚴肅なると親切なるに感激しつゝ生業に復して居ります。今迄蔣政権の爲に總下の方面より壓迫された支那人が正義觀念の旺盛なる日本人に心服するは當然の事と思ひます。最後に同文異義の言葉を参考迄に紹介致し笑つて戴きたいと存じます。日本人は一口目に東洋平和と申します。而し之も支那に來ては一寸おへなくてはなりません。

せん(支那にて東洋(トンヤン)とは亞細亞の音意味に非らずして日本の事になります。日本人自身が日本人平和の爲には一寸變です。ね次は同じ發音の爲失敗した實例です。

四〇
○〇方面の戦闘を終へて駐屯した當時分隊で何か御馳走を作る相談が始まり戰場では何も料理が出来ないせめて酒でも欲しいと言ひ出しました。そこで私と他の一人の友達と二人で集めに掛つた丁度苦力が一人通つたので「保的酒有」(酒があるか)と聞くと考へて居りましたが「少々有」(すこしある)と言ふ「我的要速々の命來」(私が必要だ早く持つて來い)と命じると走つて行きました。私共は安心して甘い老酒でも持つて來るものと待つてゐるとしばらくして豚の頭を提げて走つて來ました不思議で仕方がない。豚の頭を貰つても料理に困るので捨て分隊に歸り皆に話すと腹を抱へて大笑ひ結局「酒(チュー)と猪(チュー)豚の事」の間違ひと言ふ事が解りました。私共は在支約一ヶ年苦闘も致しましたが右の様なユーモアをも味ひつゝ過して來ました。何時迄続くか蔣介石の長期抗戦も斷末魔の叫ではないかと考へられます。私共は帝國軍人として且警察官として努力奮闘致し銃後の皆様の御期待の萬分の一にも報ゆる決心であります。何卒御指導御鞭撻の程御願ひ致します。先は署中見舞旁々近況報導まで

中支派遣軍石井部隊

田 村 喜 三

熱海警察署

袴 田 署 長 殿

鈴木小一郎 (熱海警察署巡查)

謹啓 晩秋も愈々深く相成り木枯の上を鳥の群が飛びて北支にも灰色の冬將に來りぬ。其の後御無沙汰致しましたが署長殿始め署員御一同様には益々御健勝にて銃後治安を双肩に擔れて益々繁忙複雑化する昨今の時局に處して不眠不休文字通献身の御努力にて聖職に御精勵被下る御事と遠き北支より御推察申上ます。小生事銃後の皆々様の御蔭を以て〇〇の最上流〇〇線下にて軍務に精勵致して居りますれば他事ながら御放念下さい。内地よりの便りに依りますれば今度熱海署にて出征皇軍勇士の武運長久祈願の爲め伊勢大廟參拜を毎月署員交代にて行はる事を企てられ第一回目には署長殿事務御繁忙中を態々他の方々と御參拜下されし御由承り只々感謝の外ありません。

今我々の居ります所は海拔千七百米位の一帶の高原地にて昨今の氣温は零下十三度内外で日増しに氷は厚くなつて行きますが、晝中は小春日和の様な時でありまして其の割合に良いのです。雨が少い事は我々が上陸以來四日位しか降雨は無之毎日快晴で爲に空氣が乾燥して居り道路はさながら灰の上でも歩く様であります。我々の居ります所も段々と治安が確保されつゝあり民衆は日本軍に對して感謝を以つて迎へる様になりました。小供達が小學校で覺へし日本語で兵隊になつて來るのも頼のもしきものであります。八紘一宇の聖なる大理想建設は着々と其の歩を進め黄塵吹き荒ぶ中に 御稜威の揚宣せるをまぎ／＼と見る時幾多先輩勇士の重くも偉大なりし英魂に對し無量の感に打たれます。

日を追つて寒さ厳しく相成り又事務も年末に向ひ一段と御多忙と相成ります時篤と御自愛被下様御願申上ます。署員の方にも宜敷御傳言願します。亂筆乍今日は此れにて失禮致します。 敬具

十一月十八日

北支派遣軍長尾部隊

四二

熱海警察署長殿

鈴木小一郎

田口勅治 (熱海警察署巡查)

謹啓 秋冷の砌り部長殿に於かせられましては愈々元氣にて銃後治安維持の第一線に御繁忙の事と御察し申上げます。戦局の長びくに連れ経済統制の實施と共に直接警察の任務の倍加を來たし私共第一線に居る者以上に日夜御忙殺の事と存じます。新聞で伺ひます物々しい對空、燈火管制實施の情況等寫眞入りの部長殿始め各官の皆様之姿に接する時一入力強き物を感じますと共に切に部長殿の益々御健昌であられん事を陰ながら御祈り致して居ります。私出征以來一ヶ年餘留守宅は何かと皆様の御後援の御蔭にて心残りなく元氣にて御奉公させて頂いて居ります。私共の部隊には三島の八木警部補、部長殿の車の運轉手であつた柿島君等皆元氣愈々旺盛にて静岡縣警察界の名譽を轟かさんと日夜健闘致して居ります。私の中隊も過日の戦闘に於て中隊長を失ひ新に〇〇の桑原善吉殿を隊長に迎へ唯今は山西五台方面の戦闘に参加致して居ります。北支山西には早くも降霜あり大陸特有の寒さが訪れて參りました。部長殿始め縣下一千二百名の皆々様の御健闘を煙波遠く御祈り致して居ります。

十月二十日

北支派遣小西部隊

敬具

静岡縣警察部長殿

田口勅治

土屋 茂 (熱海警察署巡查)

謹啓 初冬の候と相成候 課長殿始め職員各位には御壯健にて銃後の護りに御精勵の事と存じ候 過日は御鞭撻の御便り有難く拜見仕り候 春夏秋冬光陰は矢の如く流れ再び戦場に冬を迎へる事り相成候 昨年冬は大黄河を渡河致し濟南入城にて欣喜雀躍いたし候ひしに本年の冬は南支の首都城に日章旗を飄し銃後の皆様と共に喜び候 同じ入城の喜びには候へ共北支の果てより南支の果まで進撃せしには吾自身驚き入り候 小生出征以來戦闘一年餘に涉り戦跡數百里に及びし間何等の事故もなく過せしは一重に課長殿始め職員諸賢の御祈願の賜と深謝致し居り候

南支派遣軍に編成と相成り南へ〜と船舶輸送を致される折など一同緊張いたし其様たるや筆舌には盡す事の出來ざる次第に有之候 〇〇灣に上陸せんとせし折など〇〇〇の〇〇船集結致し全く海軍力の威大さを眼前に眺め吾々陸上部隊は勇氣百倍致し候 上陸後は猛進撃を敢行いたし僅か旬日にして〇〇城に入城の喜びを得たる次第に御座候 餘りにも急進撃なりし爲敵軍の周章狼狽する事殊の外にて装甲車運送用自動車の放棄しあるもの數知れず死體等は各所に五人十人と横たはり此の世の地獄を現出いたし居り候 入城後は附近警備の任に當り居り候 現今にては難民の歸還いたす者數多く此の分にては近日中には〇

四三

○市も回復致される事と存じ一同努力いたし居る次第に御座候 漢口も廣東も皇軍のため攻略致されしとは云へ帝國の使命達成にはまだまだ前途洋々たりと存じ候へば小生あくまで帝國の使命達成のために活躍いたす覺悟に御座候 何卒今後共御鞭撻下さいませ様一重に御願申上候 先は亂筆にて御禮旁々近況まで申上候

十一月二十九日

警察部警務課長殿

南支派遣軍木下部隊
土屋

敬具
茂

四四

谷 武雄 (熱海警察署巡查)

謹啓 亂筆にて御許し被下度候 倅小官出發に際しまして態々御見送り下され且又激動の御言葉迄頂戴致感謝感激に堪へず只唯一死報國を胸に誓つて出發○月二十九日より戰闘に参加激烈なりし蘇洲河戰闘には多數忠勇なる部下を失ひ其復讐も未だ七日夜の進撃に武運拙なく左足下部關節を貫通され再起を期待し居り候處骨折と化膿に内地還送の餘儀なきに至り過日は○○陸軍病院に入り候も小なりとは云へ人の命を預る指揮官として其復仇も半に而も渡支後僅かに一ヶ月足らず内地に還送さるゝの胸中○○驛頭歡送裡の出征を想起して無念と面目なきに切齒扼腕致し居る次第に候

此の上は一日も速かに全快再び第一線に御期待に添ふべき膺懲戦に活躍出來得る日を期待し居候 先は

戰傷御報告迄如斯御座候

十二月八日

静岡縣警察部長殿

○○陸軍病院
谷

敬具
武雄

龍光堅一 (熱海警察署巡查)

拜啓 彌々御清榮の段奉賀候 陳者小生儀今回出發に際しては御懇篤なる御厚情を蒙り難有御禮申上候 御蔭様にて海陸無恙本日任地に安着母國遠く戎衣は軽くとも任務は重く多端の折柄自然不本意乍らも疎遠を御許し被下度尙時節柄随分御自愛の程祈上候 留守宅は萬事宜敷御願申上候 先は取敢へず以寸楮御禮旁々安着の御報迄如斯御座候

十二月二十九日

熱海警察署長殿

北支派遣高橋部隊
龍光

敬具
堅二

四五

佐野 清 (御殿場警察署巡查)

拜啓 時下陽春の候となりました。一別以來八ヶ月となり月日の立つは全く早いものです。北支も大分春めいて先づ戦のシーズンとでも云ふのでしよう。私共其後思ひ乍ら遂に御無沙汰となり何共申譯け様御座いません。何かに付け出征後は御世話様になります。銃後の御親切並に御繁忙を遠察致し日夜感謝して居ります。次に私等部隊は二月より〇〇地方にて〇〇作戦参加のため常に第一線にて働いて居ります。でも幸ひ大したる犠牲もなく只々御國に捧げた體故一意奉公の念に燃えて居る次第です。岳南健兒として本縣警察界名譽のため堂々と大いにガンバリませう。最近支那語も大變と上手になり何事にも便利になりました。右御挨拶のみ課員の皆様にも宜敷御願します。

三月二十九日

北支派遣軍高橋〇部隊

静岡縣警務課長殿

佐野 清

鈴木菊太郎 (御殿場警察署巡查)

謹啓 嚴寒の砌り益々御清穆の段奉大賀候 非常時局に際し銃後の御指導に國民精神總動員運動等事務御多端の御事と拜察邦家の爲感謝に堪へず候 降つて不肖儀出征以來神様の御加護と銃後皆様の熱誠なる御

後援とにより皇軍の一員として益々頑健に今日を迎へ得候を日夜感謝致し軍務に精勵在罷候間憚乍ら御放念下され度候 〇月〇〇日吳淞鎮上陸以來は通信機關の不備の爲意外の御無禮仕り候へ共最近愚妻よりの通信にて家族に對し殊の外御配意相煩し御慰問下され且又銃後の護りに對し種々御指導なされ候趣承知仕り恐縮の至りに存じ、たとへ軍の命とは言へ後方勤務と餘りお國のお役にも立ち得ざるを心苦しく存じ候上陸以來行軍に行軍を續け太湖の南側を北進主都南京の陥落も途中にて聞き及び一同の意氣正に天に冲するばかりに有之候 十二月十一日〇〇の大隊本部より離れて我が増田〇隊は安徽省廣徳に向ひ同十三日到着愈警備の任に着し候 此處は十一月末陥落したる處にして町の周圍は城壁にて圍まれ警備には好都合の地形に有之候 不肖等の任務は城内を警備して兵站部の警備と通過諸部隊の安全を期する事に有之幸事なきを得候 十二月十九日更に北方十三里の建平に我が土屋〇〇は〇〇隊獨立勤務に服す事と相成候同地も廣徳と同様城壁に圍まれ候も町は半分程にて候 附近には敵敗殘兵も多く毎日自動車、輜重隊を襲撃致し候も事故なきを得十二月二十五日兵站部と共に〇〇の本部なる廣徳に引揚げ申候 戦捷の新年は此處に於て迎へる事と相成り南京米にて印ばかり餅をつき露酒を御屠蘇に罐詰の御馳走に舌鼓をならしつゝも銃とりて警備勤務に服しつゝ心より昭和十四年を壽ぎ遙かに神宮皇居を遙拜し武運長久を祈り申候 かすかに聞ゆる喇叭の音にしばし感激致し候

南京方面の戦闘も一段落と相成候爲愈〇〇の内命有之候處一月十日午後四時小癩にも敵飛行機八機の襲撃を受け廣徳飛行場警備中の隣第〇分隊は爆彈の爲〇〇〇〇〇井上上等兵名譽の戦死を遂げられたるは残念にて候 翌十二日兵站部と共に自動車、河舟、汽車等に依り當〇〇に至り以來當〇〇の警備に従事仕り候

今や江南の天地は徹底的膺懲も一段落をつけ長期抗日の迷夢を破らしむべき軍の指導適切にして治安は日毎に維持せられ如何なる寒村に至るも治安維持會分會設置されざるはなく無智の部民は多數歸郷して嬉々として生活に向ひ皇軍に信頼してどしどし營業を始め居り候。新部隊の〇〇等も傳へられ初年兵の教育もなりたるとか或は我部隊も〇〇するに非らざるや思料致され候。

近日中に我〇〇隊も移動の内命有之ば〇〇の一員として不肖等の活動致す日も亦遠からずと存じ候。先は亂筆を以て行動略圖相添へ近況御報告申上度勤務中亂書、禮を失したる點は平に御用赦下され度候。

敬具

二仲 當地の氣候は静岡市と大差無之勤務上苦痛は少しも無之此頃の晝は内地の三月下旬頃にて候。三月に入れば變化はげしく悪疫も流行するとか申され候。

中支派遣軍上村部隊

鈴木 菊太郎

静岡縣警察部長殿

水島辰美 (御殿場警察署巡查)

謹啓 時下嚴寒の候益々御繁忙なる聖職に御精進の由御嬉びに堪へません。本日〇隊に於ける慰靈祭に際して三縣聯合慰問團の御慰問を受け其際警察部長殿より御見舞の辭を戴き感謝感激に堪へず殊に家内の健

康なる寫真に依り故郷に於て父母、弟妹に會ひたる嬉びにひたりまして厚く御禮申上ります。顧みれば故郷を去つて既に〇ヶ月江南の野に暴支膺懲の劍を執つて轉戦致して來ましたが御蔭様で益々元氣旺盛にて只今〇〇市の警備に當つて居ります。出征以來御殿場署長殿始め各署員より激勵の言葉を頂き只今は又部長殿より御見舞の光榮に浴し只々感涙に咽ぶのみです。銃後に於ける御繁激な治安維持時に御奮闘の程只感謝の外は有りません。本職儀一層粉骨碎身君國の爲誓つて静岡縣警察官の名に恥ぢざる様奮勵努力致す覺悟に御座います故何卒御放念遊ばざる様御願申上げます。

益々重大時局の折柄部長殿始め縣下警察官吏諸賢の御健闘を遙かに御祈り申上げます。 不備

一月二十六日

中支派遣軍石井部隊

水島 辰美

静岡縣警察部長殿

八木長一 (三島警察署警部補)

拜啓 部長殿には今回當静岡縣に御轉任の由同僚を通じ本日遅れ乍ら承知致しました。小生三島警察署兼警察部特高課に籍を有する八木警部補であります。既に御承知の事とは存じますが小生昨年〇月召集を受け肩書部隊に編入せられ目下北支〇〇に於て軍務に従つて居るものであります。今後何かとよろしく御指導御教導の程伏して御願ひ致します。實は召集以來滿一ヶ年餘に亘り職務を離れ居るに拘らず引續き現職

としての待遇を受け或は何かと警察部よりは御支援と御芳情に接し洵に難有感謝感激致して居ります。御蔭を以て出征以來頗る元氣にて聖戦に参加活動致して居りますが、聖戦の前途は尙遠遠且復難多難と現地にも思考致されますが此の秋に當り小生益々自重自愛奮闘皇國警察官として恥じざる行動を致すべく堅き決意を有して居ります故其點御安心の程御願致します。末筆乍ら遙かに部長殿の御健康と前途を祝福し御挨拶申上る次第であります。

昭和十三年九月十二日

北支派遣小西部隊

拜具

静岡縣警察部長殿

陸軍輜重兵軍曹

八

木

長

一

川村謙治 (三島警察署巡查)

謹啓 御多忙中にも不拘度々御便り被下御厚志唯々感謝と感激の外ありません。其後貴下には益々御健勝の御趣き非常時邦家の爲欣慶に堪へません。茲に心から御喜び申上ります。御便りに接し御蔭様で内地の警察陣の現況等其他を詳細に知得仕りました。銃後の護りは益々鐵の如く固く警察本來の任務たる治安維持が益々確固不動の態勢にし水も漏さぬ警戒陣を布かれ銃を執らない戦線に等しい緊張を持続せられて是が治安確保に萬全を期しつゝある御模様其御苦勞等に對し唯々感謝の外御座いません。

貴下御着任以來右の如く警察陣一入強化せられての好響に因り警察上の大事故發生なき御趣き實に喜び

に堪へません。次に私事御蔭様にて相變らず達者で働いて居りますれば他事乍ら御放念下され度其後吾部隊は○月二十六日徐州を退去津浦線鐵道を汽車輸送され御承知の南京の對岸浦口に集結せられ爾來滞在中の處漢口攻略戰參加の爲め○月二十九日此處から○○にて○○を上り○月二日○○に無事上陸致し目下爾後の戦闘準備中でありませぬ。未だ判然致しませんが○月○日前後○○を去り漢口に向ひ前進の模様であります。

○は相當の所ですが支那人は録々住居して居りませぬ。周圍に城壁があり城内は仲々廣い所です今後は追撃前進の強行軍續く爲御無沙汰致すかも知れませぬ豫め御了承願ひまして通信なしとも御心配はなさらない様御願申します。立秋と申せ殘暑難去き折柄御自愛の上銃後の邦家の爲め御健闘を御祈り申上げて筆を止めます。

九月五日

中支派遣富田部隊

拜具

静岡縣三島警察署長殿

川村

謙

治

影島榮作 (三島警察署巡查)

拜復 五月八日發信の御書而六月廿四日有難く拜見致しました。其の後心にもなき御無沙汰を致しましたが署長殿を初め署員一同様には益々御勇健にて銃後の守の爲に御奮闘の御様子寔に感激の至りに存じます

特に小生留守宅に付いては公私共種々御厄介に相成り居る趣感激の外はありません。

五二

新聞紙上にて御承知の如く當地方は五月初旬より内地の土用の如く暑く、六月中旬は内地の梅雨の様にては見る事無き状態でありました。過般秣陵關の警備を引き揚げ（四月二十五日）津浦線浦口浦鎮附近に至り旬日の後宿縣方面の敵を攻撃續いて徐州より退却の敵と遭遇すべく北上し蔡里集附近に於て上陸以來曾て無き遭遇戰又は山中凹地に敵を包圍しての包圍戰等種々上海附近の戰鬪とは全く變つた色々の戰鬪を致しました。羅家集に於ては頭を没する様なクリークを二ツ、而かも敵前三十米位を渡り敵の掩蓋重機關銃座等に突撃もいたしました。又宿縣城の高さ三十尺もある城壁に假梯子と綱にて乗り越えて侵入もしましたが幸に擦り疵一つ受けずに今日尙元氣旺盛です。之も皆様の御熱誠と神佛の御加護の賜と感謝致して居ります。其の後六月の初旬より壽縣方面の敵に向ひ六月二十四日淮南鐵道附近に於て御芳書に接しましたか、發信不可能の爲、御無沙汰を致しました。漸く一段落して今月の三日〇〇に歸りました。丁度二ヶ月振りにて吾が家に歸つた様な心地です。四日には田上部隊陣歿諸將士の慰靈祭を舉行し在りし日の戰友の面影を偲び涙を新に致し感慨無量でありました。二三日中には又某方面に出掛けます。近日中に〇〇兵の一部は〇〇する事になりました。當署の矢崎、村松兩巡査は〇〇組です。小生は任官した爲に〇〇出来ませんが〇〇〇〇も居りますれば〇〇も出来る事と存じます。

帝國危急存亡の時、生ある限り及ばずながらも君國の爲に盡し度いと覺悟して居ります。只今日まで皆様の御期待に添ふ様な働きの出来得なかつた事を恥じて居ります。詳細は何れ矢崎、村松兩君から御聽き下さる事と存じますから今後變つたニュースが有りますれば御知らせ申します。是非共將來よろしく御依

頼申上げます。署員一同様によろしく御傳聲の程御願申します。

敬具

七月五日

中支派遣田上部隊

影 島 榮 作

三島警察署長

疋田 惣藏 殿

村松猪太郎（三島警察署巡査）

拜啓 時下酷寒の折柄日頃御壯健なる警察部長殿には愈々御健勝にて日支事變も我が國の大勝と期したる光輝ある昭和十四年の新春を御迎への由大慶至極に奉存候 不宵私事出征以來實に心にも無之御無音仕り平に御許被下度候 本日は縣より當部隊慰問使をして不宵家族の寫眞を態々撮影の上御届被下誠に有り難く母國を離れたる異國の野戦に在りて父母妻子に會ひたる感致し非常に嬉しく存じ候 小生事昨年〇〇月〇〇日上陸行軍第一步を吳淞に入れたるに家屋は我が砲撃により全壊され戰場としての氣分を濃厚ならしめ同時に精神的にも非常に緊張味を増し申候

敵も相當頑強に反抗したるも攻撃精神の旺盛なる皇軍に對しては唯々後退の外なきものと認められ候我々は野戦出動命令の遅かりし爲め未だ第一線に出で戦ひ皆様の御期待に添ふ働きの出来ざりしを非常に残念に存じ居り候 然し上陸以來彼の重い軍裝にて退却したる敵の後を追撃行軍露營を續け〇〇月九日〇

五三

○にて田上部隊(本隊)に合し○○隊に配屬され南京攻略に参加同所陥落後は現在地○○に駐屯無事警備の任に就き居り候間乍他事御安意被下度候 當所は人口二十萬を有する町にて人家は殆んど壊され戦當時逃走し居たる支那人も現在は續々歸宅し壊された自家を望み啞然とし居るもの早きものは商賣を初め居るもの有之非常に賑かに御座候 我々の屯營の場所は城外の女學校にて電燈線も切斷され居り燈火もなく非常に不自由に候も行軍當時の事を思へば何事も申されず候 昨今寒氣も加はり零下二十度になる事は普通に御座候 先は亂筆にて御禮迄申述候 末筆乍部長殿の御健康を祈り課員各位に宜敷御傳への程御願申上候

一月二十七日

中支派遣軍田上部隊

敬具

静岡縣警察部長殿

村 松 猪 太 郎

大 桑 貢 (三島警察署巡查)

謹啓 時下深冷真に難凌候 課長殿には益々御清勝にて日頃複雑化する警察事務に亦銃後活動に晝夜の別なく御活躍の趣き衷心感謝致して居ります。次に課長殿並に情報課長と御連名の御手紙本日(十二月七日)○○に於て正に落手拜見致しました。真に難有厚く御禮申上ます。降而小官等は○月二十日○○攻略の爲○○軍に屬し首都○○を出發以來○○山脈を西に轉戦亦轉戦大小十二回の面白い追撃戦闘に参加致しまし

て目下○○を離れること三十五里○○鐵道より四里西方地點に於て○○任務に服して居りますが此間終始一貫益々達者で縣下一千三百名警察官吏の代表として日頃課長殿始め上司の御教訓に反かざる様強く正しく頑張り続けましたから他事乍ら御安心下さいませ。

河北方面に於ける最近の氣候は内地の氣候と餘り大差なく全く凌ぎ良く各種戦闘も其他の活動も極めて容易にして何等の苦痛も御座いません。然し乍ら河北地方は悪性マラリア病の多い事には全く閉口致します。小官等の○隊等に於ても○○が次ぎ／＼に患つて一時は戦闘力に迄○○する情況でありましたが最近の深冷期に入りめつきり其數を減じましたからもう大丈夫で一同追々元氣づきつゝあります。現在地點は勿論最前線地帯でありますが目下の處事實上休戦状態であります處が各所に二百三百の敗殘兵がちよい／＼ぱち／＼やりますので矢張り油斷も隙も御座いません。

戦況其他の狀況に關しては詳細報告申上度きも例の制限で意の如く書けませんが悪しからず御容赦被下さいませ。愈々本年も後二旬に迫り第一線の吾々の勤務と異り内地の年末は特別警察行事の繁忙期で御座いますし一方嚴寒期に向ひますから課長殿には益々自重自愛せられまして邦家のため御健闘あらん事を御祈申上げます。先は甚だ亂筆にて失禮乍ら御禮旁々近況御報告まで

十二月七日

中支派遣軍石井(ホ)部隊

草々敬具

大 桑 貢

警務課長殿
情報課長殿

矢崎 秀吉 (三島警察署巡查)

拜啓 朝夕寒氣身に沁み初めし今日此頃署長殿始め署員各位には如何に御座候哉御伺ひ申上候 愚生事相變らず無事軍務に勵み居り候間乍他事御休心被下度候 内地に於ては兵事々務に警察事務に又舉國一致の國民運動の指導にとあらゆる部門に亘り御多忙の御事と遠察致し候 次に愚生が目下の状況を御報告申上候 愚生等は去る二十日今までの根據地を現在の處に移し居りし當〇隊戦線が非常に進展致し舊地にては〇〇の補充意の如くならず爲に約三〇〇〇米位前進したものに候 然かるに戦線は益々有利に展開致し此の二三日前より思はぬ進展振りにて就中二十二、三兩日の戦闘の如きは我正面の敵は殆んど潰滅し敵聯隊長以下戦死又は捕虜となり全部の捕虜は三〇〇餘名に上りし状況に有之候 此一兩日の間には待望る〇〇鎮の總攻撃に移るものと思推致されしも惜しくも昨日午後一時を以て〇隊は聯隊の豫備隊となり申し〇〇鎮の攻撃には第一線に参加致し兼ねるものと思料され實に残念に御座候 〇〇隊に在る小生等に取りては〇〇補充として第一線に出て戦闘状況を觀戦し聊か溜飲を下げ居る状況に候へば部隊が第一線を斥くは何より心細き感有之候 何れ又状況御報告申上候

十月二十四日

中支派遣軍田上部隊

矢崎 秀吉

草々

静岡縣三島警察署長殿

外署員御一同様

安藤 明 (三島警察署巡查)

拜復 本日は御鄭重なる慰問の御書面竝不肖家族の寫眞を御送付に預り難有拜見致しました。小生應召に付きましては何かと御配慮を賜り猶且先般は歳末御多忙にも拘らず態々家族の慰問をなし下さいまして銃後の熱誠なる御心盡しに只々感激の外なく厚く御禮申上げます。御蔭をもちまして上陸以來風一つ引かず暴支膺懲の意氣衝天であります。目下〇〇〇〇前に滞在中であります。當所は後方戦線でありまして期待外れに切齒扼腕残念であります。これも軍の作戦上已むを得ず只管時機の到来を待ち使命達成の爲め邁進致して居ります。他事乍ら御放念の程お願ひ申上げます。戦地は天候不順であります。寒さは只今の處大したこともなく寧ろ静岡より暖いかも知れません。御心配下さる程ではありません。昨年〇月〇〇公爵警衛出張の節長尾峠に於て部長殿に始めて御拜顔の榮を恭ふし當時を想ひ浮べ恐縮千萬であります。想へば去る〇月〇〇日歡呼の聲に送られ〇〇を出發途中〇〇驛頭に於て部長殿の御歡送を受け勇躍征途に就きましてより滿三ヶ月其間連戦連勝今や皇軍の嚮ふ所草木も靡く有様であります。これは偏に 御稜威の然らしむる處と銃後の絶大なる御後援治安確保の賜と深く感銘致す次第であります。事變も長期に亘る模様であります。日頃鍛鍊せる警察精神に等しき軍人精神を以て盡忠報國部長殿始め警察界各位の御期待に添ひ奉る様努力致す覺悟であります。末筆乍警察部の方々に宜敷く御鶴聲の程願ひ申上げます。嚴寒の折柄遙かに故國の皆様のお健康をお祈り申上げます。

昭和十三年一月二十一日

上海派遣木崎部隊

安藤 明

敬具

小澤福次 (三島警察署巡查)

謹啓 嚴寒の砌部長殿には益々御健勝の事慶賀に堪へません。陳者小生出發以來一度の腹痛風邪も無之元氣旺盛故他事乍ら御休心下さい。警察官欠員に欠員を重ねて居ります折今度の事變にて多數出征せられ部長殿には日常の業務に其他の事務に忙殺せられて居ります折にも不拘今度は小生のため絶大なる御盡力下されまして日常には家庭慰問に武運長久御祈願に身に餘る銃後の護りを堅く下されまして戦場に有ります小生は部長殿の御後援下さいます萬分の一にも達すべき覺悟に御座います。○月六日吳淞に上陸致しまして三ヶ月餘の彈丸雨霰の如き戦場は皇軍の手に歸して日章旗輝く首都南京城入城式にも参加致しまして現在では○に駐屯勤務に服して居ります。當地には母國出發以來見た事のない電燈は御座いまして、今迄塹壕に又暗夜の露營の事を想ひますと電燈の有難さが思はれます。○は揚子江岸で御座いまして、常に軍艦汽船は横付で陸には○○○間の汽車が軍需品の輸送に努めて居ります。此度○○○管下の慰問使と致しまして縣より學務部長殿、尾崎市長、市會議長の稻森誠次諸氏が當隊に一月二十一日慰問下されました。寒氣身を切る戦場にまでも御慰問下さいます銃後の方の眞心を想ひますと感慨無量の感に打たれるので御座います。色々と御心配下さいました家族寫眞も慰問使の方より頂戴致しました右御禮旁々御一報まで。

昭和十三年一月二十五日

中支派遣軍片桐部隊

小澤福次

静岡縣警察部長殿

牧野金吾 (沼津警察署巡查部長)

謹んで寸楮呈上仕り候 時下嚴寒の砌貴官益々御清祥非常時下に於ける警察職司の重任を双肩に負はせられ縦横に御活躍遊ばされつゝ有之趣大慶の至りに奉存候 昨夏支那事變勃發以來○○の召集に多數の應召警察官を出し各署共等しく警察力の手薄を來し加ふるに軍事警察に随伴し各種の警察事務繁忙を極め定めて御多用の御事と恐察仕り候 貴官には日夜公務御繁多に亘らせられ寸暇も無之御身にも不拘不肖等の如き一微職に在る者の身邊に迄御心を留めさせられ特に應召警察官の家族に對しては後顧の憂なき様格別の御高配を忝ふし洵に感銘の至りに不堪厚く御禮申上候 尙今回は御鄭重なる御慰問の辭に添へ家族の近影を御送付被下深謝奉り候 只御蔭を以て一意専心君國の爲め奉公の誠を致す機會を得候事を末代迄の光榮と奉存候 陳者不肖儀昨秋○月○○日○○召集下令○月○○日○○市に於て歩兵第○○聯隊に入營同日○○歩兵大隊に編入せられ○○餘り演習並に征途準備に費し○月二十八日愈々國民歡呼の聲に送られ祖國を後に征途に上り申候かくて第一線部隊は杭州灣の北岸に空前絶後の敵前上陸を敢行仕り艦砲の掩護射撃

と空軍の大爆撃と相俟つて我方に有利に展開し遂ひに大舉上陸の端を開き申し候 吾々は終始此の歴史的壯舉を目撃し只々感謝感激あるのみに御座候 脾肉の嘆を啣つ事數日同月十二日後續部隊として金山灣附近に上陸直ちに雨中泥濘の難路を冒して晝夜兼行黃浦江を渡り「松江」に急行同地に在りて投降兵の武装解除、捕虜の看視、護送並に兵站部の守備に十餘日を過し待機中敵の首都南京攻略戦に参加すべく軍の命令を受け行動を起し勇躍前進金山、山楓灣、嘉善、嘉興、平望、南潯鎮等を経て湖州城に到着再び待機の姿勢にて附近に於ける殘敵掃蕩、兵站部の守備に任じ居り候が舊臘二十日突如杭州攻撃の命を受け第一線部隊として聖戦に参加するの光榮を得、銃後に於ける國民の期待に酬ゆるは此の一戦に在りと鐵兜の緒を締め意氣衝天中支を席捲すべく南進中同月二十二日午後四時頃杭州を去る事七、八里長安鎮に入らんとするや同地點を守り堅固なる「トーチカ」陣に依り數千の敵と遭遇し〇〇〇ヶ小隊を有する我〇隊は直ちに銃砲火を浴せ交戦する事二時間餘夜に入るに及んで嚴戒裡に對峙せしが敵は我攻撃に遭ひ早くも戰意を失ひ翌朝迄に潰走仕り候 其れより我軍は殆んど無人の野を行くが如く急追し二十六日には早くも目出度杭州に入城、御稜威の偉太さに感激仕り候 かくて史上有名なる西湖湖畔の湖野鎮に於て越年光輝ある昭和十三年の新春を迎へ陣中にて聊か祝意を表し 聖壽の無窮を祈り奉り且又故國を偲び感慨一入に存じ候 其の中部隊は後方勤務を命ぜられ正月三日早朝杭州の新戰場を後に移動を開始し同月七日任地たる浙江省〇〇縣城に到着仕り候 爾來假兵舎を設け着々冬營準備を整へ〇〇〇隊本來の使命たる殘敵の掃蕩、鐵道守備並に住民の宣撫に従事致し居り候 昨年中は江蘇省浙江の野を東西に馳驅し殆んど席の暖まる處を知らず随つて輻重等の軍需品の輸送は絶無の状態にて孫氏の兵法にある如く糧を敵國に得て過し居り候が最近は〇〇〇〇間の鐵道も開通し軍需品の輸送配給も圓滑となりさしたる不便も感ぜられず尙内地よりの通

六〇

信も漸く繁く相成一同喜び居り候

日常の生活も内地の兵營生活に準じて過し居り候 目下の處危險の虞無之様存せられ候間乍他事御放念被下度候 更に本月十六日以来駐屯せる衛戍地内に酒保も開設せられ、日用品其他も別に不自由無之好都合に御座候 氣候も殆んど内地と變りなく産物等も略同様にて洵に凌ぎ良く感ぜられ候 軍の最高方針も長期策戦に決し今後も相當長期に亘るものと察せられ候が縣下警察官を代表し軍隊の組織に参加せし以上は其行動は特に戒み其の名を辱しめざる様戒慎一路軍務に精勵致す所存に御座候 何卒銃後の件に關しては呉れども宜敷御願申上候 先は御芳志の御禮旁々近況御報告迄如斯御座候 敬白

二伸 乍末筆各課員御一同様にも宜敷御鶴聲賜り度御願申上候

昭和十三年一月二十八日

星野部隊

牧野金吾

静岡縣警察部長殿

佐野重雄 (沼津警察署巡查)

御手紙拜見仕りました。承りますれば御子様には御病氣の由にて目下御入院中との御事誠に御心配に御座ります。一日も早く御全快の様異郷の空より御祈申上げて居ります。時酷暑の折柄一層御看護に御留意

遊ばさるゝ様御願申上げます。扱て承りますれば亦沼津警察署は異動があつたとの事大橋部長が御殿場へ實に良い人を残念です、ね、阿部さんと濱田さんが大仁に異動とかで鈴木(鐵)君が新宿で志下巡查駐在所が空になつて居るとの事隣區の關係で随分御多忙の事と實情を知る小生故御察し申上ります。一日も早く補充が出来れば良いと思ひます。最近各部隊共に〇〇〇〇は〇〇〇〇された様に新聞に報導されて居るので沼津署でも大勢最早御歸りになつた事と存じますので大兄の志下の助動も今頃は終つて居るかに想像して居ります。是非共御都合にて亦〇〇〇〇の状況を御通報被下度御願申上げます。御承知の通り蔣政府も敗戦に次ぐに敗戦で蔣政権の餘命も幾何も無く存じ我々も親しく御目にかゝり御禮申上げ得る機會も刻一刻と差迫つて参る事と存じ樂み乍ら御奉公申して居ります。末筆乍ら貴家皆々様方愈々御健康並に御多幸の様御祈り申します御奥様にも宜敷先は亂筆にて失禮

八月八日

中支派遣軍淺田部隊

佐野重雄

沼津警察署

江ノ浦巡查駐在所 杉浦金太郎様

小田兼藏 (沼津警察署巡查)

謹啓 時下嚴寒之候愈々御健闘之由大賀の至りに存じ候 出征以來意外之御無音に打過ぎ誠に申譯無之平

に御許し被下度候 陳者過日は御鄭重なる御慰問狀に接し且又家族之近影別添下され候御心盡しの程衷心感謝に堪へず厚く御禮申上候 降つて小生儀出征以來御蔭を以て至極元氣にて軍務に服し晴の南京入城に參加出來得候も是偏に部長殿初め在縣警察官御一同様之御後援之賜と感謝致し居り候

扱て日支事變も聖戰第二年の新春を迎へ第二段の戦闘行為完了したるかの模様にも有之候も之れが終局たるや今尙前途遼遠なるものと存ぜられ益々舉國一致以て有終の美を收めんと強き決心を致し居り候條今後共御指導御鞭撻の程御願ひ申上候

時節柄酷寒の折一層御自愛專一に愈々邦家の爲御奮闘の程願上候

先は右粗書亂筆乍ら御禮迄如斯に御座候

一月二十八日

中支派遣軍田上部隊

小田兼藏

静岡縣警察部長殿

鈴木伊之吉 (沼津警察署巡查)

署中御見舞申上ります。

御榮轉の御祝詞も申上げず御無沙汰申上げて心苦しい次第で御座います。徐州攻撃當時御榮轉の報も家内より聞及び早速御祝詞申上ぐべきの處思ひ乍も何分にも忙しいので遂に御無沙汰申上て仕舞ひました

定めし公私共御忙しい内にも御變りも無く過され居る由御悦申上ます。見付署御在職當時より何くれとな
く御支援に預り留守中何かと御配意に接し、先日は御叮嚀なる御慰問品を戴き家内よりの便りに恐縮致し
て居ります。私も入支以來極めて健康に恵まれ幾多戦闘に参加するの光榮を擔ひ〇〇〇隣北方約十里の
地點〇〇に於て次期作戦を待つて居ります。旬日ならずして漢口總攻撃の行動を開始する豫定と存じて居
ります。内地も大變な洪水と聞いて驚いて居ります。沼津署の御活躍も新聞紙に依り承り感激して居りま
す。六月一日付私も軍曹に進級致しました。皆様の御支援の賜と深く感謝致して居ります。末筆乍ら奥様
にもよろしく御傳へ下されば幸ひです。亂筆にて平素御無沙汰御詫旁々兼ねて近況御報知申上ます。時節
柄充分に身體に御氣を付け下さる様御祈り申上ます。

八月一日

中支派遣軍丸山部隊

沼津警察署長殿

鈴木伊之吉

昌徳爾 (沼津警察署巡查)

謹啓時下青葉薫る候と相成りました。署長殿の御榮轉を知る事を漸く得ました。私儀出征中は種々と御高配
を賜つて居ります。署も欠員多きこと、拜察且又戦時體制下の治安其の他は全く不眠不休の御勞苦を遠く
おしのび申す次第です。四月二十四日夕漸く〇〇の東方〇〇城迄參る事が出来まして只今警備駐屯致して

居ります。四月三日を最後とする黄河方面の石樓方面の戦闘に第〇〇〇部隊(〇〇)付として離石、中
陽方面から連枝山脈を越えて赤軍、山西軍と一戦を試み銃後國民總動員のお力に依り幸にしてこれを撃破
石樓城を陥落することを得ました。當時敵は道路橋梁を破壊し要所には地雷火を敷設し前進に幾多の困難
を感じつゝも之れに打克つて危険を侵して前進しました。休む暇もなく中陽方面から離石に出で再び連枝
の一脈を越えて汾陽城平陽城太谷城より二十四日當地に參ることになりました。御承知の通り山西省は抗
日徹底しをりしも最近は相當理解し日一日と親日になつて行きますことは御同慶に堪えません。山西は敵
軍未だ山岳地帯に屯ろして仲々撃滅が易く行きません。それは山又山、山岳幾重疊であります。

後方方面の鐵道も繁しく破壊され小部隊ですと相當効果的の遊撃戰術を以つて突撃して來る次第です。
小職も署員各位の厚き御後援を戴き安心して戦線に務むることが出来まして感謝に堪えません。此の上は
充分帝國の目的のため努力し皆様の御心に添ふ様に努める覺悟であります。軍事上秘密で判明されせん
が目下の状態では第三次作戦に參加不日行動を起すやに思はれます。

當署出身幸村部隊の渡邊新一君とも會ふことが出来ました。今迄通信機關少く奥地方面にのみ行動致し
て居りましたため署員の皆様には御無沙汰許りでございます。山崎君の御負傷を最近知つて其の後如何か
と思つて居ります。目下皇國の商工業者陸續として入つて來ましてやがて日本の町も山西方面に出現され
ることと思はれ日一日と加へて行きます。では出征中何分よろしく願ひ申します。
署の皆々様にもよろしく御鶴聲下されます様申上ます。

敬白

四月二十九日夜

北支派遣高橋部隊

昌徳爾

沼津警察署長 松浦政藏殿机下

六六

渡邊新一 (沼津警察署巡查)

謹啓 時初秋の候 課長殿には益々御健勝の段大慶のいたり奉賀候 降つて私儀軍務多端とは云へ御無音に打ち過ぎ失禮の段何んとも申譯け無之平に御容赦被下度候 お蔭を以て相變らず壯健にて軍務に服し居り候間御休心被下度候 永らく北支方面に活躍致し居り候も去る八月下旬北支〇〇港を出帆九月上旬〇〇省〇〇に上陸部隊名も表記の通り變更となり目下〇〇に待機至極元氣に御座候 其の後警察官も多數異動となり又應召なされし方もあるやに承り居り候 先は時節柄御身御自愛專一に部課員諸員に宜敷御申傳下れ度右疎遠を謝し御一報迄に申上候

九月二十二日

中支派遣幸村部隊

渡邊新一

静岡縣警務課長殿

石塚多作 (沼津警察署巡查)

謹啓時下殘暑之候 貴官益々御清祥の段奉賀候 陳者小生儀應召入隊に際しては公務御繁忙の折柄にも不拘態々御祝電を賜り御芳情有難く深謝奉り候 其節至急御禮申上ぐ可き處延引致し居り非禮之段御寛容下され度候 御蔭を以て昨〇〇〇〇〇〇任地なる〇〇〇〇に到着同兵站地の〇〇〇に任じ居り候 御承知の如く〇〇〇〇は事變發生直後〇〇〇〇せし處に有之以後〇〇〇〇〇〇の〇〇〇を爲し北支戦線に於ける重要地なると共に應援部隊の到着前線への進發等頻繁を極め従つて敵機の爆撃目標たる懸念殊に多く〇〇〇〇(〇〇〇〇〇〇〇〇)の責務も重大に有之候 宿營は陣地附近の支那人家屋を占領内部を種々改造して之に充當致居り戦場の事ゆえ不自由を忍びつゝ共に勵ましつゝ軍務に精勵し居り夜ともなればアンペラの上に毛布壹枚背囊枕に皆夫々内地の事ども語らひつゝ就寢前の一時を樂しみ居り候

先は御禮旁々近況御報知迄如斯御座候

敬白

北支那駐屯軍山縣部隊

石塚多作

静岡縣警察部長殿

六七

山崎喜久次 (沼津警察署巡查)

秋酷となりました。其の後は意外の御無沙汰のみ致し何共申譯けありません。皆様相變らず御壯健で御精勵の事と存じます。私も至極元氣で目下第一線部隊として敵前二百米の地點に於きまして壕中にて敵と對峙して居ります。去る十七日の〇〇攻撃に際しましては我隊は決死隊として最前線に活躍し遂に敵陣を陥れました。其爲め隊員は大分の〇〇は死傷し尊い犠牲となりました。然し私は斯くして皆様に御便り出来ずのも一重に神の御加護に依るものと信じて居ります。戰場は水の缺乏に苦しみ井戸は皆泥水であります故目下傳染病に罹り後方に還送せらるゝ者可成りあります。〇〇攻撃の際は私達は二日二夜一滴の水も潤すこと出来ませんでした。もう八日間壕中に夜を明して居ります。第一線部隊の苦勞は内地銃後の皆様には想像以上であらうと思ひます。敵は夜間になりますと我襲撃を恐れる爲か目茶／＼に射撃を加へます。然し夜間は敵の彈道は比較的高いため後方部隊が思はぬ被害を受ける事がある様です。攻撃部隊が一番苦しむのはクリークと言ふ一種の排水溝であります。クリークの水は海水の満潮の時は増水して來ます故往々失敗があります。私は若干兵を率ひて〇〇攻撃最初の日晝間クリーク際に壕を掘りましたが午時八時頃になりますと段々増水して來て壕の中に浸水し立てば敵彈が來るし座る事も出來ず午前二時頃迄中腰でかがんで居りましたが此んな苦しい事はありませんでした。

陣中ではとても忙しく便りも出來ません。今も一時間位休憩して交代で敵前に向ひ壕を掘り乍ら行進します。〇〇の大會戦も後數日を要することになりませう。其迄はどうしても生きて居たいと念じて居ります。では皆様呉れ／＼も御身體御自愛なさいませう様又留守中家族はよろしく御依頼申します。狭い〇中で

の亂筆は何卒御容赦下さい。では御氣嫌よう。さようなら

十月二十二日

中支派遣田上部隊

山崎喜久次

沼津警察署長殿

署員御一同様

小杉良平 (沼津警察署巡查)

拜復 御手紙有難く拜見致しました。時下嚴寒の折部長殿初め各官には益々御壯健にて銃後治安維持に御多忙の事と遠察申し上げます。降て私儀戦闘間一日の病氣とて無く無事御奉公致し得ました事は、御稜威と一重に皆様の熱誠なる銃後の支援の賜と厚く感謝致します。又先日は御丁寧なる慰問品を御送付に預かりまして有難く御禮申し上げます。

當地の氣候も十一月下旬頃迄は内地の氣候と大差ありませんでしたが現在では連日の降雪にて困難致して居ります。然し北支の戦友に比較致しますならば何んのそのとて元氣にて軍務に服して居ります。次ぎに現在に至ります大體の經過を申し上げます。〇月三日上海市大連埠頭に敵前上陸を敢行致しまして〇〇支隊に配屬上海〇江碼頭附近の戦闘を初め、劉家行、碓家宅、大場鎮、蘇州河、南京の激戦を了しまして敵

を南翔嘉定を經蘇州無錫方面に追撃金壇城に於て本隊主力と分離〇〇支隊に配屬せられまして鎮江に至りまして揚子江を發動艇により敵前渡河を敢行し〇〇城にあります敵を撃破致しまして現在同地附近の警備に任じて居ります。戦火に會いし住民も追々に従い歸へつて参りまして現在では全く同地の治安は確立致して居ります。先は御禮傍近況御通知迄

昭和十三年一月三十一日

上海派遣武田部隊

小 杉 良 平

静岡縣警察部長殿

牧田健次 (沼津警察署巡查)

謹啓 嚴寒の砌り課長殿には益々御清適の段誠に御喜び申し上げます。小生儀平素は意外なる御無音に打過ぎ申譯け御座いません。何卒御海容の程御願申上ます。度々身に餘る御懇篤なる御書面拜誦致し如何に日常御繁忙なる事と推察仕り候 御蔭様に愚生も列兵の末端乍らも武漢攻略戦も頑健に御奉公出来得ました之も一重に課長殿初め皆様方の御聲援の賜で彼の上海戦に當然無き命と思はれしに不思議にも生永らへて今又茲に陣中第二回の秋を迎へ又課長殿より御督勵御指導の御言葉を頂戴致し身の幸運を感銘致して居ります有難ふ御座います。日常の御聲援御教訓を深く臆に打込み必ずや長期應戦に備へる覺悟で御座いま

すから御安心下さい。京漢沿線當地も二、三日めつきり寒く成りました。内地とて嚴寒で御座いませうし課長殿にも益々御自愛下されん事を御祈致して居ります。先は平素の御無音を御詫申上げ御返信申上ます

早々

十二月十五日

中支派遣鈴木(貞)部隊

牧 田 健 次

警務課長殿

川崎銀次 (沼津警察署巡查)

拜啓 時下嚴寒候警察部長殿には益々御多祥之段邦家の爲大慶至極に奉存候 陳者小生等出征以來熱烈なる御支援を御續け被下折に觸真情溢るゝ御芳書を賜り厚く感謝の意を表すると共に益々皇軍の威武を海外に宣揚する責務を感じ申候

意義深き昭和十三年の元旦を迎へ候節に全員整列して東天を拜し 天皇陛下の萬歳を奉唱し奉りたる時は涙自ら兩頬を傳ひて身中靈氣に打たれ身の引締るを覺へ申候 更に冷酒を祝ひ鯛や伊勢海老等を頂戴し戰場に豫期せざる其他の口取等御馳走になりたる際は「有難哉、大日本！」の感を深くし帝國の爲ならばの決心小生等の胸に燃へ募り候

今後如何なる場面に當面するも○○健兒の過去の歴史を汚さざるは勿論生新しき名譽を擔ふ○○部隊の出生地である面目に掛けても必ず武人としての本分を盡す覺悟に御座候 益々元氣にて北支中支を驅逐して今日あるは一重に 御稜威の然らしむるとは申しながら又銃後皆様の限りなき不斷の御後援と神佛の御加護とに依るものと深く信じ感謝の辭を知らざる次第に御座候 終りに帝國の國威と共に益々御尊堂の御隆昌を祈り申候

一月二十五日

敬具

中支派遣青木隊本部

川崎銀次

静岡縣警察部長殿

平口千代吉 (沼津警察署巡查)

謹啓 ○○下命以來絶大なる御厚情を辱ふし御無沙汰のみ仕り汗顔の至りに御座候 署長殿始め署員御一同様御健在に御務の御事大慶至極に奉存候 私事御蔭と至極丈夫にて軍務に精勵致し居り候間乍他事御休心被下度候 現在地○○○に到着以來既に十三日目内地の梅雨期の如くシト／＼と降る雨には天幕の生活の我々には實に閉口致し居り候

右先は署員御一同様の御健在を切に御祈申上候

敬具

九月二十五日

中支派遣田上部隊

平口千代吉

沼津警察署

薬科署長殿

外署員御一同殿

金原清次郎 (沼津警察署巡查)

署中御伺申上ます。平素は兎角御無沙汰致し平に御許し下さい。アスファルトも焼く様な酷暑凌ぎ難い折柄警察部長殿には御健在にて日夜公務のお爲に御精勵遊ばされて居られる事と中支の一角より御推察致します。降りて小生も支那大陸の悪氣候風土に負けず壯健にて軍務に精出して居りますから他事ながら御放念願ひます。今事變は長期抗戦との故生等は一層上官の命に従ひ堅忍持久の精神を以て努力致す覺悟で御座います。向署の折柄自重御自愛の程お願ひ致します。

敬具

七月 盛夏

中支派遣中島部隊

金原清次郎

静岡縣警察部長殿

高柳澄男（沼津警察署巡査）

拜啓 平素は御無沙汰許り何とも申譯ありません。時局柄公務愈々繁忙の御事と拜察致します。私も至つて元氣で戦線に活躍致して居りますから他事乍ら御休心下さい。暑い寒いも彼岸までと申しますが彼岸過ぎた今日では百三十度の猛暑も忘れたかの様に正に高天肥馬の大陸でも一番過し良い時節です。毎日お腕の様な青い大空を眼鏡の底から見つめて居ります。何處で働くのも國に盡す道に變りはありませんが、矢張り馴れぬ土地仕事故不自由な點も多々ありますが、而し毎日朗らかな兵隊さんで日を送つて居ります。我々の青白い光芒が大陸の大空に交叉して居る以上青天白日のマークを着けた飛行機は姿を表はさないでせう。こんなに強氣ですけれど秋は矢張り寂しいです。草間にすだく鈴蟲は良い聲で鳴くけれど何だか物足りない感情が心のどこかにかくれて居ります。

中支派遣軍戸島部隊

沼津警察署長殿

高柳澄男

佐野 泉（沼津警察署巡査）

無事十八日大討伐より駐屯地に歸つて参りました。我が竹内部隊に於は何等死傷者はありませんでした。敵は我が野砲及び戦車の威力を恐れ敵の根拠と頼む〇〇に通ずる街道を殆んど原形を留めぬ程度に破壊し我が進軍を阻害したため我野砲隊は道なき處に道をつけ高師ヶ原の様な地形の處を縦横に進撃した敵は我火砲の猛威におびえてか一發も發射せず潰走し向ふ處敵なき状況でありました。本討伐の我が據點より〇〇に至る十里の街道には數百個否千近くの陥穴が堀られてあり道路の諸所に横に土を盛上げ砲車人馬は勿論戦車自動車の通行出來ざる様障害をなし、其土作業の秀でて居る事は敵ながら殊勝の事と驚嘆しました。確に漢民族は長城大運河等築造した子孫だけあつて土作業の優秀な點に於ては他の追隨を許さぬものであることを數里に渉る大戦車〇（これは我戦車が敵の根拠をつかざる様土を深く掘り人造河川の様なものを作り我戦車を之により食止め同壕より内方に我戦車を入れざる様にした）又第一線第二線否第一日何線迄の抵抗線を築造し頑強なるトーチカを原とも云ひ山とも云ひ數へきれない程澤山建造し我が進軍を拒んだことに依つて知ることが出來たさしもの敵も我が竹内部隊の某地上陸「クリーク河川より陸に上ることなり」の情報を知るや其威力に恐れをなし莫大の努力日數をかけて築き上げたトーチカ散歩〇等棄て、奥へ／＼と彼等一流の逃足で潰走して仕舞つた。

本討伐中快晴続きできじ又は兎の飛び出でる高原状の山頂で東より登る日御子を拜しては感無量のものがあつた。追撃開始の十四日の日初霜がをり一層身體のひきしまるを覺えた。小松林に夜露を受け野營もし幕營もし露營の歌討匪行「軍歌なり」に歌はれて居る其儘を體得しました。態々送つて下さつた成田山

領され此岸は〇〇も〇〇〇と朝に一城夕に一砦をの如く進撃し我等は毎日此の戦闘に於ける戦傷者病者の收容治療の爲不眠の努力を致し居り候 當地も最早完全に〇〇〇となり〇〇〇に於ける〇〇〇〇に有之候 最早廣東も陥落仕り候へば愈々蔣政權の末路も近くと存ぜられ噫に依れば漢口は包圍陣形全くなり近きは六七里の地點に我が一線は進みし如くに候 幸にも頑健現在〇〇名を數へる患者を引き受け尙餘裕ある當院に益々自重し 聖旨に副ひ奉る可く働き居り候 甚だ亂筆亂文なれど近況御報告を以て御禮の詞と致し候

末筆乍御尊官始め各位の御健勝御祈り申上候

昭和十三年十月二十四日夜

中支派遣吉村部隊

敬具

静岡縣警察部長殿

柴田義雄

齋藤千太郎 (吉原警察署巡查部長)

拜啓 十月二十四日付御芳書本日(十一月五日)落手難有拜見仕り候 思ひ乍ら戦塵にまみれ落付く迄は御便りを差上ぐる機會も無く御無沙汰にのみ打過ぎ恐縮の至りに存じ候 御蔭を以て其後は益々壯健にて大陸の大半を馬蹄下に踏みにじり申候 先輩同僚諸君の便りに依れば目下警察部内も缺員多く且長期建設

に伴ふ諸國策遂行上非常に御多端との事遠き戰場よりさぞかし御困難の事と推察申上候 漢口作戦に依り九月十四日安慶より進撃を起して以來葉家家集一六安商城一光州一羅山に至り羅山より戦闘参加敗敵を京漢線信陽城に追ひつめ〇〇の威力を遺憾なく發揮して城壁破壊に任じ一番乗の功を納め候 特に部隊長より賞詞を又軍司令官よりの感状を賜ふ様手續進行中と聞き居り候 信陽城にて五日間位休養後更に商城より麻城平地に通ずる大別山系に入り出征以來始めての山岳戦を経験し苦戦の後此の山岳を突破麻城より西進し再度京漢線花園市に出で、先ず漢口陥落の報を聞き申候 只今は〇〇の南十里京漢線〇〇へ四里の地點に警備中にて次期作戦の準備中に有之候 此作戦行動間糧食等は全然間に合はず南京米に豚、藁の多く在るのが將士にはうれしく又逃げ足速き敵を追ふ爲め一日の行程も十數里を出で一層敵が逃げるを止め抵抗して呉れたら二三日休養を取れるものと敵の逃げるをうらめしく思ふ事等も有之候 目下は駐在地附近の殘敵掃蕩の外は砲聲も聞えず給與も順調になり又うれしき故國の便り等もポツ／＼来る様に相成吞氣に戦闘力の養成時代に有之候 全戦線も一段落の模様にて此際部隊の〇〇等必然的に行はれるを豫想し色々々の噂話では〇〇のデマ迄飛び面白き限りに御座候

先は御禮を兼ね近況迄御報告等。向寒の砌御自愛の程祈り上げ候 小生も益々自重天地に恥ぢざる行動を以て御期待に報ゆる覺悟に御座候 敬具

尙九月十日付任砲兵伍長益々張り切り居候

十一月五日

中支派遣軍富田部隊

齋藤千太郎

警務課長殿

山田傳作 (吉原警察署巡查)

亂筆にて失禮致します。本日(二月三日)警察部長殿より御送り下さいました御書面並に家族の寫眞有難く拜見致しました。部長殿には御繁忙の中にも益々御壯健にてあらせらるゝ事と遠察致します。

降つて小生事御蔭様にて益々元氣にて勤務致して居りますから他事乍ら御放念下さい。部長殿には並々ならぬ御配慮を煩はし親身も及ばぬ御厚情の程重ね御禮申上げます。小生等が病氣一つせず元氣にて勤務の出来得ますのは部長殿の御厚情の賜と深く感謝致して居る次第であります。

あの多忙な昭和十二年もいつしか去り本年も早や二月に入りました。小生等の上村部隊は昨年末〇月〇日吳淞上陸後すつと行軍を続け十二月七日太湖南方の湖洲に着き警備に就いたのですが、同所は既に第一線部隊が二十日程前に前進した後なので更に戦闘は致しませんでした。其の後同所にて南京の陥落を聞き、又通過の各部隊より勇壯な話をもたらされ、或は悲惨な状況を察知しつゝ杭州攻撃には南京より南下する大部隊の交通整理に従事致し間もなく目出度き新年を迎へ一月五日同所を出發、七日午後現在の〇〇に引返し警備に従事して居ります。當地方の氣候は内地と同じ位にて又建物等内地の家屋に酷似して而も村落に至る迄比較的清潔にて十數年前の滿洲とは比較すべくもなく一見して文化の程度も高き事を想像させられます。當所は〇〇の東南方約二十里の地點にて停車場もあり支那人も一日増しに増加致して参ります。新聞にて知りますのに未だ各所にては交戦中の所或は不穩な地方等相當にある様子ですが當地附近では殆ど無事故にて何となく物足りなさを感ずる次第であります。如何に〇〇隊の已むを得ずとは計ひ乍ら一戦も交ふる事の出来ぬとは多數第一線の華と散つた將士の英靈に對しても申譯も無く又第一日本男兒と

して此の地迄來て居乍ら只〇〇にのみ終始し何等の活動をもせずして時を過す事は此れも同じ國策の一部とは申し乍ら誠に遺憾に堪へません。せめて敗殘兵の討伐でもと心私かに希つて居るのでありますが、目下之も望み薄です警察官吏として鍛へた精神と腕の實力を發揮する好機の一日も早からん事を祈りつゝ甘んじて日夜〇〇勤務に勵んで居る次第であります。小生等は常に警察官吏である故に言動を慎み上司よりの御訓示を守り日本の警察官吏であり日本軍人である責任に向ひ死力を盡して邁進する覺悟の下に精進致して居ります故御安心の程御願申上ます。

誠に亂筆にて且失禮なる文であります、御指導御援助下さる部長殿の御厚情に對して重ね重ね御禮申上げます。と共に部長殿の益々御壯健にてそして永く静岡に上司として仰ぐ事の出来得ます事を御祈りして已まない次第であります。日付及び現在以後の事に就ては記載を許されませぬから悪しからず御了承下さる様御願ひ申上げます。

敬具

上海派遣軍上村部隊

山田傳作

静岡縣警察部長殿

森下賢太郎 (吉原警察署巡查)

拜復 十月二十四日付御手紙有難う御座いました。本月十七日〇〇より行動を開始いたしました大別山脈

を横切り〇〇へ出まして實に長驅して二十四日待望の〇〇市に入城致し一日隔て直ちに又行動に出まして昨夕歸りました處課長殿及情報課長殿御連名の御手紙が參つて居りまして何より嬉しく拜見さして戴きました。御變りもなく御勤務の御事と謹んで御慶び申し上げます。降而私も毎日張切つて軍務に服して居ります故他事ながら御放念下さい。又留守宅の事に就きまして色々と御配慮を頂きまして厚く御禮申し上げます。本月十七日大別山脈麓の激戦地〇〇〇を出發致しまして〇〇に到り其處で少時輸送をやりまして二十一日百三十五軒を走つて大別山脈を横斷輸送を行ひつゝ二十四日夕〇〇市に入りました途中は到る處支那兵の屍で其進撃が如何に物凄かつたかを如實に物語つて居り昨日迄行つて居りました。京漢線の〇〇と〇〇間等敵の遺棄した自動車三百餘臺驛に分捕つて野砲高射砲合して百餘門全く大變なものです。〇〇市街は南京等に比較すると空爆の跡等随分と餘計で半壊全壊の家屋は諸々に見受けられ防備の點等も仲々嚴重で辻のロータリーは大部分トーチカになつて居り辻々の家屋には全部土嚢を積んで銃眼がのぞいて居ります。でも流石に外國租界は破壊された家はなく支那人が右往左往する仲を悠々と米獨伊等の外人が歩いて居ります。私達も直ちに移動だと云つて騒いで居ります。何れ前線と考へて居ります。何れ又書きます向寒の折柄益々御自愛の程御祈り致します。

十一月二十七日

中支派遣室積部隊

森下賢太郎

静岡縣警務課長殿

中田 蕃 (吉原警察署巡查)

謹啓 時下嚴寒の砌り益々御隆昌奉賀候 却説私出征以來公私共に種々御配慮相煩し居り候處本日は家族の寫眞を御送附に接し只々感銘有罷候 夏菊の花亂れ咲く故國を後にしてより早六ヶ月爾來以御蔭様健勝にて上陸早々上海附近の戦闘に参加仕り十一月中旬更に南京攻略の命を受け約一ヶ月の行軍の後南京に到着十二月十二日南京陥落の歴史的戦闘に参加仕り只今は〇〇を去る約二十里南下して揚子江沿岸なる〇〇と稱する町にて警備に従事致し居り候 元より覺悟の事に候へば今後も精々君國の爲に奮闘致し御高恩の萬分の一に報ゆる覺悟に御座候 時節柄益々御保養專一に被遊度先は右不取敢御禮申上候 勿々敬具

二月一日

上海派遣軍淺田部隊

中田 蕃

静岡縣警察部長殿

青木 矯一 (吉原警察署巡查)

拜啓 時下殘暑未だ酷しき折柄課長殿には益々御多忙な諸業務に御勤務の事と遠察致します。陳者私儀吉原警察署勤務中今次日支事變の爲應召せられ轉戦茲に一ヶ年幾度か生死の境を彷徨せしも御蔭様にて光輝ある軍旗の下に微力なりとも邦家の爲盡すことを得唯々 御稜威と銃後國民の御支援を感謝致す次第です

徐州戦終了後南京より移動目下〇〇附近の警備に任じ毎日百餘度の炎熱と闘ひ治安の確保に努め居ります
 而し戦局未だ前途遼遠にして多岐多端前線將兵、銃後國民を問はず益々重大なる覺悟をせねばならぬと
 思ひます。皇軍の進み行く所宛然敵なき有様とは云へ此の百餘度の炎熱、晝は暑さに夜は蚊に攻められあ
 らゆる困難を排除して活動する有様は實に内地にて想像外の事でありませぬ。扱内地に於ても長期抗戦に備
 へ國民精神總動員又は物資動員と種々なる方策實行中の趣きすべて警察事務に關せざるもの一つとして無
 き様子なれば益々繁務に忙殺せられ御心勞なされ居ること、推察致します。又國際情勢の繁雜に加へ外國
 スパイの潜入につれ防諜即ち特高關係の業務も多忙を極め居る事遠き戰地にありて皆々様の御活躍の姿を
 思ひ浮べ感謝致して居ります。吾々も又近く某方面に移動し東洋平和の爲戦ふ事と思ひます。幸ひ健康に
 て充分目的に添ふべく努力致し警察官として又皇軍の一員として立派に御奉公致すつもりなれば他事乍ら
 御放念下さい。先は時節柄課長殿にも充分御自愛專一になされ度殘暑見舞旁近況迄

昭和十三年八月十七日

中支派遣田村隊

静岡縣警務課長殿

青木 矯 一

笠原哲司 (大宮警察署巡查)

謹啓 課長殿初め諸官益々御多祥の段奉賀上候 出征以來種々御配慮御激勵被下詢に有難御蔭を以て至つ

て頑健に軍務に服し居り候間他事乍御安心相成度候 我が部隊は北支出征此の方各地主要戰闘に参加し殊
 に本年二月河北戡定戦以後は引續き占領地肅正戦或は掃蕩戦等にて今日迄山西省南部山地及大原地方に活
 動致し居り候處今回突如軍命令に依り〇〇方面に轉屬を命ぜられ八月上旬鐵路を〇〇〇〇港に赴き同月下
 旬同港出航海路恙なく〇〇〇〇到着〇〇〇〇の山野に參戦するの榮譽に浴し申候 軍作戦は着々豫定の通りに
 進行せられ被等の牙城武漢三鎮の守りも懸て陥落は最早日時の問題に迫り居り申候
 何分にも支那の領土は廣大無邊殊に〇〇〇沿岸は湖沼に富み泥濘み多く進軍には將兵の最も苦手にて候
 も我が皇軍將兵は物ともせず(ボウノ)髯と汗とに塗れ或は黃綸の如く一見其の何人なるや判然し得ざ
 る四十五歳位の老武士の如くなり進軍追撃を續け居り一念只君國に滅私奉公の他念なき強者のみに御座候
 中支は北支と稍々氣候風土が異なり内地に似通いし處多々有之候
 葉末にすだく秋蟲の聲又肌拂ふ涼風に漸く秋深み行くを感じ内地の秋を偲ばれ申候 我等は懸て來る可
 き〇〇〇〇攻略戦に於て湖南北支中支の野に展開せるであらう事のあの凄慘なる大殲滅戦には腰間に帶す
 る日本刀の冴へを振ふを樂しみに血を沸かし肉を躍らせて追撃前進を〇〇〇〇〇〇目ざして居りますから御安
 心被下度候 銃後非常時局は警察事務愈々複雑多岐となりガソリン航空經濟各部門の專任警察官を増員し
 て緊張銃後の取締に一段の光彩を添へ完璧を期し申候と聞き誠に諸官の御勞苦感謝の外なく滿腔の敬意を
 表する次第に御座候 最終に當り愈々御健勝御自愛の程を祈り上げ申候
 右近況御一報まで縣下警察官御一同御健勝を祈ります。

昭和十三年九月十九日

中支派遣部隊岡本隊

笠原 哲 司

敬 具

静岡縣警務課長殿

八六

茂木辰夫（大宮警察署巡查）

拜啓 本日は御激勵の御芳墨を賜り尙家族の近況寫眞迄御撮影御封入被下誠に有難く忝けなく拜見仕候
扱て警察部長殿を初め縣下警察官諸賢には愈々御健勝にて日夜銃後治安の萬全を期せられ或は小職等出征
者の爲に武運長久を御祈願下され或は家族御慰問に涙ぐまじき御力闘遊ばされ居る趣き只々感涙に咽ぶの
みに御座候 降つて小職も以御蔭頗る頑健にて微力ながら軍務に勵み居り候へ共未だ部長殿を始め警察官
諸賢に御報告申上ぐべき功績もなく只々其れのみ残念に思ひ申居り候
然しながら如何なる場合に於ても警察精神は常に念頭に有りて一死報國の念愈々固く益々力戦奮闘致す覺
悟に御座候間御含置願上候 乍末筆部長殿を始め縣下警察官諸賢の益々御健勝の程北支の空より遙かに祈
上候 簡單ながら右御禮迄如斯御座候

三月三十日

謹言

北支派遣軍幸村隊

静岡縣警察部長殿

茂木辰夫

前田 實（大宮警察署巡查）

謹啓 寒さ嚴敷折柄課長殿には其後御變りもなく御壯健にて御奮闘中の趣き何よりの事と御喜び申上げま
す。十月二十四日の御芳書は本十二月五日頂戴仕りました。何かと事務御多忙の折柄色々と御心配をか
け誠に申譯けありません。偕て私事昨年〇月上海上陸以來各地戦闘に参加致して参りましたが御蔭を持ち
まして至極元氣旺盛にて無事任務を遂行致し居りますれば乍他事御安心下さい。去る八月上旬行動開始大
別山の山岳地帯を一路前進追撃又追撃道悪しきも皇軍の行く處敵なく糧秣移送の大任を果す事四ヶ月餘今
回御承知の通り漢口陥落により我々は唯今其西北方十里〇〇〇に於て守備について居ります。當時は既に
治安維持會も出來て居り支那住民も夫々家業につきつゝあります。約四十日餘雨降らず氣候も大分温いの
で静岡の十一、二月頃の氣候と大差ありませんでしたが、二三日前より天候悪しく寒氣加はり本日はばら
／＼と小雪が降つて居ります。戦は尙遠遠です又來るべき戦闘には渾身の力を出して御奉公致します。尙
寒の砌り御自愛御專一になされ益々御健勝ならん事を御祈り致します。 敬具

十二月五日

中支派遣軍丸山部隊

前田 實

静岡縣警察部長殿

八七

植田 茂 (大宮警察署巡查)

拜復 十月四日出御芳書誠に難有十二月十一日拜領仕り候 警務課長殿には愈々御壯健の段慶賀至極に奉
存候 降つて不肖本職儀至極元氣旺盛日夜軍務に精勵罷在候間乍他事御放念被下度候 扱て平素は御無音
に打過ぎ誠に汗顔の至り何卒連絡不都合の戦地と免じ御容赦被下度候

唯今河北、河南省の省境〇〇〇山脈中の小部落に〇〇〇間の重要な交通線確保に〇〇隊は獨立警戒
警備に服し居り候 冬服も十二月三日支給され二ヶ月以來礫糲混りの支那米も懐しの内地米に鹽のみの副
食物と粉醬油粉味噌の副食物に變り毎食事食慾をそゝり居り候 漢口陥落に當り益々任務の重且大を痛感
し精進誠意任務貫徹に邁進致し居り候

末筆乍ら警務課長殿の御多幸と静岡縣警察界の御發展の程戰場より遙かに御祈り申上候 右亂筆亂文乍
ら御芳書御禮旁々近況御報告申述度如斯御座候 敬 具

十二月十一日夜

中支派遣軍石井(ホ)部隊

植 田 茂

静岡縣警察部警務課長殿

加茂敏治 (清水警察署巡查部長)

謹啓 新春の寒さ尙凌ぎ難き折柄愈々御清適奉賀候 陳者私昨年〇〇暴支膺懲の聖戦に出征以來何等後顧
の憂無く軍務に精勵し得たるは一に警察部長殿の御高配の賜と感佩在罷候處氣候風土の激變とは申せ不覺
にも病魔に襲はれ病床に親む身に相成候へ共再度第一線に臨む可く療養に専念致し居り候處不圖本日内地
還送の命を受け驚愕再三原隊復歸を懇願仕り候へ共到底戦闘に堪へ得ざる旨懇諭せられ已むを得ず不日還
送と決定仕り候

憶へば出征當日は御激勵の御飛電を辱ふし家族には御慰問狀を頂戴仕り其の御高配に感泣致し居り候へ
共御期待に副ひ得ず不甲斐無き白衣の還送に斷腸の憶有之申候 只々御寛恕の程伏而御願申上候
先は取急ぎ御詫旁々申告迄如斯御座候 敬 具

一月十五日

滿洲國〇〇陸軍病院

加 茂 敏 治

静岡縣警察部長殿

椎名 清 (清水警察署巡查)

謹啓 時下嚴寒の折柄彌々御清勝の段御欣び申上ます。私儀御蔭様にて出征以來日常元氣北支に活躍して
居ります。今回は御鄭重なる御慰問に接し且公務御多端の砌り態々家族をなにくれとなく御慰め被下まし
て家族は勿論北支戦線に於て感謝感激の外何等申上ぐべき適當の言葉も無之只々感涙に咽び居ります。吾

りの二回、各一時間の制限があり着剣の佛兵の警衛つきであります。其の租界は支那人の避難民が蟻の様
で有ります。日本人租界は前業を捨て、軍人相手のみの商が盛であり呉服屋等も臨時轉業振りです。大地
は風がなく薄氷の張る程度で内地より稍々凌ぎよい陽氣であります。

一月七日始めて上陸後一定の土地に落ちつき行軍又行軍の前に比しますれば現在は落ちついた気分です
殘敵掃蕩以外には杭州總攻撃の途中嘉興より鐵道に添つた。中途長安鎮で一回戦闘しました。〇〇隊とし
てかく移動し且つ第一線に立ちましたのは私共の部隊のみが持つ光榮であります。日毎に警備部隊の慰安
設備も設けられて居ります。郵便物も現在、過日は大部遅延しましたが最近は二週間で往復、四週間で
内地の様子がわかります。然し上海では三日遅れの内地の新聞が手に入ります。
右近況御報知と御禮まで

一月二十九日

八木隊

平野正次郎

静岡縣警察部長殿

横山彌一郎 (清水警察署巡查)

拜復 時下春暖の候と相成候處各位益々奮闘銃後の治安に任せられ候由承り慶賀の至りに奉存候 陳者小
生儀出征以來約九ヶ月其間御無沙汰に打過候處御叱りも無之御鞭撻被下感激致居候 出征以來各處に轉戦

中至極健在にて微力乍ら軍務に努め居り候間乍他事御休心賜り度候

留守中は種々御配慮に預り難有御禮申上候 後事心置なく軍務に精勵致す事の出來得るも一重に皆様の
熱誠なる御後援の賜と深謝感激致し居り候 尚今回は御叮嚀にも家族の寫眞を御送り被下且御慰問狀を賜
り難有拜受厚く御禮申上候 赤魔の傀儡蔣介石も打續く敗戦に今や全く氣息奄々たる有様にて東洋平和の
立返る日も近き將來と思料致され候 我等が部隊は長驅〇〇省に入り益々志氣軒昂愈々暴支膺懲に驀進致
し居り候間御安意被下度候 小生儀將來益々奮闘努力粉骨碎身以て暴戻支那軍膺懲に専念し以て皆様の御
後援に報い度き念願に有之候間何卒御指導御鞭撻の程伏して願上候 末筆にて失禮とは存じ候へ共皆々様
の御多幸と御健在とを遙かに祈り擱筆仕候

三月三十一日

北支派遣〇〇部隊

横山彌一郎

静岡縣警察部長殿

天野和作 (清水警察署巡查)

應召以來一年有半轉戦異動の多い野戦の事御無沙汰申上げ誠に申譯けも有りません。幸に矢玉をも負は
ずに〇〇迄來ましたが此間少し病氣になりましたが今は相變らずの元氣にて御奉公をして居ります。正に
迎へんとする野戦での二回目の正月を思ふ時時局下に於ける此の年の瀬課長殿始め皆々様の御心勞の程さ

ぞかしと御察致して益々御自愛を大陸の長江の側より御祈り致して居ります。氣味悪い程静かなるして寒
い辻々に光る警戒兵の銃剣に一聲高く月の夜更けの渡り鳥……此が今の○○の姿で御座います。攻略戦の
爲め八月以來の郵便物が今日配達されて久振りにて只嬉しいと謂ふ感じばかり戦線への御言葉有難く拜讀
厚く御禮申上げます。

課長殿には御變り御座いませんか月餘も遅れた新聞紙にて銃後の内地を見る時課長殿始め皆々様に感謝
の一言あるのみです陣中の亂筆にて一筆御言葉の御禮と御無沙汰の御詫迄
十二月十一日
敬具

十二月十一日

上海派遣石井部隊

天野和作

静岡縣警務課長殿

小倉録郎 (清水水上警察署長警部補)

謹啓 嚴寒の折柄部長殿には益々御健勝にて御精勵の御事誠に慶賀至極に存上候
陳者本日御心盡しの小職家族の寫眞入手仕り誠に難有深謝仕り候 小職出征に就て種々公私共に御配慮を
賜り何とも申譯け無之只此上は誠心以て軍務に精進致し以て御恩の萬分の一にも報ひん事を肝に銘じ御奉
公仕るべく候陣中甚だ亂筆にて失禮をも顧みず不取敢書面を以て御禮申述候

昭和十三年一月二十七日

古久根隊

小倉録郎

静岡縣警察部長殿

石津谷 茂 (清水水上警察署巡查部長)

謹啓 御芳書難有拜受致しました其後は意外の御無沙汰のみ打過ぎ誠に恐縮の次第と存じ居ります。征途
以來一年四ヶ月御蔭を以つて元氣一杯に聖戰参加の光榮に浴し北支中支の戦線を経て遠く千里の波濤を越
へ本年十月十六日南支○○灣に入港敵の兵站據點とも目すべき廣東攻略こそ我等が使命と張切り居りまし
たが疾風枯葉を卷く勢の我上陸諸部隊に依り忽ち廣東を陥れました爲め我々部隊は同月二十九日○○港に
上陸同港より○○市への唯一の軍用道路を自動車を始め輻重○○の蜿蜒長蛇の如き大行軍をなし爲めに熱
砂蒙々と卷上る平地と山岳を時には胸を突く様な急坂路の難行軍を続け友軍前進の跡を追つて○○月○日
目的地の現在地に到着爾來警備の任につきつゝ次期作戦準備をささ怠りありません。○隊にては偵察班
を組織し○○長指揮の下に戦關準備をしつゝ○○方面に出動殘敵の掃蕩中です。宿營地附近は各部隊が集
結し居り敵兵の潜入等は出来ない状態ですが、それでも尙夜間となれば放火或は信號彈等を上げ便衣隊或
は不逞市民が何等かの策動をして居るのですが結局彼等が自滅への足搔きにすぎないでせう。

宿舍は三階「コンクリート」の「アパート」式のもので堂々たる建物が仲々有ります。此處に到着の頃
は市民は大部逃出した跡ばかりでしたが今は相當復歸して居ります。氣候は内地の五月中頃に似て居ると

も申しませうか、部隊は全部夏服のまゝでやつて居ります。衛生方面は零の状態で癩、結核、花柳病等の内此の一つに罹つていない者は極少数で内地で恐れられて居る結核の如きは此地住民としては抵抗力が強く病者であつて労働等に服して居り、結核は病氣でないことさへ云はれて居るとの事です。暑い國とは云へ顔色の青き住民ばかりです。北支方面と比較して随分相違して見受けられます。コレラ菌の如きも多分に居る模様です。先達つても池の鯉を食して發病〇名の内〇〇〇外數名の保菌者が出たと云ふ部隊がありました。「マラリヤ」患者等は全般の様です。宿舎には防蚊、防蠅の装置がありますが、此等がふん／＼して居るには閉口致して居ります。同僚繁田君も直ぐ近くで元氣でやつて居ます。昨日も色々話をして参りました。繁田君は昨年來進級致し小生は本年八月一日付で伍長に任官致しました。其責任の加重と共に折角銃後を皆々様の御期待に叛かぬ様自から勵まして居ります。末筆乍ら皆々様の御健祥を祈り併て家族が格別の御力添へを賜り居りますことを厚く御禮申し上げます。

十一月二十八日

敬具

南支派遣木下(滋)部隊

石津谷茂

警務課長殿
情報課長殿

繁田金八 (清水水上警察署巡查)

拜復 本日は御叮嚀なる御激勵の御書狀に預り厚く御禮申上候。時下晩秋の候と相成吹く風も身に沁むる今日此頃課長殿には愈々御健勝にて非常時銃後治安維持の爲め種々御配慮の段奉大賀候。降つて小職も其の後御蔭様にて元氣旺盛にて軍務に精勵し得られ居り候まゝ乍他事御休心下され度候。扱我々所屬部隊は永らく北支中支方面の戦線に参加致し居り候らいしが十月初旬より南進し目下は南支の守りに當り居り候。當地は熱帯地の爲十一月末の昨今にても夏福袴一枚にて丁度良き位に候。現在屯營致し居る當地は南支にても重要な大都市に候。南支は北支とは餘程其の趣を異にし居り傳染病の如きも内地にては餘りなきコレラマラリヤ等目下盛んに流行し居り其の上住民の大部分の者は癩患者とか謂はれ居り衛生上に關しては特に注意を要する次第に御座候。當住民は抗日意識熾烈にて警備上にも宣撫上にも厄介の多き地に候。戦局も愈々第四期戦に入り今後こそ最も大切の時期と存ぜられ候故充分自重し今後聖戦の目的達成までは是非共頑張り通し御奉公申上げ度き覺悟に候へば留守中は何分宜敷御願申上候。時節柄課長殿の御健康を御祈り申上げ先づは乍簡單御禮迄申上候。

十一月二十五日

南支派遣軍木下(滋)部隊

繁田金八

静岡縣警務課長殿

鈴木寅藏 (清水水上警察署巡查)

皆様御變り御座いませんか。陳者私儀先般重任を拜し其の途に就きます節は萬端御配慮を戴きまして只々感激の外御座いません。謹んで厚く御禮申上ます。御蔭様で一路恙なく任地に着きました。元氣に致して居りますから何卒御安心下さい。今し大陸に立つて其の任いや重く其の責いや大なるを痛感致しますと共にひし／＼と胸を打つものは皆様の熱誠溢るゝ御聲援御鞭撻であります。生々しい感激の思ひ出が次から次と盡きませんこの上は愈々粉骨砕心以つて盡忠報國の重責を完ふすると共に誓つて皆様の御期待に副ひたい念願であります。今後共に何卒宜敷く御指導御鞭撻の程御願致します。略儀まことに失禮と存じますが不取敢御挨拶申上度併せて遙かに皆様の御健勝と御多幸を御祈り致します。さようなら

中支派遣軍上村部隊

鈴 木 寅 藏

静岡縣警察部長殿

池永邦典 (清水水上警察署巡查)

御挨拶申し遅れまして誠に申譯け御座居ません。應召以前清水水上警察署に御世話になつて居りました池永邦典巡查であります。警務課長殿には非常時局の今日を背負はれさぞ御多忙のことと御察し致しますと同時に銃後を堅く御守り下さいまして有難ふ御座居ます。又小職達留守宅に至りますまで種々御面倒相掛けまして厚く厚く御禮申し上げます。

御蔭様で田上部隊の一機關銃手と致しまして上海南京追撃戦に参加只今の〇〇警備に就きますまでかすり傷一つ負はず微力ながら御奉公出来まことは一重に皆々様の御後援に依りますものと深く感謝致して居ります。上海戦も過ぎ落付きます間もなく昨年十二月一日太倉を出發南京へ向ひ入城式に参加致しまして再び歸り此處の警備に就きまます迄行動の激しかりました爲め今日迄失禮致しました次第であります。

彼等も皇軍の警備に全く安心致しましたものか此の街も彼の村も復興作業に大童の態で御座います。聞く處に依りますれば新政府の設立新國旗の制定も見ましたとか、何れに致しましても後もう少し最後の御奉公致しまして歸る事が出来まますなれば實戦に依り得ました戦闘力を其儘警察事務に移し精一杯働くことの出来まます日を楽しみに致して居ります。

内地は近年になく寒さ厳しいとのことと御座いますれば何卒御身御大切になさいます様。右謹んで御挨拶及近況御報告迄

一月二十七日

中支派遣軍田上部隊

池 永 邦 典

警務課長 神谷秀夫殿

渡邊善次 (静岡警察署巡查)

拜啓 秋冷の候と相成りました。御貴官には益々御健勝の御事と推察申上ます。私貴縣静岡警察署の一員

として勤務致して居りましたもので御座いますが、昨年〇月〇日皇軍の軍人として名譽ある召集を受けまして北支に出征致して居るもので御座います。此間滿一ヶ年故國に残りましたる私家族に對しまして一方ならぬ御高配を蒙りまして御厚情の程深謝致して居ります。御蔭様を以て出征以來壯健にて北支各地に轉馳元氣で奮闘して居ります。今度私共の部隊にて各地の戦闘にて護國の鬼と化しましたる英靈を慰める爲め只今の警備地〇〇線〇〇驛附近に忠魂碑を建設致しました。別紙同封の寫眞は忠魂碑を撮影致しましたもので御座います。寫眞で御覽の通り碑の裏面には戦死場所の月日氏名等が彫刻されて居ります。今度の事變の記念の一端ともなればと存じまして御送付申上る次第で御座います。御受納下さいますれば幸甚の至りで御座います。只今は日に増し冷氣を覺えまする折柄御身大切に御勤務下さいませ。遠き北支より御健康を御祈り申上ります。

敬具

北支派遣軍石塚部隊

波邊善次

静岡縣警察部長殿

深見健吉（静岡警察署巡查）

拜復 時下嚴寒の砌りに御座候處部長殿初め警察官の皆様には愈々御健勝にて只管治安の維持に安寧の保持に將又銃後の護りに日夜御精進被下候段只々感謝の至りに堪不候

御蔭を以つて不肖も出征以來身體至極健康一意専心軍務に服し居り候間乍憚御安心被下度候 尙本日は態々御慰問並激勵の爲め御鄭重なる御狀に接し衷心より感謝の外無之候 目下吾々の駐留する中支〇〇地方も昨今漸く平穩に歸しつつ有之候も瞬時も油斷を許さざる支那軍の事に候へば萬々遺憾なき嚴重なる整備に任じ居り候

事變發生以來半歳を出でずして首都南京迄も陥落せしは國家の爲御同慶の至りに御座候も時局は愈々重大前途遼遠なるを思はしめ吾等古武士も愈々最後の御奉公と粉骨碎身以つて皆様の御期待に添ふべく念願に御座候 乍略儀誠に失禮とは存じ候へ共右御禮旁々御挨拶迄如斯御座候 敬具

昭和十三年一月二十五日

上村部隊本部

深見健吉

静岡縣警察部長殿

鈴木吉藏（静岡警察署巡查）

拜啓 時下嚴寒膚を劈くの候 警察部長殿始め御家内御一同様には益々御勇健にあらせられ慶賀の至りに奉存候 陳者今回は特に御多忙中にも不拘有難き御慰問狀被下候のみならず慰問として拙宅家族寫眞迄御送り被下誠に有難く厚く御禮申上候 扱て客年〇月〇日〇〇隊にて〇〇隊を編成致し歡呼の聲に送られ十月二十八日吳淞上陸以來上海附近にありて御蔭様を以て無事〇〇〇〇等の建設に従事致し居り候 江南の

花と散りし先輩將士の方々並に御遺族の方々に對し誠に申譯無之次第と存居候 熱誠なる皆々様方には晝夜の別なく銃後治安の重任の爲眞に涙ぐましく御奮闘下被感激感謝の外無之候 吾々も時局重大なるの時益々一致團結盡忠報國の志を厚く致し微力を捧げ居り候へば 乍憚御安心被下度候 乍末筆嚴寒の折柄御自愛專一に存上奉候 先は御禮申上度如斯に御座候

一月二十日

中支派遣木崎部隊

鈴木 吉藏

静岡縣警察部長生悅住求馬殿

河野 一 (静岡警察署巡查)

天高く馬肥ゆるの候益々御清祥の段奉賀候 出征以來御無沙汰仕り何とも申譯無之御蔭を以て入隊以來益々壯健にて軍務に精勵致居候間何卒御安心被下度候 現在我々の任務に就きおり候場所は〇〇に於ける要衝にて〇〇施設多く〇〇迄程遠からぬ一箇所に有之最近二、三年間に急激なる發展振りを示し人口十萬餘を有する都會にて總て〇〇〇〇の手に依りて日本風に構成せられおり内地にあるが如き感に滿されおり候

署長殿には時局柄益々御繁忙の折柄不肖家族等の件に關しては一方ならぬ御配慮に預り何とも申譯無之御厚情の程日夜衷心より感謝仕候 將來共何分御高配の程御願仕候 亂筆乍ら北滿の曠野より御壯健の程一重に祈願仕候

不備

九月二十五日

滿洲國〇〇鈴木部隊

河野 一

静岡警察署長小田重義殿

白鳥昔一 (静岡警察署巡查)

拜啓 我國史に大書す可き有意義なる昭和十二年も銃後皆様の御熱成なる御後援に尊い犠牲者諸靈の血と涙に送り敵都南京城頭高く日章旗飄る光輝ある昭和十三年を迎へ警察部長殿には益々御勇健非常時治安の大任を擔はせられ日極く御奮闘の御事と拜承仕り大慶至極に御座候 降りて措生等無事南京を後に十數里揚子江北岸の〇〇〇に於て桃の枝に青葉を竹を添へ有合せの門松に一切れの餅戦地ながらも新春の氣分を味ひ申候 顧りみれば昨年〇月〇日幸ひ應召者の一員となり皆様の歡呼の御聲に送られ抗日支那覺醒の聖戰に上海敵前上陸を第一歩と敵機の下に在り軍雨尺泥沼の難行軍を以て揚行鎮の戦闘に加はり又は蜿蜒大場鎮の激戦蘇州河の追撃戦江陰の戦闘と何れも參加其の戦線には相當變化も有之候 度毎に全力を盡し働き参り候 將兵班員中には尊い一名の犠牲者を出し馬一頭を斃したるのみに有之候 我れ何等擧ぐる功績も無之平凡にして只生を得るのみに有之今更申譯次第も御座無く候 此の上は尙一層緊張致し奮闘努力斃れても尙不死の覺悟を以て例へ生還を得申候とも必ず軍人として恥ざる本分を盡す可く候

一〇四
嚴寒尙加はり申候折柄一層御身體御大切に御自愛奉り被下度く遙か戦地の空より部長殿の御健勝を御祈り
申上候 敬具

昭和十三年一月三日

中支派遣丸山部隊

白鳥 昔一

静岡縣警察部長殿

小泉三次 (静岡警察署巡查)

謹啓 初春の候警察部長殿を初め縣下警察官御一同御健勝の段賀奉候 連日多忙の爲めつい御無音に打過
ぎ申譯無之御許被下度應召以來留守宅に何かと種々御親切に御世話賜り又此の度に小生家族の寫眞を御送
付下され之又有難く御禮申上候 本日無事落掌仕り候 尙出征以來御蔭を以て無事元氣にて任務を果し居
り候間御安心下され度候

さて去る二月二日第二期戦に参加する爲め河北省某地を出發山西省の山嶽地を進軍に進軍我が軍の行く處
敵なく大日本帝國の大目的の貫徹せられる日も遠き將來には無之と存せられ候 そして二月末日山西省〇
〇の西南方某地に安着戦局も一段落か同地に待機する事と相成り候 先は取急ぎ御禮申上候 謹言

昭和十三年三月二十三日

幸村 隊

小泉 三 次

静岡縣警察部長殿

大場松吉 (静岡警察署巡查)

謹啓 御無音に打過誠に失禮の段平に御寛恕賜度候 其の後御一統様如何御過しに候や御伺申上候 野生
も任地到着後既に三ヶ月漸く支那生活にも馴れ銃後各位の御熱誠なる御後援に可奉酬精勵仕居候間乍他事
御休心下され度候 當方面に於ける治安の状況も皇軍の武威と其の庇護の下に明朗北支建設の施政方策に
基き著々進捗仕り所謂「住民の安居樂業」の實を擧げ居り候は寔に欣快に不堪處に御座候 曩に普北政府成
立以來其の拮据計營の努力と軍の宣撫工作の徹底とはよく地方民心を安定し、就中文化に隔絶せられたる
邊陲窮民層に對する巡回施療班等による我醫療宣撫の如きは民衆隨喜の的にして彼等が福祉の上に寄與
する處多大のもの有之延ては兩國提携の氣運醸成に役立こと不尠もの可有之愚考仕居候乍然他面「日軍の
後方を以て第一線とする」共產軍等の遊撃戦術は既に武漢を失へる今後の必然的作戦として愈々熾烈を加
ふるは容易に豫想さるゝ處にしてこれが徹底的掃蕩の爲には大陸再建設の諸工作と俱に又更に大なる決意
と永き時日を要するものと思惟致され候 野生もとより一兵に過ぎず只易々として命の儘に忠誠を誓つ
て以て足るものに有之候と雖も武漢の陥落を契機とし苟も戦捷の過大に安んぜず新なる段階に對する認識
の下に一層戒心精勵可仕存念に候 就而者何卒銃後各位に置かせられても時局の重大性に即し國策の御實
踐と同時に倍舊の御鞭撻を賜り度茲に近況御報告旁御挨拶迄申上候 敬具

山崎龜雄 (静岡警察署巡查)

謹啓 警察部長殿には彌々御精適の御事と御欣び申上ます。陳者此度私儀出發に際しては御懇篤なる御厚情を蒙り有難く御禮申上ます。過る日萬歳聲裡に打ち振るゝ日章旗の歡送の聲は胸底に烙きつき盡忠報國武威揚々一層に自重感激致し其後御蔭様にて海陸恙無く九月二日任地に安着母國遠く戎衣は軽くとも任務は重く〇〇地に通信員として軍務に精勵致して居ます。他事乍ら御放念下さい。留守中は御心配御掛申します。部長殿には事務多端の折柄御自愛の程祈上ます。先は御禮旁々御挨拶申上ます。 敬具

十月十一日

中支派遣中村部隊

山崎 龜 雄

静岡縣警察部長殿

市川三郎 (静岡警察署巡查)

謹啓 時下嚴寒の候警察部長殿には益々御健勝の由大慶に存じ候。降つて愚生儀今回の召集に際しては種々御配慮下され感銘致し居り候處御多忙中態々小生宅御見舞下され且つ警察協會警防義會よりそれ〳〵御慰問下され重ね〳〵の御高恩に感謝致し居り候處今回は亦學務部長殿我が〇〇に慰問下されたる際家族の寫眞及び御鄭重なる御手紙下され厚く御禮申上げ候御蔭にて昨年十月十一日虹碼頭着以來女宅、海宅、李石

宅、大場鎮、蘇州河其の他の激戦に参加し多數の戦友を失ひたるも幸ひ無事にて其後南京入場をなし更に強行軍に強行軍を續け無錫に來り目下身體頗る壯健にて〇〇の警備中に付他事乍ら御安心下され度候

〇〇は抗日思想の最も發達したる處なれば目下〇〇人の軍隊により嚴重に警備致し居り候。支那人は表面非常に從順にて日本軍隊が通れば道行く者は止り家に居る者は外に出で道路に整列して敬禮を行ふも内心日本人に對しては〇〇〇者ありて如何なる事を成すや計り知れず候

事實先日〇〇部隊の衛生兵が我が〇〇部隊前の部落に於て〇〇〇外蘇州〇〇に於ても日本兵士が〇〇理髮店に於てカミノリにて〇〇〇事等有之其の他徴發に行き〇〇〇されたる者も有之次第に御座候

敗戦國たる支那の子供等は我々の残飯を「メシ／＼シンジョ」と申しもらひ受け食用に供用する次第にて全く氣の毒に存じ候。取止めも無い事を書き失禮の段平に御赦下され度候。末筆失禮乍ら向寒の折柄御自愛專一に遊ばす様御願ひ申し候。先は右御禮迄

昭和十三年一月二十八日

中支派遣軍田上部隊

市川 三 郎

静岡縣警察部長殿

平田博政

拜啓 立春とは名のみにて寒さ酷しき折署長殿始め署員各位には益々御健在にて何よりの御事と存じ上げ

ます。扱て本日は御鄭重なる慰問品御惠贈下され難有御禮申上様も有りません。知りたかつた出征後の警察界の状況此の慰問自分にしては最大の慰安で御座いました。署員御一同様の御動靜一覽表を拜見し署内の様子手に取る如く委細に付知るを得在勤中の心地致しました。就中署長殿始め署員各位の元氣潑刺として酷寒にもめげず凛々とした御姿を拜し感激させられ襟を正さざるを得ませんでした。全く現下非常時に於て否平時に於ても武士道的精神の涵養が最も肝要と痛感させられます。自分は常に署長殿始め上司より軍人精神警察精神の涵養が最も肝要だと聴かされて居りました訓育を想ひ起し警察精神を發揮し彈丸雨飛の中もめげず今日迄落伍もせずして参りました。亦去る二月十日御互特務兵に進級が有り百五十名中五十名一等兵を命ぜられました。幸ひにして自分もその伍に列する事が出来ました。之全く署長殿始め各位の激勵御薫陶の賜と深く感謝致して居ります。現在自分達は薄暗い午前七時三十分起床直ちに點呼して約三丁位離る厩舎に行き前方のクリークの薄厚い水を壊し馬に水を與へ飼付なし終ると五體の手入寢蓐の引出等をなし約一時間後引揚げ朝食をすまし馬運動亦は二里程隔る〇〇地に糧秣の補給に行く等之が自分達の全行動で御座います。〇〇も日一日平定し處々に日本人の商店支那人の商店が開かれ居り交通も頻繁な箇所には支那人巡警が交通整理をなし居り正に東洋平和は〇〇より始まるの感を深かう致しました。終りに今度出征せる自分達の慰安亦是銃後の護り等の萬全に對しまして異境〇〇より厚く厚く御禮申上げます寒さの折柄御自愛の程を切に御祈り申上ます。

二月十七日

中支派遣軍司令部

平 田 博 政

静岡警察署員御一同様

高田 武 (静岡警察署巡查)

謹啓 秋冷の候課長殿はじめ皆々様益々御壯健の事と存じます。降りて不肖静岡警察署防空係として勤務中は一方ならぬ御教導を賜り又先般應召に際しましては御鄭重なる御見送りを拜し只々感激の外無之謹みて御禮申上げます。今般〇〇警備の天命を拜し任地到着以來微力乍ら心を賭して去る〇〇を出發の日數百人の制服の御見送りを受けたる歡呼に應ふべく日夜努力致して居ります。晨に東天を拜し聖壽萬歳を祈り夕には西山の夕陽を拜しその赤き夕陽のその如き貴き血もて染めたる先輩の偉業を回顧し更に恙なく過ぎし一日を反省感謝し夜毎は國境線の無氣味なる霧圍氣の中に晨を待つが日課であります。

當地〇〇〇は〇〇東部の新都市であります。東すれば「〇〇〇〇〇〇」を経て「〇〇〇〇〇」に近く西すれば「〇〇〇」「〇〇〇〇〇」を経て遠く「〇〇」に通じ北すれば「〇〇〇」或は「〇〇」を経て國境に南すれば〇〇に通ずる軍事上缺くべからざる主要なる地點であります。此の附近の警備の輕重は洵に我が聖戦に大なる影響を及ぼし東洋平和成るか成らざるかの境界に在り防空標語に「護り固ければ憂なし」とあるが如しとの任たるや吾等在滿將兵の双肩にありと言ふも決して過言で無いものと信じて居ります。

國を擧げて國土防衛に専念の今日消極より積極防空に同じ道に御奉公し得る事は眞に幸運と云ふ可く唯皆様の御期待に反せざる様精勵致して居る次第であります。吾々は漢口攻略戦に勝るとも劣らぬ緊張と努

力を以て必ず第一線に於ける防空及地上の警備を完うすべく誓つて努力致し如何なる困苦缺乏にも耐へて將來に向つて邁進致す覚悟であります。

右謹みて應召以來の御無沙汰の御詫旁々御報告申し上げます。遙か北滿の地にありて課長殿はじめ課員の皆様の御健康の程御祈り申し上げます。

十月四日

〇〇〇省小澤部隊

敬具

高田

武

神谷警務課長殿

伊澤吉郎 (静岡警察署巡查)

拜啓 時下向寒の折柄皆様には益々御健勝の段御喜び申上候 今度は御懇篤なる御慰問の書狀に接し本日難有拜見仕候 其後は長らく御無沙汰の段平に御許し被下度候 新聞にニュースに拜見する何時に變らぬ銃後の皆様方の厚き御支援の程に對しましては戰場に在る私共は何と感謝申上げて良いか言葉も無き次第に御座候 殊に拙宅留守中は皆様方には何時も一方ならぬ御厚情に預り御厚志の程厚く御禮申上候 御蔭を以て小生儀其後無事軍務に勵み居りますれば乍他事御休心被下度候

當部隊も此度大別山脈北方の江北戦線を漢口攻略に參加最近京漢線信陽西南方の某所に到着、討伐から警備等の任務に就き居り申候 途中の戦闘中に於て武漢三鎮陷落の報を聞き皆々様と共に真に御同慶の至

りと存じ上げ候 然し乍ら私共は漢口陷落を以て一段落と致さずより一層の緊張と覚悟とを以て今後の作戦に備へ一同張り切つて居りますれば其點は御安心被下度唯銃後皆様方の力強い御鞭撻と御後援を只管御願申上候 時下向寒の折柄皆様方の御健康の程遙か戦地より御祈り申上候 末筆乍部員皆様にも何卒宜敷御傳言の程御願申上候 先は平素の御沙汰御詫旁々近況御通知まで 敬具

昭和十三年十二月五日

中支派遣軍石井部隊本部

伊澤吉郎

警務課長殿

野島倍雄 (静岡警察署巡查)

拜啓 前略御免被下度候 先日わざ／＼御書面に接し小生如き者に對し武運長久を御祈り下さる事唯々難有感謝致し居り候 出征以來の無筆平に平に御容赦被下度候 小生應召以來一ヶ年有餘をして再び戰場に於てあはたゞしい新年を迎へる事と相成候 其間彈丸雨飛の中を馳驅する事數知らず尙今日生を全ふする事之一重に銃後皆様方の御祈願に對する神の御加護と毎日東の空を伏し拜みて感謝致し居り候

然し乍ら今日に到る迄已に數名の部下を失ひ何れも申譯けなく小生一人生きて今日あるは心苦しき事乍ら如何ともなし難く候 今後は唯英魂永へに安からん事を祈るのみに御座候 然し小生とても明日いや今晚の命さへ知れぬ體にてやがては亡き部下と共に北支の荒野に果て、東洋永遠の平和の礎となる覺悟に御

座候 體の續く限り戦はん益々元氣に付他事乍ら御休心被下度候

内地に於かれても種々經濟統制にて御不自由の事と存じ候 殊に吾々警察關係は經濟に防空に益々御繁忙を極め居る事と存じ居り候 此時に當り席を空しうし居る事は誠に心苦しく御迷惑に存じ居り候處何分宜敷御願ひ申上げ候 十一月も既に終らんとし今日此頃の北支の空は零下十五、六度に下り凌ぎ難き時節と相成り候 聞けば内地に於ても既に初雪ありたる趣きにて御寒き事と存じ候 課長殿初め皆様方の御健闘を御祈り致し居り候 右亂筆にて失禮致し候

十一月二十九日

敬白

北支派遣平田部隊

野 島 倍 雄

警務課長殿

柳川弘司 (静岡警察署巡查)

拜啓 時下初秋の候と相成りましたが御尊堂様には相變らず益々御健勝の事と存じます。尙小生大命を拜し出發の際は色々と御配慮に預り真に有難く厚く御禮申上げます。御蔭様にて小生も渡支以來至極元氣にて軍務に精勵致し居ります故他事乍ら御放念下さい。去月六日當時きとくに居りました〇〇部隊に編入になりましたが入隊三日にて陣地變換の命を受けて〇〇に移動を命ぜられ早速汽車にて輸送を開始致しました。途中鐵橋、鐵道線路、爆破の爲汽車は處々で立往生致し四百里を十八日もかゝつてやつと現在地に當

着致した様な譯であります。

鄭州がまだ占領出来ませんので北京をまわつた爲こんなに長日を要したのであります。徐州は空爆の爲め家に屋根のあるものは殆んど無く實にひどいものであります。汽車で來る途中でも時々銃聲を聞きまし。匪賊は鐵道の枕木のナットを取外して汽車を脱線させるのです。汽車の(貨車)の轉覆したのは一寸も珍らしく有りません。匪賊討伐は三回も致しましたが損害は全く無く皆元氣で飯つて來ました。此頃は日中は中々まだ熱いのですが夜の歩哨は外套を着て立哨致しますがそれでも夜明近くになると寒い位です。現在の陣地はもと袁世凱の妾宅で死後事變前までは中學だつたさうであります。實に廣大なるものにて壁は高さ三丈厚さ四尺で中の美しい事大きい事は實に驚く外ありません。コーリヤンも刈入れて見渡す限り野原ばかりで見るものはありません。今後は御期待に副ふ様精勵致します。先は御禮旁々御一報まで時節柄御自愛專一に皆様様によりしく御傳へ下さい。

八月三十一日

北支派遣軍〇〇部隊

柳 川 弘 司

静岡警察署長殿

清水初平 (静岡警察署巡查)

謹啓 嚴冬の候に御座候處警察部長殿御一同殿には愈々御清榮の段奉賀候 初平儀舊年中は意外なる御疎

遠の限りを致し誠に恐縮至極と存じ仕り居り候 何卒軍務多忙と思召され御海容給り度御願申上候 國家の干城として應召來早くも半歳を戦火の中に相過ぎ申候 此の間部長殿には不肖は申すに及ばず留守中の家族に對して迄も深甚なる御配慮に預り誠に有難く厚く御禮申上候

又此の度は圖らずも在郷家族の寫眞迄も御送附被下陣中に於て感慨無量の對面を仕り申候 願れば昨年〇月〇〇日暴支膺懲の大命を受け上海・虹口碼頭に上陸以來吳淞タリク、大場鎮の果ては蘇州河の渡河戦に皇軍の一員として渾心の奮闘を仕り居り候 固より愚なる不肖に御座候へば拔群の功績とて無く徒らに六尺の身を辛じて戦火の間に全うして全く慨歎の極みに御座候 然りと雖も晴れの南京入城に參加仕り候誠に光榮と存じ居り候 元より生還は期し居らずに御座候得共不肖儀天命の綱をすがりて現存仕り居り候は神助の致す處に御座候はんも一重に部長殿始め皆様の尊い御庇護の賜と肝銘仕り居り候 初平儀何を以てか御鴻恩に報ゆべきか唯一命を君國に捧げ暴支降伏の日迄邦家の爲め精勵努力致さん覺悟にて候 不肖初平儀自ら〇〇〇〇の一支那民家に起居當地の守備上整備に任じ仕り居り候 戦火の交錯する敵前に比ぶれば至極安穩の地に御座候 來〇以來既に四旬此の地は風情とも多少馴れ楽しく次期作戦を待ち終日仕り居り候 當地も江北とは申せタリクの氷の解けし事は無く内地も定めしお寒き御事と存じ仕り居候

部長殿始め御一同殿益々御體大切に御消光の程只管御祈申上候

先は略儀乍ら紙面もて御禮旁々近況御報知申上候 向後共何分宜敷御願申上候

二月七日

中支派遣軍石井部隊

敬具

清水初平

静岡縣警察部長 生悅住求馬殿

佐野忠雄 (静岡警察署巡查)

謹啓 時下益々酷寒の候と相成り候も其後警察部長殿には御健勝の御事と拜察申上候 今陽光一入輝き國家戦捷の春を迎へ候時衷心より其の目出度き壽ぎ奉るものに御座候

皇軍の益々發展を皇威の輝き一層海外に威力を發揚なされ得る事を願ふものに有之候 時に此度は警察部長殿御心盡により候て愚生等留守宅の寫眞まで御願ひ下され候 御好意只々感謝の外申上べき言葉に苦しむ次第に有之恥かしき次第に有之候 御蔭により戦地に在りて父母弟妹の面影を拜見出來得た時部長殿御心盡に重々謝し奉り思はず自己の全力を盡してせめての萬分の一に御報ひ致さねばならぬ心に勵まされ候 必ずや全國警察官、静岡縣警察官の體面を汚損するが如き心得は絶對につしみあらん限りの自己の勢一滿を盡して銃後を御守り下さる國民の皆様には部長殿始め先輩諸賢の御好意に報ひ度く努力致し居り候 尙目下愚輩等至極元氣にて〇〇地に駐屯警備に就き有之候條何卒憚りながら御放念下され度候 先は寒氣益々酷しき折柄折角御自愛下され度候 取敢ず御禮旁々御伺迄斯如御座候 敬具

昭和十三年一月二十九日

田上部隊

佐野忠雄

静岡縣静岡警察部長 生悅住求馬殿

後藤一馬 (静岡警察署巡查)

謹んで江北揚州の地より新年をお祝ひ申し上げます。

出征以來常に一方ならぬ御心配を戴きましたにもかゝはらず非常に御無音に打過ぎました。十二月一日太倉(宋家宅)を出發して一路南京に向ひました。崑山、蘇州を經左手に太湖の雄大なる姿を眺めつゝ日に夜をついで行軍を續け上海派遣軍とは云ふものゝ全く上海の地をはなれて仕舞ひました。〇〇隊の行軍は中々壯觀です。蜿蜒一里半長蛇の列をなして毎日行軍を續けました。十二月十日金壇に到着しそこで軍命令により〇〇隊(〇〇隊〇〇隊)のみ南京行を中止して〇〇隊(〇〇隊)の配屬となり原隊をはなれて獨自の行動を取り十二日南京を距る約二十里揚子江岸の鎮江に到着し〇〇隊と合しました。此所も市街の大部分は砲彈或は火災の爲見る影もなくなつて居ました。鎮江では内地よりの便りは勿論發信さへも出來ず全くの孤立状態で後方よりの糧秣の輸送も絶へ馬糧は勿論人糧に至るまで現地徵發に満足しなければなりません。十二月二十三日鎮江對岸の敵兵を殲滅する爲揚子江渡渉の命令下り私達は工兵隊のいかだにより渡渉を決行し敵彈を冒して再び敵前上陸を敢行しました。

しばらく戦闘もありませんでしたがこゝに再び上海上陸當時を思ひ出しました。揚州附近の戦闘は上海附近と異り我軍の損害も些少で私の隊では數名の負傷者を出したのみでした。敵の戦意も薄らいだものと見え以前の頑強さを見る事が出來ませんでした。今〇〇(〇〇)に駐屯し警備について居ります。十二月三十日より郵便物の取扱も開始され久方振りに内地よりの便を戴き漸く落付いた氣持になりました。十二月城内は街も比較的満足で居り住民も日本軍隊に馴れて來て避難民も追々と歸つて來て居ります。遠く異境

の地に新春を迎へ遙拜し再び固く盡忠報國を決意致しました。銃後の皆様のご心盡しによる餅と酒とを戴き只々感謝感激の外はありませんでした。こちらも非常に寒氣が加はつて參りました。併し未だ内地と大差はない様に思ひます。酷寒の折柄署長殿を始め皆様の御健康をお祈り申し上げます。

昭和十三年元旦

中支派遣軍武田部隊

静岡警察署長殿

外署員御一同様

後藤一馬

山内良平 (静岡警察署巡查)

砲聲にくれた太陽はどんよりとし黄ばんで中部支那に於ける名だゝる大平原には血なまぐさい風が流れてゐます。その後随分久しく御無沙汰に流れました申分も御座りません。署長殿にはお變りも無く御多忙な中にも陣頭に立つて御指導の事と遙かな中支の一角より遠察致してゐます。私事其後至極健在にタンクの一ツ分捕つてラヂオニュースで聞かす位に張り切つてゐますから他事乍ら御安心下さい。殆ど何時春を送つたのか何時夏を迎へたのか無意識戦火に酔つてゐる間に遂に徐州も陥落致しました。北支中支の兩新興政權の合流を妨げ更に國內に澎湃として起つてゐる反蔣機運を辛うじて抑へてゐたのも中支の要樞徐州を死守せんが爲めあらゆる犠牲を忍び敗殘の全勢力をあげて徐州の護りをしたのもこれが爲めではなかつ

たでせうか七年間に亘り莫大な費を投じて近代的裝備をした流石蔣介石ラインに恥ぢない難攻不落の國防陣地ももろくも敗北し、徐州戦線の裏面はさながら歐洲大戰末期の西部戦線その儘だった様に感じました。冬から春更に夏にかけての長い塹壕生活不潔と病苦と飢餓の地獄状態を給與の極度に悪い支那軍の内面想像以上そこを脱走した李宗仁麾下の中尉が我が方に飯順し○○部隊の使役となつて働いてゐますが、彼の説に前線の兵に配給される糲秣は一日に二食分でそれも正規兵のみ雜軍にはそれさえ給與されなかつたと勿論正規兵には月七圓の俸給のうち五圓を食費として天引き残りの二圓しか渡して呉れないと殘虐な手段に次々と消へ行く姿○○○○○○さへも致命的の一大打撃を蒙つた事でありませう。最早戦々兢々として混亂の眞只中に在る事實上の國都たる漢口も自ら拋棄の止むなきに至るも間近な事と思はれます。吾○○○徐州攻略を一段落告げ殘敵掃蕩を實施しつゝ、西下態勢戦友は皆元氣に飯盒で夕食を喰べてゐます。眞夏の塹壕から流れる愛國行進曲お國自慢の音頭其處彼處から沸き立つ爆笑、二キロ前方には陣地を占領する有力なる部隊を視界に修めながらも戦闘になれ切つた○○○連中の姿なのです御安心下さい。可愛い○年兵も先輩の仇討をと勇奮躍起となり五月七日南京に到着しました。が徐州攻略に参加せず○○警備をしてゐます(○○部隊○○部隊共)眞夏に稍もすればゆるみがちな體を尙固く引締め銃取りて落城話のつきる迄署長殿御期待に添ふ如く今日一日を後悔あらしめず一向に皇國の爲祖國日本の爲死を鴻毛よりも輕しと身命を抛つて軍人の本分を盡さむ事を誓つて止みません。もろこしの土に埋れて魂は永久に護國の鬼たらん時節柄御身大切に陣頭の權を六月十七日午後七時三〇分○○地占領後塹壕にて

鷹森部隊

山内良平

静岡警察署長

小田重義殿

柴田正三(静岡警察署巡查)

拜啓 猛暑堪へ難く候處署長殿を始め署内御一同様には益々御壯健にて御公務に御盡力遊される御事と拜察申上慶賀至極に存奉上候 最近承れば内地は大水害に襲はれ候由 管内の被害程度等如何かと御案じ申居り候定めし御一同様には種々御盡力罹災民の救助防疫等に御苦勞遊される事と感謝申上候

降て愚卒等も四月中旬山西省を出發はるゝ○○總攻撃に参加すべく行動を起し五月初旬より○○軍に屬して猛撃を開始し五月十九日待望の○○を奪取入城仕り候處同夜より又追撃に移り西南方○○線に添つて延長百里の行程を連夜前進又前進息をつく暇も無き状態に有之候 當時暑氣は既に百二十度を突破し飲料水の缺亡に加へて第一線の前進急なる爲兵站の進出之にとまはず○○補給意の如くならず随分困却致し候へ共遂に○地に於て○河の缺壞による○○の爲困苦其の極に達し候

右様の状況にて約三ヶ月郵便物の受信發信共に不能にて心ならずも久しく御無沙汰仕候段何卒御海容の程御願申上候 最近基地に駐屯致し人馬の休養に努め居り愚卒も御蔭様にて無事次期行動の爲英氣を養い居り候間他事乍御休心被下度右御伺ひを兼ねて御報告申上候

尙新聞等に依れば木綿製品其の他の物資總動員の爲新法規施行され一糸亂れぬ統制の下に經濟方面の充

實に邁進される趣戰地に在る私共肝に銘じて一死報國皇軍の目的達成の一助たらん事を誓ひ居り候 然し一面人民の蒙に依る違反行爲等も間にあるべく之が指導の爲御一同様の仕事益々増加し缺員に依る御負擔と共に如何ばかり御苦心かと日夜感謝致し居り候

とりとめもなく亂文を記し候へ共既に天明失せ手元暗く相成候へば之にて失禮仕る可く御一同様には何卒御健康に御留意遊さる様只管御祈申上候 先づは若中御見舞旁々御無沙汰御詫びまで。右の如くに御座候

八月七日十二時

中支派遣軍岸上部隊

敬具

柴田正三

静岡警察署長殿

外御一同様

武井徳次（静岡警察署巡查）

聖戰の陣頭に戦捷の新春を壽ぎ奉り尊堂の御多幸と御健勝とを御祈り申上候

長期抗戦下の昭和十三年は緊張と多忙の中に暮れ茲に意義深き戦捷の第三年の新春は迎へられ部長殿を始め警察官諸彦の御奮闘と御心勞とを衷心より感謝し併せて向後の御健闘と御努力とを只管御願申上候 出征中は格別なる御高配を忝ふし剩へ部長殿より心を籠めた慰問の御芳書並に財團法人警察協會静岡支部

及び財團法人静岡縣警防義會より過分の慰問金を頂戴仕り感銘在罷候 微力なる小生に對し斯く迄も御芳情を賜りたる御厚志に何と御禮申上べきか只々感謝感激の外無之衷心より厚く御禮申上候 早速御禮の書面差上度と存じ心に誓ひ居候へ共戦線の事として兵馬倥偬の中に月日は流れ繁忙にとりまざれ遂に其機會を得ず今日と相成り何とも申譯無之候段何卒御容赦の程幾重にも御詫申上候 全国津々浦々が感謝と感激の坩堝化された彼の記念すべき十月二十七日我部隊も武漢三鎮攻略戦参加の名譽を擔ひ勇躍〇〇に入城飛行場を占領し感激の日章旗を翻したる次第にて御座候 爾來既に二ヶ月餘此間無異に過ぎ〇〇〇整備作業に日夜奮闘努力し軍務に精勵致居候へば他事ながら何卒御安意被下度願上候 市内も日一日と平穩にかへり住民も續々と復歸し到る處に日章旗ははためき平和の雰圍氣が漲り溢れ居る現状にて今や帝國は東洋永遠の平和確立に東亞新秩序の建設等重大使命を果すべき世紀の一大轉換期に遭遇し内外共に多事多端の折柄銃後に於ける治安維持國民生活安定の爲に身命を賭して日夜暇なく精進努力せられつゝある警察官各位を統率せらるゝ部長殿の御心勞と御努力は一方ならぬものと推察仕り小生等戦線に馳驅する者の只管感謝の念禁する能はざる處に御座候

畏くも 陛下の警察官として聖戰に参加する名譽と光榮とを忝けなうしたる吾々警察官は汚名を残さざる様常に膽に銘じ粉骨碎身赤誠以つて君國に奉ずるの覺悟にて夙夜奮闘努力致居り候へば銃後の護りの益々以て鞏固ならん様御盡瘁あらせられん事を遙かなる中支の戦線より伏して祈願奉る次第にて候 先は戦捷の新春を賀し奉り延引ながら併せて御禮旁々御一報迄如斯御座候

敬具

昭和十四年元旦

中支派遣軍小林修部隊本部

武井徳次

警察部長殿

上池正久（静岡警察署巡查）

船に酔ひ貨車に揺られ自動車に跳上げられて愈々任地に到着しました。當地は大炭田を有し水清く山高く氣候温和でこれなら綺麗に死ねると思ひました。匪賊だけは實に多くあります。

十二月十六日

北支派遣細谷部隊

上池正久

静岡警察署長 小田重義殿

増井恒夫（静岡警察署巡查）

前略 御無沙汰致して居ります。小生色々御世話戴きましたが、去る〇月〇日静岡署より應召只今中支の〇〇に在り彈雨下に活躍して居ります。今後共宜しく御願ひいたします。

十二月二十五日

中支派遣石井部隊

増井恒夫

警察練習所長殿

鈴木克郎（静岡警察署巡查）

拜啓 變期の候署長殿初め皆々様愈々銃後の守治安維持の爲献身御精勵の段奉賀上候 私儀以來元氣にて軍に服し居り候間他事乍ら御安心被下度候 尙過日は家族に對し御慰問の榮を賜り過分なる御配慮有難く厚く御禮申上候 終に臨み署長殿初御一同様の御健祥を祈り失禮仕り候

中支派遣軍溝江部隊

鈴木克郎

静岡縣静岡警察署長 小田重義殿

潮田實（藤枝警察署警部補）

拜啓 甚だ御無沙汰致しました何共申譯無之平に御寛容被下度候 課長殿初め皆々様には御變りも御座いませんか御伺ひ致します。降而私も其後至極頑健で力一杯奉公致して居りますから乍他事御放念下さい。渡支以來の概況を御知らせ致しまして御無音を御詫ひ致し度いと思

ひます。南京陥落後私共の部隊は徐州攻略に参加致しまして直ちに津浦線に依り遂行して揚子江に至り漢口攻略に参加致しましたのであります。漢口攻略には揚子江北岸と大別山脈の中間線を進みまして約半歳を費し漢口陥落の日を得た様な次第であります。此作戦は中半後に至りましては山岳地帯に入り全く激戦地でありました。一陣地に十數日も留り或は一日に僅か五十米百米位しか前進し得ぬ事も再三ありました。漢口防禦の第一線とも云ふべき黄梅廣濟の地點を占領致しましてから戦況一轉し漢口迄四五十里の間は戦車隊快速部隊の急進となり僅かに一週日足らずして遂に漢口も我軍の手に飯したのであります。私共は後方にあつて〇〇勤務に服して居たのであります。〇月五日漢口に入城する事を得たのであります。漢口は御承知の通り東京にも劣らぬ豪華な都市でありまして特に對日戦軍事施設に陸上部隊に對する防禦陣に或は抗日思想普及徹底方に血眼となつて活躍した跡を見る時良く之れ迄出来たものであると思ひました。然し我軍の空爆の前には敵でなく心ゆく迄爆撃せられ特に中山公園にあつた蔣介石の銅像が爆破されて残骸を留めて居る態等を見る時胸がすうとした感じが致しました。其様な概況で漢口迄参り目下〇〇で〇〇に服して居ります。内地も戦時体制下にありまして特に第一線に立つ警察官の御辛勞の程を遠察致します。今後何時迄續くか銃後皆々様の熱誠に報ゆる意味に於ても警察官であると云ふ立場からも及ばず乍ら一生懸命やつて参ります。先は亂筆にて皆様の御健康を御祈り致し永らくの御無音を謝し度いと思ひます。

十二月六日

中支派遣軍長島部隊

潮田

實

静岡縣警務課長殿

西島吉雄（藤枝警察署巡查）

謹啓 時下新緑陽春之候と相成りました。其後は意外の御無沙汰致しました。長期抗戦の準備として課長殿初め課員御一同様には銃後の治安維持、後援、慰問等益々御繁務のことと存じます。

我々警察に職を奉ずるものに對し度々の御激勵御慰問に當り感謝感激に堪えません。降りて小職儀〇〇〇の身を以て應召以來〇ヶ月餘り、益々元氣で無動の戦士、隠れたる戦士、否部隊に完全なる糧食を補給する皇軍の一兵として努力邁進して居ります。只今は兵營生活に入りてより隊の戦闘詳報、陣中日誌、功績の筆耕係として四ヶ月間益々元氣で軍務に服しをります故御休心下さい。今度は筆耕、設營の關係上部隊とは別に水路南京に入りました。戦況支那模様を亂筆ですが御通知申上ます。

三ヶ月餘り住み慣れた江陰兵營生活に別れを告げて三月二十五日濁流滔々と流るゝ世界の大河揚子江を一路南京に航行致しました。船は〇〇所有の〇〇丸（〇〇噸）です。河は濁流滔々たる奔流です。南京まで六十里の航程を時速〇節の速力は相當速く感ぜられました。江陰港の對岸には支那海軍の新鋭戦艦が爆撃により巨體を半分水中に没しているのがはつきり見えます。

船の進行に随つて甲板に立てば。微風薫じ、對岸の楊柳は陽光を浴び、晴光映眼熱帯パラダイスの觀があります。對岸柳緑の間より李桃櫻の花が點々と見え、柳緑花紅春風照動の感を一層感じます。また夜間の航行は危険に付、夜間は船を繫留し、翌二十六日夕南京港に到着致しました。國都南京の波止場對岸は堂々たる高層建築物が聳え、何れも頂きに日章旗、海軍旗を飄しています。淺橋もなきに〇〇〇噸の〇〇船が悠々と横付になるといふ天然の良港です。附近には〇〇船が數隻繫留しをり、上空には〇〇の皇軍

高橋彌三郎 (鳥田警察署巡查)

謹啓 時下仰せの如く酷寒の候と相成候

其の後は以外の御無沙汰仕り何とも申譯次第も無之平に御海容の程願上候

警察部長殿始め在縣警察官御一同には益々御壯健にて一致團結日夜銃後治安の十全に力闘致され居る趣衷心より厚く感謝申上候 降つて過生事警察部長殿を始め在縣警察官殿の御蔭を以つて至極無事にて君國の爲に奮闘努力致居り候間他事乍ら御休神被下度候

尙本日は縣下御慰問團員を御通じ御書状を御送付被下有難く感謝の内に拜讀仕り申候 尙其の節は家族の寫眞まで御送付被下重ぬの御心盡の程幾重にも御禮申上候

二伸 次に支那近況に付き申上ます。

支那の氣候も現在にては内地と殆ど變りは御座いませぬ。私共も去年〇月〇日動員にて吳淞港に上陸致しまして以來、長途行軍にて今月十八日本隊たる石井部隊に南京西方の土山鎮にて合し、十九日南京入城式を終り、二十日再び行軍にて今月二十九日揚子江沿岸の敵の要塞たる〇〇城外の勵實中學校を〇〇〇の兵舎と定め、〇〇城外及び敵の要塞の跡並に電雷學校等の守備に従事致して居ります。御承知の如く第一期第二期の戦闘も終了致しましたので、目下第三期作戦準備中に御座います。

尙第三期戦闘開始の曉は警察部長殿始め在縣警察官各位の御期待に添ひ可奉再び第一戦に立ち粉骨碎身、以て君國の爲め大いに奮闘努力致す考に御座ひます。

野戦の事故、墨筆等も無之、爲に萬年筆にて失禮仕ります。

先づは右以寸書御禮申上上げます。末筆乍ら異國の地より警察部長殿始め御家内皆々様並に在縣警察官一千三百名の御健康を御祈り申上上げます。 敬 具

一月二十七日

中支派遣石井部隊

高 橋 彌 三 郎

静岡縣警察部長殿

見城勝次郎 (鳥田警察署巡查)

謹啓 時下寒氣厳しき折柄静岡縣民齊しく敬愛する警察部長殿には御公務御繁多にも不拘益々御勇健の段奉賀候 陳者今度は態々生等出征警察官吏の爲結構なる慰問品並御慰問狀に接しまして有難く厚く御禮申上候 故郷所屬署より折々の御便りにて在縣警察官吏諸賢の御奮闘銃後治安の十全に御力闘の由承知致し第一線に在る將士一同心強く只々感激仕り居り候 只々野戦に在りて嬉しく感ぜられ候事は銃後に在る皆々様御熱誠なる御後援と、そして一番樂しきは内地よりの慰問品及御便りに有之候 警察部長殿はじめ縣下各官一同御支援に感謝すると共に一意専心東洋平和の爲日支提携の日の一日も速かなるべきと努力致す事を茲に御誓を申し上げ候 兩三日前途京漢線邯鄲附近に約一ヶ月滞在致し居り候も愈々二月一日夜半第二次征戦の出動命令に接し石花莊に集結來る六日石花莊出發、正太線〇〇に向け前進可致候 末筆ながら時節柄御自愛專一の程伏して御祈り申上上げ候 先は亂筆を以て御禮旁々近況御報告申上上げ候 敬白

警察部長 殿

北支派遣軍大堀部隊

一三四

見 城 勝 次 郎

白井 隆 (鳥田警察署巡查)

拜啓 其の後は永らく御無沙汰致し誠に申譯有りません。

殘暑未だ酷しき折柄署長殿外署員皆様には何の御變りも無く御壯健にて銃後の第一線に活躍致し居る事と遠察申上ます。降つて小生も其の後相變らず頑健にて軍務に勉め居ます故他事乍ら御安意願ます。巡る月日も早く今日は九月五日、あの激戦の第一歩〇〇に上陸致してより滿一ヶ年となります。全く跡を顧り見ますれば夢の如く、よくも今日迄で生を得たものだと思ながら不思議の位です。八月二十九日蕪湖上船九月三日無事安慶に上陸致し、之より愈々漢口攻撃に参加致す事になりました。第一線は中々激戦の模様にて負傷者も相當多數後送されて參ます。でも一日々々と進展する戦況ニースを聞くのは一寸痛快に感じます。我々も近日中に〇〇地方を討伐しつゝ目的地向ひます。何れ暇が有りましたら又後便にて詳報申上げますが晝食の折他部隊に頼みて御一報まで。時節柄充分御自愛專一の程を御願ひ申上げます。

九月五日

中支派遣軍鈴木貞部隊

草々

岡谷署長 殿

白 井 隆

山下 馨 (川崎警察署巡查)

大變御寒くなりました。御家族様御變りありませんか御伺ひ申上ます。私も元氣で働いて居りますから御安心下さい。次に此度は御手紙下さいまして本日(十三日)有難く拜見致しました。久し振りにて何だか御目に掛つた様な感が致しました。誠に御無沙汰ばかり致して居つて何共申譯け有りません。何卒御許し下さい。年末年始の警戒は警察官の手薄で御多忙の事で有りましたでしょう。御推察致します。又今日此頃は署員皆様方には寒稽古にて朝も早くから御苦勞の事と推察致します。次に吾が〇〇部隊は客年十二月一日より南京總攻撃に参加すべく太倉と云ふ處より連續強行軍にて同月十四日南京東方四里の地點迄參りました處御承知の通り同月十三日南京も陥落致した様な事情でありまして、此強行軍に私はすつかり足を痛めて同月十九日より一月七日迄二十間野戦豫備病院に入院致しまして八日に退院、同月十日原隊に復歸致し今は元氣で働いて居ります。吾が石井部隊は目下揚子江の南岸に〇〇隊、同江西岸〇〇に〇〇隊駐屯警備に任じて居ります。吾〇〇部隊は西岸〇〇に駐屯警備に付いて居ります。茲當分の中は現在地に駐屯の様であります。今迄は戦闘、行軍等に追はれて居りまして遂々御無沙汰致したのであります。現今は幾分落付いて參りましたから時々は御便りも致します。

一三五

次に署長殿よりの御書面に依りますと十二月二日附にて警察官の異動發令が有つた趣き、御書面に依りますと相當大きな異動の様になりました。地頭方の部長殿も御榮轉なされて御目出度い事と存じます。次に郷里の愚妻からの書面に依りますと署長殿には度々御手紙下さるとの事誠に感激致しました。勝手な事ばかり申上げて何共濟みません。悪しからず御許しの程願います。又何れ御便りを致します。奥様に宜敷く御傳への程願います。

一月十三日

中支派遣石井部隊

山 下

馨

川崎警察署長殿

大石清次郎 (川崎警察署巡查)

冠省 皆々様には御捕ひで益々あの例の元氣で御務の由何よりと存じ御喜び申し上げます。私も御蔭様で渡支以來何等の別状もなく例の元氣よりも一増若返り元氣で面白く愉快に毎日奉公致し居ますれば御安心下さい。

扱今回は銃後任務御多忙の折柄にも拘らず私共の爲に珍らしき品々を以て慰問下され有難く頂戴致しました。慰問袋は昨日九月四日晚當院に到着致しました。早速御禮の手紙を書くべき筈の處昨夜は勤務の都合に依り出来難く、一日遅れて誠に申譯有りません。御書面に接する事は何んとも言へない非常に懐く嬉しく

思ひます。何んと云ても周囲は兵隊と支那人苦力のみで山川草木、事毎に支那式で生活様式は異なり、一ヶ月でも一ヶ年位居る様な心持が致します。殊に出發の時の寫真を入れて下され、且つ皆様の御親切に感じに打たれ非常に懐しく有ります。今日は机の上に出して一日中見て居ました。私は藥劑部に居りまして藥物の出納や補給の任務をして居りますし、澤田君とは場所は異なりますが調劑室勤務で毎日宅内に居ります。夜間は其れでも他の人々より余暇が有ります。私は時々自動車で衛生材料廠へ藥物を受領に行きますので面白い事を見聞致します。漢口作戦も段々進展しまして私共の當地上陸は第一線でしたが、今日は非常に後方になりました。段々部隊も前進しまして今日當りはもう通過部隊も見受けませんが、一頃は汗と日焼と加ふるに支那特有の埃で名状すべからざる兵隊で一杯でした。當地方一帯に水が悪く、且つ硬水なので、生水を飲むと必ず下痢すると云ふ極めて日本人に不向の土地で、戦闘部隊の苦勞は並大抵では有ません。此の勞苦は到底内地では想像の出来ない事です。一頃は雨が少しも降らず、道と云ふ道は軍隊の通行で埃が丁度靄の様に一杯になり、六尺位前方は見へない様な状態で、少し雨が降れば赤土でこねて自動車の如きはスリップして動かない。自動車のタイヤに太い鎖を巻いて漸く運轉する様な理です。戦況は内地の新聞で御承知の事と存じますが、仲々新聞で見ると以上色々状態が有りますが一寸書けません。兎角今度の會戦は仲々南京上海戦以上の戦闘であると思ひます。蒋介石も當正面には正規軍と共産軍を配して力戦之努めて居り、仲々逆襲と手榴弾戦は上手で、我軍を三十米位近寄せ、一齊に手榴弾を投げて山へ逃込むと云ふので、夜間は山が大きいので進めず、一騎打の勝負が良く行はれるそうです。現在でも三里位前方には支那軍が居り、時々小さな被害が有ります。當地は蒋介石の別荘も附近に有る様な處で、反日熱は相當な者で、若い者は全部徵發せられ、女の如きも若い者は全部支那軍と行動を共にし、逃げて督戦に之努め

教訓なりと深く感ずる次第にて候 今更申上ぐるべきに非らざるも此の聖戦に當り我々が遠隔の戦線第一線に於て御奉公の一端に専念するは銃後の護り確きに因るものにして第一線將兵は銃後の各位に對し只々感謝致し居り候 取纏めなき事共種々申上恐縮至極にて候 民族の推進力の尖端に立ちて遠き戦線より甚だ無筆を以て右御謝禮の辭に替へ申上候

尙々末筆にて非禮乍ら署長殿を始め署員各位の益々御自愛の上御健昌の程御祈り申上候

敬具

十月十九日

中支派遣吉村部隊

澤田七郎

森下署長殿

署員各位殿

望月 隆 (金谷警察署巡查)

前略 永らく御無沙汰致しました。

其の後お變りありませんか御伺ひ御上ます。降りて小生もお蔭様にて至つて頑健にて第一線に活躍致して居ります故乍他事御休心下さい。もうすつかり戦線の生活にも馴れましたが、愛馬大照號は〇〇馬で仲々張切つて居つて調教に骨が折れます。

目下部隊は南支〇〇攻撃の爲前進中です。軍機上詳報出来ません。新聞紙上に快足部隊の名で報導され

て居るでせう。では又、署長殿始め署員皆様宜敷。

九月二十六日

北支派遣佐久間部隊

望月 隆

佐野隆司殿

植松武治 (金谷警察署巡查)

謹啓 寒風身に染む冬は寒氣のみ残して何時しか過ぎてこゝに御目出度き新春を迎へました事を江南の陣中より御祝申し上げます。

部長殿には御多忙中にもかかわらずはらず一方ならぬ御後援をいたゞき感謝感激のほかありません。誠に有難く御禮申し上げます。戦地に於ける我々のみならず、家族への度々の御慰問、又本日はわざわざ家族の寫真迄も御送り下されました事を厚く御禮申し上げます。

戦地に立つのは日本男子としての務、義務でありますのに、身に餘る御後援に對し御恩の萬分の一なりとも御返し致す覺悟で居りましたが、何の働きも出来ず、唯生き延びただけ死に残つただけにて御恩報じならず警察界の威信に傷けたも同然にて何と御詫致してよきのやら誠に申譯け御座いませんでした。

劉家行、大場鎮、蘇州河の激戦に生き延び死に残り同級生なる戦死者福井巡查、負傷者白井、平口各巡查にも申譯なく面目なき次第であります。

あゝ我程不運の者は無い、男子命の捨て所の戦地に生き延び、死に残りて……。

だが「自分は任務の爲には一死不歸の決心にて女々しき振舞などを致した事はなかつた。之からが御皇恩に、皆々様の御恩に御報い致す時だ」と我と我が心を勵して居る次第であります。どうぞ部長殿にも此の様御了解下され度く御願申し上げます。

〇〇〇に於て警備傍々次後の行動の準備しつゝある今日、東洋平和の曉は今だ近からず、日支の風雲は低くたれ下り、近々の又の戦も豫想して居ります。此の時に我が胸中に、頭中に、深く刻み込まれるのは唯一死不歸の決心あるのみです。御蔭様にて何の不自由をも感ぜず元氣で居ります故他事乍ら御放念下さい。去る一月七日勤務中、荒馬の爲に右腕關節を痛めました、今だ全快せざりし爲べんの運が不自由故に亂筆にて誠に申譯けありませんが悪からず御許し下さい。先は御禮迄。

一月三十日

中支派遣軍田上部隊

植 松 武 治

静岡縣警察部長 生悦住求馬殿

輿石與四郎 (堀之内警察署巡查)

謹啓 時下仲秋の候に方り警務課長殿及各課職員殿には益々御清祥の御事と奉慶賀候 小職儀昨年〇月以來征途に在りて昨今の漢口陥落目標には外廓的山岳戦に参加し微力を以て御奉公、在内地間の心身鍛練を

礎石として引續き肉体的にも自信を保持し得つゝあるを幸甚と存じ、一面神佛の御加護に因るものなりと深く感銘罷在候 廬山連峰を迂廻、掃蕩山岳戦の敵陣可成りの頑敵を遂に撃滅し自今一線にて制壓しつゝ大陸の彌々一字たらむことを念願致し居り候 扱て内地にては刷新的諸方策遂行のため警察は其一翼を負荷益々任務の倍加せるを剩く我々應召者のため欠員の体制のまゝの御活動只管感銘と御禮の外無之候 小職儀益々感奮御期待に報ゆべく決意致し居り候 年末警戒切迫益々御健闘を祈り平素の御無音を御詫申上候 尙今回〇〇部隊は〇〇(彌)部隊と改まり候間申添候 敬 具

十一月二十日

中支派遣軍津田部隊

輿 石 四 郎

静岡縣警務課長殿

永田四郎 (堀之内警察署巡查)

拜啓 其後に就きまして御報告申上ます。去る〇月〇日午後三時征途に付き〇〇驛を出發しまして二十六日午後六時頃吳淞に到着し、船中に一夜を明しました。丁度其夜我〇〇隊の手に依り大場鎮を落し入れ一晚中銃砲聲の音が聞へ上海上空は大火災を起し、私達が上陸した二十七日夕方迄焼け續けて居りました愈二十七日午前九時三十分頃支那本土に上陸の第一歩を印しました。晝食後午前十一時三十分頃日華紡の焼跡の前を前進し揚行鎮に至り、其處に一夜野營を致しました。翌朝午前七時出發、小家宅を通り午前十

一時頃大場鎮に着きました。此の間民家は全部破壊されて満足の家は一家もありません。全く物すごい風影です。通過する處々には敵の屍体が無数にころがつて居ります。大場鎮に行く間は我友軍の特務兵、砲兵其他で一杯でした。大場鎮に着いた處各本部前進のため大混雑でした。私達は大場鎮で命令を受けるのが我軍の追撃急の爲め既に三里も進出して〇〇本部の所在不明となり立往生をして仕舞ひました。晝食と夕食を大場鎮で済ました處、夕方午後六時頃連絡が付いて再び前進を起し、南海大學の前を通り新茹とか申す處まで行き、始めて私達〇〇隊員の所屬部隊が判明致しました。私は石井部隊小金隊に入る事に定まりました。愈々二十九日午前十時頃第一線部隊に加はるべく蘇州河から一千米位北方の地點に於て輕装となり整列致しました處、私は部隊本部傳令となり其儘本部に入りました處、三十日午前五時一人の若い上等兵と私が付いて隊長が敵前視察に行き敵前約百米位前で蘇州河の側の屋根に上つて隊長と共に視察しましたが、此の間敵兵から射撃を受け非常に危険です。此の日は午前午後空爆に續いて砲撃があり、愈々攻撃が始まりました。三十一日午前十時〇〇隊本部は第一線に前進して、銃砲火の下に蘇州河を狭んで百米、雨の如く敵銃砲弾が飛來して來たり、前進不能の状況となりました。戦死傷者〇〇で此激戦時に擔架で運搬されて居る處は筆紙で申されません。一日、二日、三日、四日と激戦又激戦、一日の戦死傷者〇〇隊〇〇名位です。此の間〇〇部隊、〇〇部隊の一部が蘇州河を渡河致しましたが、工兵の架けた橋が破壊されて進むも出来なくなつて終ひました。私達の居る本部附近には三十一日から六日頃まで砲弾の集中を受け戦死傷者が附近から〇〇です。私達の居る本部家屋にも敵迫撃砲弾が四五發命中致しました。重砲弾も五發程屋根の二三尺離れた處でさく裂致しました。本部傳令一名負傷、二日午前三時頃私が初配屬になつた小金大尉は本部の出口で砲弾のため戦死致しました。私は此間一睡も致しません。此度の弾でやられる

か此度の弾ではと思つて居りました。昨日七日頃から砲弾も來なくなりました夫れは〇〇、〇〇各部隊共全部渡河して前進を始めたからです。此の激戦中に明治節を迎へ、皇軍は東の空を向いて思ひ／＼各所で天皇陛下の萬歳を三唱して居るのが聞へました。私達も勿論隊長の音頭で致しました。此の時は皆目頭がうるんで居りました。

私が一番砲撃を受けた時數へましたら五分間五十二發私達の附近に落ちました。此間の彼我の砲弾は數千發と思ひます。小銃弾は數は出来ません。只今十一月八日午前三時です。次第に敵を壓迫して居ります第一線に居るの苦しみは内地に居る方には到底筆紙を以て御知らせする事は出来ません。着のみ着の儘二三日來の雨でどろ／＼となり、ひざを没して居ります。此の手紙を書いて居る間にも彼我の砲弾は頭上をうなつて居ります。何れ蘇州河を渡つて上海道路附近まで前進致しましたなら御報告致します。思ひ付いた事を書いてありますから御判讀を願います。

昭和十二年十一月八日

中支派遣石井部隊

永 田 四 郎

堀之内警察署長殿

外署員御一同様

荒木新一 (堀之内警察署巡查)

拜啓 申譯の立たない程御無沙汰致しました。皆様御壯健にて職務御精進の事と拜察致します。

私共依然〇〇配屬下に去る八月十五日廬洲發、桃溪鎮、六安、葉家集等を経て現在〇城に迄参りました。永い間の安徽省の旅を終へ漸く河南省へ入つた譯です。相變らず壕が多くて道路の悪いのには参ります。葉家集からは行けども行けども山又岳で、唯今の〇城の先にも連山が聳えて居ります。此處より問題の〇〇迄は僅かに二百軒余、皇軍の進路には敵も踏み止まり得ず——といふ状態です。十日許り降り續いた長雨も漸く二三日前に上り、残暑は相當に厳しいです。昨今は兵士の間に〇〇多く、マラリヤ丈は罹らぬと力んでゐましたが、二三日前から〇〇にトツつかれて練兵休といふ有難からぬ事になりました。然し既に今日邊りは大變樂ですから次の行動には差支へはない様です。

廬洲に居る時交代兵二十二名が参りましたが、其の内の一人に名前を呼ばれて吃驚しました。西方の福田といふ青年で今は〇〇部隊の方で元氣で働いて居ります。音信は丁度二ヶ月程受けないので内地の様子も分りませんが、依然警察事務は御多忙の事と拜します。一層邦家のため御奮闘の程お祈り致します。乍末筆皆様の御健康を祈ります。

九月二十八日

敬具

中支派遣軍丸山部隊

荒 木 新 一

堀之内警察署長 松浦彌三郎殿

松浦 馨 (堀之内警察署巡查)

拜啓 秋冷の頃となりました。其の後は御無沙汰致して居りますが皆様御變り有りませんか御伺ひ致します。戦地にも秋が訪れ朝夕は冷氣を一入身に感じます。漢口へ漢口へと進軍をつゞけて只今〇〇まで進みました。一先〇〇まで進む豫定らしいですが、此の地は道路は一本線にて此頃の連雨にて道路の破損箇所多く行軍も困難で、なか／＼豫定日数では目的地に到着出来得ない状態です。敗残兵、匪賊の群多く、自動車隊其の他小部隊は毎日の如く襲撃を受けます。敵もなか／＼襲撃戦法は上手で、大部隊には決して手出しをしません。先日も〇〇〇の自動車二臺が襲撃され、我部隊が丁度通過之を助けんと致しましたが遂に〇名の戦死者を出しました。

今月になつてからは行軍／＼で手紙、新聞等見る事が出来ず、戦の状況等少しも判らず只前進するのみです。支那も目下は收穫の秋で田畑には稻、芋、もろこし其の他の野菜物多く、食料には不自由致しません。連日の雨には弱ります。佐倉村の池宮神社の祭典も終りました本年も取締に御多忙をさわめた事と推察致します。私達の〇〇もいつの事か來年の花の咲く頃にでもなつたらと考へて居ります。

向冷の折皆様御自愛の程願ひます。

九月二十二日

中支派遣軍富田部隊

松 浦 馨

堀之内警察署員御一同様

高橋幸一（堀之内警察署巡查）

前略 御無沙汰致して居ります。大分冷しくなりました。皆様には相變らず元氣ですか、上陸以來私も相變らず元氣にて働いて居ります。毎日激務に追はれるがまゝに御便りも出来ず誠に申譯ありません。此頃は上陸當初の様な空爆がなく、砲聲も聞えなくなりましたが町は依然として店一つありません。

氣候の變るにつれてあの恐しい悪疫もなく、新患者は殆んどなくなりました。田畑は荒れ果て、丈ほどの雑草の中に萩や彼岸花は戦禍を外に咲き亂れて居ります。

丁度佐倉ヶ池の祭典にて皆様大多忙の事と思はれます。病室のみは電燈がつかしましたが、夜間十二時迄の送電です。他の部隊や町の中には電燈などなく、兵舎も相變らずロソクではの暗い下で手紙を書いて居ります。晴れた夜星の間に〇〇の町の灯だけは破れた兵舎（町端）の民家の窓より見られるだけで全町眞暗です。戦線より送られる患者は〇〇あります。戦傷患者も大部居りますが非常に元氣です。

第一線の如き華々しきお便りも出来ず残念ですが、目に見えざる強敵と戦ふ我々衛生隊の苦勞は又第一線と別な苦心があります。過ぎし二ヶ月を顧れば實に恐しき病魔と戦つた譯です。非人道的な支那軍の暴舉に生水は呑む事が出来ず、食器は洗滌後煮沸消毒をなし、蠅の驅除、患者の收容に大童となり、暑い時など水を飲みたいと思ふた事幾度か知れませんでした。顔などは勿論洗ふ事は出来ず、總て煮沸後でなければ飲用出来ないのであります。

此の頃は防疫設備もだん／＼に完備せられ、恐ろしき病魔も形を鎮めて居ります。〇〇は非常に水が綺

麗な爲めこの水の爲めに相當苦しめられました。衛生材料給與の不充分なる戦線にては我々の看護が非常な役割をなす譯です。退院して第一線に歸る嬉しげな戦友諸士の顔を見る時疲れも忘れてしまっています。とりとめもない事を永々と書いて済みません。どうぞ御判讀下さい。時節柄御身御大切に。皆様方によりしく願ひます。これにて失禮致します。

九月二十日

中支派遣軍吉村部隊

高橋幸一

堀之内警察署長殿

鈴木康淑（堀之内警察署巡查）

拜啓 時下暑威尙厳しき折柄貴官益々御清適にて業務に御精勵の御事と遠察致します。降つて迂生も相變らずの元氣にて軍務に服して居ります。他事ながら御休心の程を。内地では所謂非常時内閣と見えて大臣は皆軍人出身らしい様です。そして又厚生省なども出来、國民體育の向上を圖り、或は亦最近に經濟警察なるものが出来て物價暴騰を豫防し、實に我々警察官の責任は尙重且大となつてまいりました。それだけに事務も多忙と成つて來た事と存じます。自分も軍籍に在る中は此の第一線にて御國の爲に微力乍も盡し、郷にありては街頭の第一線に起つて非常時警察の目的を遂行し、所謂人民のリーダーとなつて活躍する覺悟です。先日の水害は相當國民をして動搖させた事と存じます。自分も農村出身故、故郷の様子を伺つて見ま

したが何等の被害無しとの情報に接し胸をなでおろした次第です。今度又弟も此方に來たので家内二人戰場に居るわけです。先日面會し故郷、内地の様子、署内一同の事も聞き概略の世の中を知る事が出來ました。満鐵に居る弟も今度甲種合格で亦入營し戦線に起つのも餘り遠くは無い事と思ひます。もう一人は既に海軍で盛んに働いて居るらしくあります。まあこれで兄弟四人軍人となる譯なんです。自分も内心嬉んで居る有様です。自分は今度〇〇本部付となりました。御承知下さいませ。毎日炎天下にて自己の任務を遂行して居りますからこの懐しの〇〇も暫日にて引き上げる事と思ひます。漢口總攻撃も最近に敢行されるだろうと存じます。自分等も参加し最後の五分間を頑張る心算です。未だ色々書きたい事はありますが、すけれども軍機に屬する事のみにて甚だ遺憾と存じますが悪しからず御容赦下さい。何れ現地に御報告致します。新聞やラヂオニュースの報ずる處で良く御解りの事と存じます。では時節柄御身大切に。右取敢へず近況御知らせまで。

中支派遣軍中島部隊本部

鈴 木 康 淑

堀之内警察署長 松浦彌三郎殿

大石靜明 (掛川警察署巡查)

謹啓 其の後警察部長殿には御健勝にて職務に御精勵の御事と御推察申上げます。降つて小生事皆様の御

後援と神佛の御加護により御蔭様にて元氣で勤めて居りますから乍他事御休心下さい。

我隊は〇月〇〇日軍集結上空掩護の任務にて一路〇〇〇〇に向つて天津出發、砲聲殷々として響き渡る中に九月十三日迄軍集結掩護をなし〇〇〇〇攻撃開始と共に〇〇〇〇に配屬せられ、九月十五日、十六日の兩日六ヶ年計畫にて築城したと稱せられました小紫村及黃岡寺山(良郷西方三里)敵陣地總攻撃に参加高射砲隊も地上射撃以來退却する敵を追撃前進、途中道なく高粱、綿畑を行軍、悪路にて一日に僅か五百米位の前進の日もありまして、九月廿八日〇〇に到着、〇〇司令部配下に入り、軍兵站上空掩護の任務にて待機中、本月六日午後零時二十分敵輕爆撃機(ノースロップ號)二機保定を空襲せんとするを逸早く發見射撃をなすや一機は逃走一機は保定上空警戒中の友軍戦闘機と空中戦となり、残念にも高射砲隊は射撃中止、敵機は火煙もうくとして墜落、以來敵機は機影も見せず、本月八日午後十時石家莊總攻撃に上空掩護の前進命令下り、同夜十二時〇〇を出發大趙村(新樂南方約二里)にて掩護をなし、陥落と共に前進十五日朝〇〇〇北方約一里〇〇に到着、目下〇〇司令部及軍兵站上空掩護中で御座います。

平漢線最後の陣地石家莊を「日軍の如何なる猛撃に會ふとも斷じて最低三ヶ月間は退却するな」と南京政府より嚴命あつたと云ふに皇軍の勇猛果敢に作戦の妙により一日にて陥落、敵は蜘蛛の子を散す如く或は東に西に潰走、目下友軍は退却する敵を追撃中で御座います。

又敵機も更に機影を見せず、北支の空には友軍飛行機のプロペラの音のみであります、いつ空襲あるやも知れず、毎日陣地にて警戒中で御座います。

末筆ながら警察部長殿の御健康を御祈り致します。先は亂筆にて近況申上ます。

敬 具

十月二十八日

北支派遣粟屋部隊

高林眞一 (掛川警察署巡查)

謹啓 極寒凌ぎ難き折柄にも不拘益々御健勝に渡らせられ日夜銃後の護に御健闘の程深謝仕り居り候
小生儀幸無事にて元氣に陣中に於て働き居り候へば何卒御放念被下度候 今回は御町重なる御慰問と共に家族の寫眞の御惠與を賜りし段厚く御禮申上候 半年振りにて家族の容姿に接し殺伐たる戰場氣分も軟き何よりの慰問品と深く感謝仕り居る次第にて、尙且亦留守宅に對しては種々御高慮を賜り且つ御慰問に接し之亦深く感謝致し厚く御禮申上ぐる次第に御座候

本月二十三日南京に於て刀禰學務部長殿始め各代表の方々の御慰問に接し銃後を護る皆々様方の日夜御奮闘御活躍遊ばされ居る御模様拜聴致し、未だ何等の武勳をも樹て得ざりし身を深く恥入りし次第に有之候 然し乍ら自己に與へられた責務の遂行に萬全を期し邁進致し皆々様の御期待に報ゆるべく努力致す覺悟に御座候

就而出征以來の経路を概略御報告申上候 まゝ御笑讀被下候はゞ幸甚の至りに存候 ○月○○日召集に應じ八月二日北支○○到着と同時に○○部隊に配屬され北寧鐵道の天津北平間の警備に任じ、敗殘兵、便衣隊等の掃蕩と共に輸送の完璧に萬全を期し居りしが、十月末移動命令に接し、○○を後に海路南進し十一

月五日杭州灣に到着、杭州灣の一角に上陸、爾來第一線部隊付兵站司令部に配屬され、第一線部隊に追隨十二月十七日敵首都南京に入城、同地に於て越年致し一月二十八日南京を後に○○に前進、唯今○○に在陣致し居る次第に御座候

日夜銃後を護りおる皆々様方に厚い感謝を捧げると共に出征警察官吏の護國の華と化せし英靈に對し謹んで哀悼の意を表すものに有之候 先は亂筆にて失禮乍ら御禮申上度如斯御座候 拜 具

一月三十日

中支派遣勤柄部隊

高 林 眞 一

静岡縣警察部長 生悦住求馬殿

前田伊太郎 (森町警察署巡查)

肅啓 時下嚴寒之候尊益御清勝に被涉候哉御伺申上候 扱て不肖暴支膺懲の聖戰に参加以來既に四ヶ月有餘、其の間時々刻々に移る戦局は自ら各部隊不撓の前進となり、殆んど晝夜を問はざる行動にて、實に不本意ながら遂御無音に打過ぎ申候次第何卒御諒恕の程御願上候

就ては不肖以御蔭至極頑健裡に江南の陣中に於て戦捷劈頭の新壽を迎へ申候間何卒御放慮被下度候 目下當地の氣温も略々内地と同様に於て將士の意氣益々旺盛に有之候 御承知の通り敵都南京の攻略も成り先月十七日には盛大なる南京入城式舉行を見るに至り、不肖も此の歴史的盛儀に參列するの榮に浴したる

次第に御座候 今や皇軍の武威益々揚り、帝國意圖磐石の堅きを信じ得る處に有之、此の成果あるは偏に銃後各位の熱烈なる御後援の賜と深く御禮申上候 時局は當に御前會議開催までに推移し、茲に國民一丸を待望して止まざるの時、今後共何分宜敷御願申候

先は右御無音の點御詫旁々御挨拶迄如斯御座候

敬具

中支派遣軍丸山部隊

前 田 伊 太 郎

静岡縣警察部長殿

井上辰三 (森町警察署巡查)

謹啓 嚴寒とは申せ既に梅花開くの折柄御尊官益々御清穆之段奉大賀候

陳者小職儀昭和〇〇年〇月〇〇日御召しに應じ出征以來彌々銃後の護りを固められ傍ら常に御同情と御厚志とを賜り何等後顧の憂も御座無く御奉公の誠を致すを得申し候事は一重に御尊官を始め諸顯官各位の御盡瘁の賜と感謝感銘在罷謹んで御禮申上げ候

去る二十五日に當江陰砲臺下の支那水雷學校禮堂に於て我が〇〇部隊の上海敵前上陸以來壯烈なる戦死をせられし英靈の慰靈祭を執行せられ候 時々〇〇、〇〇、〇〇縣下の皇軍慰問使團の御來會を見申し候て其の際〇〇學務部長殿より〇縣團を代表せられ御鄭重なる御慰問の御言葉を賜り一同〇〇の將兵は等

しく只感謝感激の情禁じ得ざるの次第に御座候 尙又其の際は御尊官よりの御丁寧なる御慰問狀を賜り一段の光榮と御厚志を垂れさせられ加へて家族の健康なる近況寫真をも御傳送被下誠に難有只感泣の外御座無く候 此の上は一意専心益々御奉公の誠を盡し以つて御厚情の萬分の一にも御添ひ奉らんと御誓ひ申上げ御禮申述度御無禮をも願みず亂筆を以つて如斯御座候

敬白

昭和十三年一月二十八日

中支派遣石井部隊

井 上 辰 三

静岡縣警察部長殿

數原 武 (森町警察署巡查)

拜啓 御無沙汰重ねました。朝夕寒冷身に覺ゆる様になりましたが皆々様益々御壯健で御精勵の事と存じます。御蔭様にて不肖爾來頑健軍務に働いております。今朝は零下十二度でした。でも空気が乾燥してゐますので其れ程寒氣は感じません。去る十一日堀江部隊で始めての犠牲者を出しました。東南方十里位の〇〇に派遣せられて居た看護兵が病院に患者護送の任を果し、歸隊の際途上便乗の自動車を匪賊に襲撃され遂に護國の鬼となられましたのです。不肖も一層使命の重大なるを自覺粉骨碎身御期待に添ふべく務めます。向寒の折一層御自愛の程祈上候 皆様に宜敷御傳下さい。

北支派遣軍堀江部隊

數原武

静岡縣森町警察署員一同

太田 康 (森町警察署巡查)

拜啓 初夏の候と相成りました皆々様益々御健勝の事と御推察申上ます。小生相變らず元氣旺盛以て軍務に服して居ります故他事ながら御休心下され度く出征以來重ねの御援助厚く御禮申上ます。今後共何分宜しく御願申上ます。當地は目下内地の六月頃の氣候です。先は取急ぎ近況まで

北支〇〇部隊本部氣付佐藤(富)隊

太田 康

静岡縣森町警察署員御一同

勝山 善樹 (水窪警察署巡查)

小倉署長殿には格別御變りは有りませんか、私も渡支以來至極元氣で居りますから御安心下さい。野戦部隊とは申せども原隊に居ると何等の變りもありませんから御安心下さい。寔に勝手の大第なる御願であります。留守中は萬事よろしく御願致します。未筆乍奥様にもよろしく御傳言下さい。

十月三日

北支派遣軍堀内部隊

勝山 善樹

静岡縣水窪警察署長殿

秋山 茂 (水窪警察署巡查)

前略 其後は大分御無沙汰を致しました。私も御蔭で超スピードの征途も無事恙なく終へ皆様の御後援の程今更乍ら感謝致して居ります。今迄ゆつくり御手紙差上げて居る暇もなく失禮致しました。くれぐれも御詫び致します。心配致しました身體検査も無事通過致し僅か五日間の軍裝準備に忙殺され〇〇日〇〇驛を歡呼の聲に送られて同日〇〇驛着翌日〇〇乗船出發して約一週間の海上生活今は其の最後の日を過すべく薄暗き某地で拙きペンを走らせませす。何卒不惡御判讀の程願上ます。聞きますと家内參上致しまして種々御配意に預りました由御蔭様にて荷物の方も萬事都合に涉取り有難く御禮申上ます。其後水窪地方には變つた事は有りませんか濟みませんが暇がありましたら異動狀況御一報下さい異郷の地にある小生に郷

里の模様を御知らせ下さる様願います。十月九日に武道大會もどんな成績でした欠員もだんたくなくなつて色々忙しい事と思はれます。十一月には岐度練習生も配置がつくと思ひます。私共も全部〇〇〇のみ(〇年〇年、〇年、〇年兵)にて仲々勢よく御蔭にて若返りました。二度目の初年兵に返つて毎日面白く過して居ります。其れは苦痛の時もあります。水窪生活より亦呑氣で暇で皆生活を共にして來て居るものですか。快活で面白く打解けた處があります。今後尙一層御無沙汰勝の事と思ひますが是亦宜敷御願致します。小倉署長殿始め各位に元氣でやつて居る旨御傳聲被下度願上ます。では末筆乍ら御奥様に宜敷。早々不二仲。尙在職中の手落ち所は是非赤裸々な御注意を下さん事伏して御願致します。

〇〇にて小幡部隊

秋山 茂

水窪警察署 田邊七郎殿

清水謙三 (見付警察署巡查)

新春を迎へ皇室の彌榮と貴會の御隆盛謹んで奉慶賀候。陳者小職儀見付警察署勤務中〇〇召集を受け出征以來絶えて御無音に打過ぎ候段何卒御寛恕相成度以御蔭以來元氣潑瀾軍務に精勵仕り居り候條乍他事御放念被下度候。扱而今般在郷の荆妻よりの書簡に依れば不肖小職に對し御鄭重な御慰問文と御慰問金を御

惠贈被下候趣誠に有難く唯々感謝の極みに有之謹んで御禮申上候。今後は此の御厚志に報ゆべく更に一段と軍務に精勵以て君國の爲活躍可致決意に燃え居り候。乍末筆貴會の御隆盛と會員各位の御清福を祈上候。先は御禮申上度如斯に御座候。敬具

昭和十二年一月六日

北支派遣軍新野部隊

清水 謙三

静岡縣警察部長殿

村松正一 (見付警察署巡查)

謹啓。渡支以來の行軍續きで郵便を出す暇もなく失禮仕り候皆々愈々御清適の御事と御欣び申上ます。扱而私儀今度重任を拜し其途に就きます節は萬端御配慮頂きまして厚く御禮申上ます。御蔭様で恙なく任地に着きました。母國遙かに大陸に立つて其重責を痛感致しますと共に胸を打つものは皆様の熱誠溢る御聲援御鞭撻で有ります。感激の思ひ出が盡きません。此の上は愈々粉骨碎身以て盡忠報國の誠を致し皆様の御期待に副ひたき念願であります。尙留守中は此上共萬事宜敷御願ひ致します。先は御禮旁々右御挨拶申上ます。

十一月十五日

中支派遣軍石井部隊

村松 正一

見付警察署長殿

一六〇

山下勝次 (二俣警察署巡查)

謹啓 嚴寒零下拾餘度寒月劍光に冴へて哨兵の骨髓に徹する候と相成候 陳者本職儀客年〇月應召、出發に際しては多大の御高配を賜り又不在中は屢々御慰問を辱し日夜感激罷在候處猶重ねて客年十三日付寫眞に副へ御懇切なる御慰問狀に接し本日有難く拜受仕候 聖戰參加以來既に半歳皇威八紘に輝き東亞の曙光拜し明朗なる昭和十三年春を陣中に迎へ候は神助と御稜威は申すも畏き事乍ら固き銃後の御護の致す處と只管感謝の外無之候

過にし平漢沿線各地の轉戦に或は渡河泥濘跋涉或は敵襲に夢まどかならぬ露營の幾夜かも今は過去の夢と化し只今は〇〇兵監部直屬部隊として恙なく近傍諸種の勤務に精勵仕り居り候 當〇〇は北支に於ける糧秣を極め遠近に敗殘兵討伐の銃砲聲未だに絶へず治安の維持も漸く確立し戸毎に色鮮かなる五色旗の日章旗と共に翻り蔣介石の欺瞞を恨み皇軍の正義に感泣する士民達は毎日我軍の使役に努め且各々其の業に勵み居り候 斯く日毎に明朗化し行く街の妻や歡喜に満ちた平和郷の建設に北支の將來も惚ばれ洵に欣快に堪へざるもの有之候 併し乍ら任務は寧ろ今後に懸り國際的動向及戦局の推移は決して端倪すべからず須臾も偷安を許さずと存せられ候を以て今後は一層緊張し輕き身に重き任務を擔つて益々自重以て奉公の誠を致し警察官の名を辱しめざる様北支の曠野に屍と成る迄奮闘仕るべく候間何分の御指導御鞭撻の

程願上候

終りに静岡縣警察官各位の彌々御健勝を遙に祈り上げ擱事仕り候

昭和十三年二月二日

北支派遣軍鈴木部隊

山下勝次

静岡縣警察部長殿

遠藤保一郎 (二俣警察署巡查)

謹啓 新しき昭和十三年の春を迎へ縣下警察官吏各位に於かせられては治安維持に精進の由北支の戰場より御祝詞申上げます。降つて本職儀銃後の皆様の御後援に依り御蔭を以つて至極元氣にて日々軍務に服し現在を得る事が出来ました事は衷心より感謝を捧ぐるものであります。扱て本日また御手紙に接し警察部長殿より御懇篤なる御慰問の御言葉を賜り將又勤務署各位の御元氣なる御近影、家族の御寫眞迄も御送付に接し意外なる慰安を爲す事が出来唯々感謝の外有りません。御蔭を以つて内地の氣分を多分に味ひ此の上無き安心を致す事が出来戦友達と共に喜びを分かち合ひ内地の噂に花を咲かせたのであります。今後益々奮闘努力致し御期待に添ひ奉り度く警察官吏たるに恥しからぬ務めを全ふ致す覺悟であります。今北支各部落も追々と砲火も遠ざかり治安も次第し確保せられ人影も見る事も出来得ざりし部落も其の影も目を追ひ増加しつゝ有り亦開業の店等も斯様にて平時に復しつゝ有る狀況であります。又我々としても戦場の物

一六一

資購入の不充分の爲め物の利用に妙を得て来りました戦況行動等御報知致す事は出来ず健在のみにて失禮致します。先づは御慰問の御禮簡單ながら寸書を以つて申し上げます。

一月三十日

北支派遣岸上部隊

遠藤保一郎

静岡縣警察部長殿

堤 熊虎狼

拜啓 時下嚴寒の砌貴官益々御健勝の段奉賀候 扱て不肖本職儀出征以來種々御懇篤なる御配慮に預り感銘在罷候處今回は御鄭重なる御慰問品御惠與被下難有拜受仕り厚く御禮申上候 目下湖南唯一の激戦地たりし浙江省〇〇に守備勤務致し居り候も唯此上は貴官を始め銃後皆々様の御期待に添ふ可く一層報告の誠を盡す覺悟に御座候 先は簡單乍ら右御禮迄

敬白

二月一日

藤井部隊

堤 熊虎狼

静岡縣警察部長殿

村井慶一 (濱松警察署巡查)

祝武漢三鎮陥落

併銃後の盛援を謝す以後引續き多忙なれど愈々健在にて奮闘仕り居候

昭和十三年十一月三日

中支那派遣伊藤部隊本部

村井慶一

静岡縣警務課長 神谷秀夫殿

浅羽 勇 (濱松警察署巡查)

謹啓 寒さ愈々きびしく相成りました。出征以來御無音に打過ぎまして何共申譯御座いませぬ。署長殿を初め署員各位には御繁務にも不拘益々御壯健にて御勤務の由誠に慶賀の至に堪へませぬ。降而私も銃後各位の熱誠なる御支援の賜により無事にて陣中勤務して居ります何卒御休心下さい。昨年十月六日御發送下されし御書簡本年二月五日受領せし様な次第で返信も遂に遅延し何共申譯ありません重ねて御詫申します。南京占領後の皇軍各隊は市街に或は鐵道に或は要所に何れも警備駐屯を命ぜられ次期作戦の用意をして居ります。我淺田部隊は〇〇省〇〇城内に〇〇隊の駐屯を命ぜられ、客年十二月中旬以來治安の任に服して居ります。駐屯地勤務は平常單砲教練馬術各個教練小銃射撃に分れ教育されて居りますが當地より五、六

料を去る村落内には未だ以て敗殘兵又は匪賊等の多數散見し爲に掃蕩隊を編成し討伐に出掛ける事もよくあります。新聞紙で御存じのことゝは思はれますが南京市に於ては敵機の空襲も今以てあり従て當地方迄燈火管制を八釜敷く實施されて居ります。右様でありますものの善良なる支那避難民は昨今以來續く歸國の途について居り夜楊子江岸地方も非常に賑やかな気分になりました軍當局に於ては之等支那人に對し宜撫班と申すものが設けられ慰撫失業救済が講ぜられて居り日を追つて親日気分濃厚となり居り明朗となつてまいりました。

氣候は當地方楊子江岸は内地より餘程寒く夜間は零下五、六度へ下るのは常で又時折降雪もあり勤務に餘程支障があります。然し北支の寒氣を思へば何の苦勞もなく幸と思つて居ります。之迄に我が淺田部隊は上陸以來激戦に數回參加しましたが戦死者は約〇〇名であります。一番の戦死の多かりしは蘇州河の戦で次に大場鎮の戦であります。〇〇隊は南京攻略にも參加しましたが犠牲者は餘りありませんでした。私は九死に一生を得て生命がありますものゝ戦死者に對してはお氣の毒で只默禱し哀悼の意を表するのみで御座います。陣中でありますこんな略紙で御返信を差上げることが幾重にも御許し下さい。署員各位の御健康を御祈申上げます。右御一報まで

二月六日

中支派遣淺田隊

淺 羽 勇

濱松警察署長殿

松下増一（濱松警察署巡查）

前略 昨年十二月十二日より本年一月十八日迄の杭州攻略の戦闘も終り一月十八日夕刻上海南支に再度歸還しました。一ヶ月有餘見ぬ間に南支一體は大分變つて参りました。〇〇停車場附近は我軍の大きな〇〇が出来兵隊の食糧は山の様になつて居ります。是を見た時來るべき大戦の準備ではないかと思ひました。南支殘敵掃蕩當時は無辜の支那人も戦々恐々として居りましたが今は安堵の胸を撫で寧ろ日本兵隊を慕つて來る状態です。腕には日の丸の記が入つた腕章を付け親日防共と書いて平和建設を急いで居ります。上海杭州間の鐵道も上海南京間の鐵道も開通し〇〇の鐵道員が事務に當つて居ります。御承知の通り支那事變は既に我軍が全面的大勝利にて既に北支には新政權が樹立され今や帝國政府は所期の目的達成のため着々と其歩を進めて居る状態です。日本の將來を考ふる時誠に御同慶に堪へぬ次第であります。我軍が此度の支那事變に於て世界戦史上に輝く武勳を樹てました事は第一線に立つ將兵の功績は申す迄もありませんが銃後の守りにつかれた皆様のかくれたる功績は亦實に大なるものと存じます。國民精神總動員の下に署長殿を始め署員一致協力して動員事務に或は防空演習に其他一般治安維持に御盡力下さる事は出征將兵一同皆感謝して居ります。時節柄寒さも厳しい事です折角御自愛專一に益々邦家の爲め御盡力を賜り度く切に御願して擱筆致します。皆様によろしく

昭和十三年二月二十日

中支派遣軍西田(茂)部隊

松 下 増 一

濱松警察署長殿

富安善昭 (濱松警察署巡查)

謹賀新年

平素の御無音御許し下され度候 私も目下〇〇に於て皆様の御蔭を以て非常に元氣にて本來の使命に邁進致して居りますから何卒御安心下さい。寒氣凜烈の折柄一層の御自愛あらん事を御祈申上ます。

昭和十四年元旦

南支派遣軍金丸部隊

富安善昭

警務課長 殿

千羽新八 (濱松警察署巡查)

拜啓 時下初冬の候寒氣日に相加はる折柄課長殿外御一同様には益々御健勝の事と御推察申上候 戦時時局下の警察事務御多忙中にも不拘本日は十月一日付御鄭重なる御書に接し恐縮の至りに御座候 出征以來一年數ヶ月の我々の部隊も北支作戦より十一月初旬南支に轉戦只今南支の一大都市〇〇に警備の任に就き居り候 此の地は御承知の通り赤道近くの事とて日中は三十度位の暑に又夜間は零度位迄下り候 銃後警察事務の任に在る課長殿始め各警察官の御心勞の程我々の想像も及ばぬ事と存じ候 戦局も廣東、漢口と共に陥落とは云へ事務局は尙多端に御座候 幸にも小生健康に恵まれ居り候へば皇國警察官の一員として銃後の皆様方の御期待に添ふべく奮闘を續ける覺悟に御座候 時節柄御自愛の程祈り上げ候

十一月二十三日

南支派遣軍金丸部隊

千羽新八

警務課長 神谷秀夫 殿

熊切敏郎 (濱松警察署巡查)

謹啓 時下酷暑の砌り警察部長殿には定めし御健全にて日夜治安確保の爲め席温まる暇無き御日常を續け居らるゝ事と存じます。降つて小生儀應召以來壹ヶ年有餘其間何かと取まされ意外なる御無沙汰を續け何とも申譯御座いません。以來小生儀北支より中支に轉戦を重ね南京徐州兩攻略を終て目下漢口攻略戦に參加安慶を去る〇〇にて引續き健康に恵まれ勤務致して居ります故何卒御安心下さい 御承知の通り戦は愈々長期抗戦の第二段に入り加へてソ聯關係複雑の折柄銃後皆様の御苦闘の程定めしと存じ唯々感激の外御座いません。應召以來私事郷里に對しましては種々御援助を賜り有難く厚く御禮申上ます。本年一月御發送下さいました家族寫真本日入手致しました。小生陣中久々の對面にて實に感慨無量 のものが御座いました。現在地より漢口にあと數十里敵軍最後の居城陥落の日も目捷に迫りました。此の間數十回敵の空襲と夜襲とを受けましたが身に微傷だも負はず今尙戦線に活躍出来る自分を思ふに付け神佛の御加護と熱誠なる銃後皆様の御後援に對し深く感謝せずには居られません。戦場に出でゝ生還を期せ

すとか益々奉公の念を堅くし銃後皆様の御期待に添へる様努力する考であります。末筆乍甚だ失禮で御座
ひます皆様に宜しく。先は御禮旁々御挨拶まで

昭和十三年八月四日

中支派遣軍鋤柄部隊

熊切敏郎

静岡縣警察部長殿

杉山長治 (濱松警察署巡查)

拜啓 戦勝の第三年次を迎へ謹みて新年をお慶び申上ます。

愈々本格的の寒さを覚えて参りました。部長殿始め御一同様には益々御勇健に在らせられ御目出度き次第で御座います。聖戦幾度、皇軍は連戦連勝、その間部長殿始め皆様には各種統制下に在りて或は經濟に物資に國威宣揚の重大一事を御護り下され銃後治安を益々御鞏固になされ下さる、其の御辛苦如何許りかと拜察致し只々感謝の外ありません。不肖昨夏大命を拜して應召、今日迄安らかに一身を空として國難に當られるも唯々部長殿の御指導の賜と感泣致し居ります。いよ／＼我が身の保健に注意し以て國家より與へられたる任務の達成に萬全を期するの覺悟で御座います。何卒舊に倍して御指導下さいませ様御願ひ申上ります。留守中御慰め下さいませ有難く厚く御禮申上ります。今後共何分よろしく御願ひ申上ります。向寒の折から御自愛の程御願ひ申上ります。粗筆にて乍失禮御挨拶にかえ御禮申上ります。敬具

一月九日

滿洲國近藤部隊

杉山長治

静岡縣警察部長殿

萩原護 (濱松警察署巡查)

謹啓 永らく御無沙汰に打過ぎ誠に申譯ありません。先般は又署長殿を始め各職員の方には御叮嚀なる御慰問状まで下されまして厚く御禮申上ります。御蔭様にて私は上陸以來一回も病氣にも罹らず微傷だも負はざる事は皆様の銃後の御力であると存じます。又出征後は當署に於ても缺員非常に多く殆ど署員の半數を以て勤務せられ加ふるに事變に伴ふお仕事非常に多き様子随分お忙しくお務あらせられる事と十分推察致します。我々も本科と違ひ經理部の如きは駐屯状態になりても給與關係の仕事なる故一刻たりとも休みはなく書類の整理其の他雑務に追はれ夜は毎日十二時近くまでロソク火のもとで仕事をして居ります。時々敵の飛行機が空襲して爆彈投下を致しますので安心出来ません。先づは御禮かた／＼近況御一報申上ります。今後は益々緊張して大日本帝國のため國民全体のため大いに軍務に精進する覺悟で居りますから御安心下さい。

敬具

中支派遣〇〇部隊

萩原護

濱松警察署長

井上康義殿

一七〇

望月猪一（濱松警察署巡查）

謹啓 時下愈々向寒の砌り其の後は頓と御無沙汰のみ仕り申譯け無之平に御寛容被下度候 課長殿には益々御健勝に涉らせられ警察事務御多忙の折柄愈々銃後の御護りに御専心被下候趣き感謝の至りに御座候 扱て今回は寸暇もなき御繁忙にも拘らず私共出征者に御心を掛けさせられ御叮嚀にも御慰問の御便に接し有難く厚く御禮申上候 御蔭様を以て至極元氣にて御奉公申して居り候間御安心被下度候 其後引續き山西省奥地〇〇に根據として當地唯一の交通機關〇〇鐵道の〇〇に敵の〇〇〇〇を排除しつゝ目下之が〇〇〇に邁進仕り居り候 既に待望の武漢三鎮陥落の快報に接し銃後國民と共に御同慶に堪えず候 乍然今事變も尙前途樂觀を許さざる事にて銃後の涙ぐましき御後援と尊き御力添を賜る毎に益々緊張の度を覚え申居り候 今や聖戰参加の天命を拜して茲に一年有余ヶ月其の間いさゝかの後顧の憂も無之専心御奉公申す事を得られ候事を感泣仕り居り候 甚だ乍亂筆右御禮旁々御挨拶まで時節柄課長殿の御健闘の程御祈申上げ終りに課内御一同様に宜敷御傳言被下度御願申上候

十一月六日

北支派遣高橋富部隊

敬具

望月猪一

静岡縣警察課長殿

瀧文雄（濱松警察署巡查）

肅啓 時下酷寒の候と相成り申候處課長殿始め各位益々御健勝の事と存じ大慶至極に御座候 降而小生御蔭と武運長久愈々元氣旺盛陣中に消光罷居り候へば乍他事御放念被下度候 扱て本日は御叮嚀なる御慰問狀に接し何とも御禮の言葉も無之只々感謝感激仕り候 陣中多忙の間とは言ひ常に御無沙汰のみ致し居り汗顔の極何とも申譯無之何卒御容赦被下度候 恰度本日より中隊に於ても郵便物の取扱を開始致し候へば御返事に變へ御無沙汰の御詫にと存じ筆取りし次第に御座候

顧るに昨夏〇月岳麓便船塚西園寺公爵警衛勤務中に〇〇〇被命蒼惶として應召出征以來既に聖戰一年有餘ヶ月征途既に數百里北支全土を席捲仕り候 去る十月武漢三鎮は既に陥落し皇軍の征く處敵無く八紘一字の大御心に基き派兵の目的は漸次實現され愈々國威は發揚され我國是とも云ふべき東洋永遠の平和の礎も次第に鞏固に相成り候へ共頑迷にして血迷へる蔣は己が非を未だ識らず口に東洋モンロー主義を唱へ乍らも此の期に於て漁夫の利を得んとする老臉なる英、佛、蘇の援助を頼み斷末魔の今に及んで尙長期抗戰を囁き居る以上徹底的に之に膺懲を加へ支那四億の民衆をして容共抗日の思想より離反せしめ現存の如き塗炭の苦みより救助してこそ派兵の目的は實現されるものにして其れ迄は斷乎聖戰は續けられるものと

一七一

將兵一同志氣愈々烈々緊陣一番大いに張切り居り候へば陣中の事は何卒御心配被下間敷候

當地は山岳重疊峻嶮峽々として聳へ山又山豁々豁酷寒の地に有之候へ共北支にて鍛へたる此身体寒さも不自由な事も悉く忘却し作業に専念し馳て山裾を躡進する汽車を思ひ浮べ乍ら共匪の巢窟とも言ふべき山西の山中に忠節の二字を胸に抱きしめ乍ら鐵道隊の一兵として過し居り候 小生應召後共私共御厄介のみ相掛け居り何とも御禮の言葉も無之候 只々小生期すべくは粉骨碎心只管職務に精勵し課長殿始め千二百有餘名の静岡縣警察官各位の御期待に副ひ御後援に報ゆるべく務め以て事變有終の美を收めんと覺悟致し居り候 向寒の砌何卒御自愛專一に遊ばされ銃後の治安維持の大任に當られん事奉願上候
先は近況迄御報告を兼ね御無沙汰の御詫まで如斯御座候

十一月十七日

岡上部隊

敬具

静岡縣警務課長殿

瀧

文

雄

立川泰司 (濱松警察署巡查)

拜啓 本日は慰問葉書を拜見致し感謝致して居ります推察致しますに課長殿には益々御清祥の御様子何よりと御喜び申し上げます。小生等北支中支の野を征し再び十一月二十日より南支常夏の國〇〇市の警備について居り抗日分子の掃蕩に努めて居ります。幸ひ小生出征以來頗る元氣にて軍務に精勵致して居ります

ば乍他事御放念下さいとす様末筆に及んで課長殿の御健在を御祈り致します。

敬具

南支派遣金丸部隊

立川

泰

司

警務課長殿

時田安太郎 (濱松警察署巡查)

謹啓 部長殿には其の後益々御健勝の御趣に拜し衷心より御悦び申し上候 降つて小生所屬隊はこの度〇〇移駐を命ぜられ本月九日當地に到着、目下附近の警備に任じ平穩なる日々を過し居り候間他事御休心被下度候 客年十二月十七日感激の入城式以來僅かに三ヶ月目覺ましき〇地の復興振りに先づ驚き居り候 交通機關は必要上特に迅速なる恢復を見せ當驛を中心として、東は上海、西は黃湖へ定期にて日に數回發車致し江を隔て、浦口より津浦線も遠からず開通せらるゝものと存じ候 市内中山路を中心に四通八達する道路には我が軍用自動車或は支那人經營のバス等ヒツ切りなしに通行し又大小クランクには小型發動機船等走り軍需品或は市民の貨物運搬に當り居り候 總て〇〇に依り運轉され活動致し居る様實に涙ぐましさものに御座候 建築物も敵軍使用せしもの以外は案外破壊され居らず目抜き場所には國民政府を始め陸軍部、海軍部、財政部、司法部、行政部、鐵道部、其の他諸官衛、學校、銀行等の高樓櫺比して其の豪壯なるに今更驚嘆致候 蔣政權五ヶ年後の當國當市を想像致す時、其の發展は誠に偉大なるものと思ふし

過去に於ける我々の支那に對する認識不足を痛感致し候。今市民も殆ど歸り夫々職業に従事致し居り随つて各種商店も半ば開業し、日本人街には多數の日本商店等有之ハツビ、エブロン姿の店員も散見され實に心強く感ぜられ候。各戸毎に日の丸の國旗を掲げ排日侮日の首都も今は全く生れ變つた親日振りにて、和やかさ満々居候。小、中學校等も近日開校の運びに有之由日本語學校等は既に開かれ居り其の徽章を附せる生徒諸所に見受けられ候。昨今は衣食住も何等不自由無之上陸當時は夢にだに想はざる氣安い生活を得候へ共五日、十日泥水のクリークに全身を浸し惡戰苦闘を續け遂に尊き戰死を遂げ護國の鬼と化せし戰友の事に思ひ及べば實に感慨無量なるものに御座候。上陸以來半歲各地の激戰に参加し、或は月餘の追擊強行にも事無きを得候事は之偏に部長殿の日夜かけて御祈念被下神佛の御祐けと深く感銘致居候。毎朝東の空を伏し拜み今日在るを感謝すると共に戰友の英靈安らかに眠られん事を御祈り致し居る次第に御座候。新政權樹立以來の占領地區は、軍民一致戰後の恢復に邁進致し居り候へ共英、米、佛、ソの援助を得て長期抗戰を叫ぶ蔣政權を徹底的に破壊し眞に東洋平和を確立し尙最後の目的を思考致せば今日未だ其の半ばにも達せざる次第、今後の使命愈々重且大なるものと信じ茲に一段と覺悟を決し爾後戰闘の準備こそ忽せにならぬものと存じ居り候。遙かに部長殿の御健勝を祈りつゝ、先は近況まで如斯御座候。敬具

三月三十日

田上部隊

静岡縣警察部長

時田安太郎

生悦住求馬殿

鶴見富士男 (濱松警察署巡查)

皆様お變り御座いませんか。

陳者私儀先般重任を拜し其の途に就きます節は萬端御配慮を戴きまして只々感激の外御座いません。謹んで厚く御禮申上ます。お蔭様で一路恙なく任地に着きました元氣に致して居りますから何卒御安心下さい。今し大陸に立つて其任いや重く其の責いや大なるを痛感致しますと共にひし／＼と胸を打つものは皆様の熱誠溢るゝ御聲援御鞭撻であります。生々しい感激の思ひ出が次から次へと盡きません。この上は愈々粉骨碎心身を以て盡忠報國の誠を致し重責を完うすると共に誓つて皆々様の御期待に副ひたい念願であります。今後共に何卒宜敷く御指導御鞭撻の程御願致します。略儀まことに失禮と存じますが不取敢御挨拶申上度併せて遙かに皆様の御健勝と御多幸をお祈り致します。さようなら

中支派遣高品部隊

鶴見富士男

静岡縣警察練習所内

教官 渡邊 晴 様

安本正吾 (濱松警察署巡查)

肅啓 尊き御稜威に曉雲一掃武威を敵首都、世界に輝かし明けゆく皇紀二五九八年の迎春遙かに江南戦線よりお喜び申上ると共に部長殿を始め縣下警察官各位の益々御多幸祈上奉候 降つて小職儀お蔭様と幸ひ恙がなくこゝ異國に新しき年二十五の春を迎へ益々健在「〇〇」附近警備に任じ居候條乍余事御放念被下度候 偕而本日は數ならぬ身にまで御心配を給り尙郷家の安否厚き御慰問に預り只々感激益々勇奮一意専心報國の念に燃へ縣下警察官の一員として決して女々しき振舞等無之古き言葉の唐天竺、支那四百餘洲を蹂躪邦家の安泰聖壽萬歳を三唱仕る覺悟に有之候 先は亂筆失禮ながら謹而御厚禮の一筆まで
一月二十六日

〇〇部隊本部

安 本 正 吾

静岡縣警察部長

生悦住求馬殿

松永林作 (濱松警察署巡查)

愈々御清適の事と御欣申上ます。扱小生儀此度重任を拜し其の途に就きます節は萬端御配慮頂きまして厚く御禮申上ます。〇月〇日午前四時〇〇を出發以來途中無事に本日任地に着きました。母國遙に大陸に立つて其の重責を痛感致しますと共に胸を打つものは皆様の熱誠誠意溢るる御聲援であります。感激の思出が盡きません。此の上は愈々粉骨碎身以て盡忠報國の誠を致し皆様の御期待に副いたい念願であります。

尙留守中は何卒萬事共宜敷く願上ます。先づは御禮旁々安着御一報まで

草々

北支派遣黒澤部隊

松 永 林 作

濱松警察署長殿

外署員御一同様

齋藤一雄 (濱松警察署巡查)

拜復 本日は御鄭重なる御慰問狀に依り激動下され且又留守宅家族近影をば皆様御多忙中にも不拘らず撮影下され御同封に預り誠に有難く深く感謝致居候
嚴寒凌ぎ難き折柄部長殿には愈々御健勝にて銃後治安維持に任ずる縣下警察官を指揮監督に一層邁進され居られます事と推察申上げ遠き異郷江北の地より御祝詞申上げ候 不肖一雄事皆々様の厚き御聲援の御蔭を持ちまして至極元氣旺盛にて日夜軍務にいそしみ居りますれば乍他事御放念被下度候

只今は現地も寒氣愈々襲來し晩方より降雪現在積雪三寸位今尙盛に降り居候 本日或る任務を以て將校斥候〇〇約四百里の地點に侵出し敵兵と交戦するも其の任務を遂行歸城せりとの話しに有之候 我々も一兩日中に某地を攻撃の任務を以て出發前進の内命下に有り相當の激戦を交へます事と覺悟致し全員緊張致居候 將來の戦火は益々擴大し我々の任務は愈々重しと確信し銃後皆様方の厚き御聲援の萬分の一の